

須坂市小中学校の適正な規模及び
適正な配置のあり方について
答申書

2023年12月13日

須坂市小中学校適正規模等審議会

目 次

1 はじめに	1
2 須坂市の小中学校の現状	1
3 提言	2
4 資料	
【資料1】 審議会設置条例	5
【資料2】 委員名簿	7
【資料3】 諮問書	8
【資料4】 審議会の検討経過	9
【資料5】 児童生徒数の推移	11
【資料6】 現況の小中学校の通学区	13
【資料7-1】 令和5年度 教員配当基準	14
【資料7-2】 令和5年度 市町村立小・中学校 学級編制基準	15
【資料8】 新しい学びの形(須坂モデル)	16
【資料9】 小中学校再編イメージ図	17
【資料10-1】 アンケート全体の概要(須坂市小中学校の適正規模等に 関するアンケート調査)	18
【資料10-2】 市民アンケート結果(須坂市小中学校の適正規模等に 関するアンケート調査)	24
【資料10-3】 保護者アンケート結果(須坂市小中学校の適正規模等に 関するアンケート調査)	43
【資料10-4】 教職員アンケート結果(須坂市小中学校の適正規模等に 関するアンケート調査)	64
【資料10-5】 児童アンケート結果(須坂市小中学校の適正規模等に 関するアンケート調査)	83
【資料10-6】 生徒アンケート結果(須坂市小中学校の適正規模等に 関するアンケート調査)	92

1 はじめに

情報化や国際化、少子化が急速に進む社会の中で、大切にしたい子どもの学びのあり方を検討するため、2020年度から2年間にわたり、「学びのあり方検討会議」が開催され、須坂市として目指す学びの姿について提言書がまとめられた。

提言の主な内容の1つ目は、幼児期に遊びや様々な体験活動を通して育まれる「意欲」「協調性」「粘り強さ」「忍耐力」等といった非認知能力を全ての学びの基盤として、幼稚園・保育園等から小学校や中学校等へ連続させることの大切さ。2つ目は、個別最適な学びと協働的な学びを進める取り組みとして、これまでの教師主導の一斉授業だけでなく、児童生徒一人ひとりの特性や学習スタイルに合わせた授業や、多様な価値観に出会うための学校間交流等の必要性。3つ目は、特別支援教育の視点から、一人ひとりの個性や多様性を大切にして障がいのある子どもと、ない子どもが一緒に学んだり生活したりするインクルーシブな教育の推進。4つ目は、学校運営や教育を取り巻く地域活動に関する取り組みについて、新たな学校支援組織の構築の検討。最後に5つ目として、少子化への対応として、施設の複合化や異年齢混合で行う教育活動の必要性が提言された。

市教育委員会は、この提言を受けて、「新しい学びの形(須坂モデル)」(資料8)を作成し、「園小接続による非認知能力の育成」「小中学校9年間を見通したカリキュラム編成による学びの構築」「個別最適化された学び」等、提言を具体化する取り組みを提案した。

須坂市小中学校適正規模等審議会では、これまで丁寧に議論されてきた、学びのあり方検討会議の提言とそれを基に市教育委員会が作成した「新しい学びの形(須坂モデル)」を実現するために、どのような学校のあり方が必要なのかについて、市民や保護者、教職員、児童生徒へのアンケート調査(資料10)を実施する等、できるだけ多種多様な意見を聞きながら審議を深めた。

2 須坂市の小中学校の現状

現在、須坂市内には市立の小学校11校、中学校4校、特別支援学校1校がある。2022年度当初の児童生徒数は、小学校 2,446 人、中学校 1,290 人であったが、児童生徒数は年々減少し、2028年度には、小学校 2,060 人(22年度比 15.7%減)、中学校 1,198 人(同7.1%減)となることが推計されている。

国が示す小中学校の適正規模の基準では、小学校と中学校の学級数はともに、「12～18 学級」を標準規模としており、小学校では1学年あたり2～3 学級、中学校では4～6 学級である。しかし、2023年5月時点で須坂市内の小学校11校のうち8校、中学校4校のうち3校が標準規模を下回る小規模校(11学級以下)となっている。

児童生徒数の減少が著しい学校では、今後数年のうちに、複式学級(※1)になる学年が出てくる可能性がある。

一般的に小規模校は、「児童生徒一人ひとりに目が届き、細かな指導が行いやすい」「一人ひとり活躍できる場を設定しやすい」等のメリットがあると言われている。しかし、一方

で「集団の中で自分を主張したり、他者を尊重する経験を積みにくい」「社会性やコミュニケーション能力が身につみにくい」等がデメリットとして指摘されている。

このようなことから、児童生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて一人一人の資質や能力を伸ばしていくという学校の特徴を踏まえ、小中学校では一定の集団規模が確保されていることが望ましいと考えられている。

また、児童生徒数の減少にともなう学級数減少の影響は、学級数に応じて配置される教員数にも大きく影響し、中学校では専門性を持った教員を全教科で配置するという、最低限の教育環境を整えることが困難になることが危惧されている。

※1 複式学級

2つ以上の学年の児童生徒を1つに編制した学級。県基準では、引き続き2つの学年の児童生徒数の合計が8人以下の場合、2つの学年で1つの学級を編制する。

3 提言

(1) 幼児期からつながる小中一貫教育の推進

① 小中一貫教育の推進

須坂市では、子どもの発達や学びの連続性を確保するため、幼稚園・保育園等と小学校の教職員が協力して、円滑な園小接続の実現に取り組んでいる。子どもの発達や学びは連続しているため、就学前の遊びや様々な体験活動によって育まれた非認知能力等の資質・能力を、小学校、中学校での教育を通じてさらに伸ばしていく必要がある。

小学校から中学校への進学においては、生活リズムや環境の変化、学習内容も多く難しくなること等から、進学にともなうギャップを緩和しながら、児童生徒の学びを円滑につなぐことが重要である。

したがって、小中学校の6-3制度という枠組みに縛られない、義務教育9年間を通して、系統性・連続性のあるカリキュラムを編成し、児童生徒の学力や能力の向上を目指す小中一貫教育(※2)に取り組むこと。

② 学校類型

小中一貫教育を推進するための学校の形として、小中一貫型小学校・中学校(※3)や、義務教育学校(※4)等の学校類型がある。

学校類型の検討では、地域の状況を考慮しながら、小中一貫教育を推進するための適切な学校の形を検討すること。

※2 小中一貫教育

小学校と中学校が目指す子どもの像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成して、系統的な教育を行う。

※3 小中一貫型小学校・中学校

組織上独立した小学校と中学校が一貫した教育を行う。小学校と中学校の施設

が離れている場合や、小中学校で施設が隣接もしくは一体となっている場合もある。小学校と中学校のそれぞれに校長、教職員組織がある。

※4 義務教育学校

1人の校長、1つの教職員組織。修業年限9年。施設一体型と施設分離型がある。

※学校類型は小中学校の再編イメージ図(資料9)を参照

(2) 学校の適正規模

① 多様な価値観と出会える学校規模

義務教育段階の学校は、児童生徒の能力を伸ばしつつ、社会的自立の基礎、社会人としての基本的資質を養うことを目的としている。このため、学校は、単に教科等の知識や技能を習得させるだけではなく、児童生徒が様々な友達や教職員とのふれあいによる多様な価値観と出会える一定規模の集団を確保することが重要である。

また、市民や保護者、教職員、児童生徒のアンケート結果(資料10)では、小学校の1学年あたりの学級数は「2～3学級がよい」との回答が7割を超え、中学校の1学年あたりの学級数は「4～6学級がよい」との回答が6割を超えた。

以上のことから、1学年あたりの学級数は、小学校は2～3学級、中学校は4～6学級が望ましい。また、1学級あたりの児童生徒数は、小中学校ともに30人以下、21人以上が望ましい。

② 適正規模に近づけるうえでの配慮

上記の適正規模を実現するためには学校再編を行う必要がある。なお、須坂市の居住地域の状況により、必ずしも上記の適正規模を得られない可能性もある。その場合は、地区の地理的状況や児童生徒の通学にともなう負担等について考慮し、上記の適正規模に近づけることを望む。

(3) 学校の適正配置

① 学校数の見直し

適正規模を実現するために、現在の学校数を見直すこと。

② 学区の見直し

現在は、1つの小学校から2つの中学校に分かれて進学する小学校が6校ある。小中一貫教育を推進するためにも、学区を見直し、1つの小学校から児童全員が同じ中学校へ進学できるようにする等の検討を行うこと。

(4) 学校再編の進め方

① 対象地域

小中一貫教育の推進や学校の適正規模及び適正配置については、須坂市全体を対象として、進めて行くこと。

② 学校再編の進め方

学校の適正規模及び適正配置を進める際には、一斉に学校再編を行うことによる

混乱を考慮し、学区を分けて段階的に進めること。

まずは、児童生徒数の減少による学校の小規模化が喫緊の課題となっている地域から優先的に取り組むこと。

③ 小中一貫教育を進める仕組み作り

学校再編に優先的に取り組む地域以外の小中学校でも、小中一貫教育を進める仕組み作りを検討すること。

(5) 留意点

① 保護者や児童生徒、地域への丁寧な説明

地域から見た学校は、地域社会の将来を担う人材を育てる場所であるとともに、地域の拠点としての役割も担っている。そのため、学校再編にあたっては、保護者や児童生徒はもちろん、自治会や地域住民に丁寧な説明を行うこと。

② 通学の安全確保

学校再編によって、通学距離や通学時間が長くなることも想定されるが、児童生徒の通学の安全確保に十分配慮し、遠距離通学となる場合には、スクールバス等の適切な通学手段を確保すること。

③ 子どもの学びを支援する体制の充実

ア 学校の適正規模を確保し、須坂市が目指す「新しい学びの形(須坂モデル)」を実現するために、市費による講師等の配置や教職員負担を軽減する取り組みの拡充を検討すること。

イ 子どものより豊かな学びを支えるために、地域や企業の力を活用する取り組みをさらに進めること。

ウ 1つの学校に配置される教員数は、国の基準によりその学校の学級数に応じて決められている。市教育委員会は、前述した適正規模を実現し、教員が児童生徒一人ひとりにより丁寧な指導ができるように、教員定数の改善についても、県や教育団体等を通して国への要望を継続すること。

須坂市小中学校適正規模等審議会条例

令和 3 年12月15日 条例第28号

(設置)

第1条 須坂市立小学校及び中学校（以下「小中学校」という。）の適正な規模及び適正な配置の在り方について必要な事項を検討するため、須坂市小中学校適正規模等審議会（以下「審議会」という。）を設置する。

(任務)

第2条 審議会は、教育委員会の諮問に応じて、次に事項について調査、審議するものとする。

- (1) 小中学校の適正な規模及び適正な配置の在り方に関する事項
- (2) その他教育委員会が必要と認める事項

(組織)

第3条 審議会は、委員20人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。

- (1) 学識経験者
- (2) 小中学校の児童及び生徒の保護者
- (3) 区長会から推薦された者
- (4) 須坂市校長会から推薦された者
- (5) その他教育委員会が必要と認める者

3 委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

(任期)

第4条 委員の任期は2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 前項の規定にかかわらず、委員の再任は妨げない。

(会長等)

第5条 審議会に会長及び副会長を置き、委員が互選する。

2 会長は、審議会を代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 審議会は、会長が招集し、会長が議長となる。ただし、審議会を初めて招集するときは、教育長が招集する。

2 審議会は、委員の半数以上の出席がなければ会議を開くことができない。

3 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

4 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、その説明若しくは意見を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

(幹事及び書記)

第7条 審議会に幹事及び書記を置き、教育委員会職員のうちから教育委員会が任命する。

2 幹事は、審議会の所管事務について委員を補佐する。

3 書記は、会長の指揮を受け庶務に従事する。

(補則)

第8条 この条例に定めるもののほか、審議会に関し必要な事項は、会長が審議会に諮って定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、令和4年4月1日から施行する。

(須坂市特別職の職員等の給与に関する条例の一部改正)

2 須坂市特別職の職員等の給与に関する条例（昭和30年条例第8号）の一部を次のように

改正する。

別表第 3 中

「

伝統的建造物群保存地区保存審議会委員及び臨時委員			
--------------------------	--	--	--

」

を

「

伝統的建造物群保存地区保存審議会委員及び臨時委員			
須坂市小中学校適正規模等審議会委員			

」

に改める。

須坂市小中学校適正規模等審議会 委員名簿

任期 2022年5月1日～2024年4月30日

選出区分	氏 名	所属等
学識経験者	勝山 幸則(会長)	元常盤中学校長
	荒井 英治郎(副会長)	信州大学 教職支援センター 准教授
	本多 健一	元長野県須坂高等学校校長
小中学校の児童及び生徒 の保護者	有地 康晃	市PTA連合会から推薦(前常盤中学校PTA参与)
	新崎 佳子	市PTA連合会から推薦(前相森中学校PTA副会長)
	丸山 貴子	市PTA連合会から推薦(前井上小学校PTA副会長)
	新野 健	元上高井郡市PTA連合会 顧問
区長会から推薦された者	牧 富士男	前立町区長
	奥原 利広	前光ヶ丘ニュータウン区長
	古平 幸正	前村山町区長
	戸松 清一郎	前大日向町区長
須坂市校長会から 推薦された者 2023年4月1日から	坪井 扶司夫	墨坂中学校長
	新井 孝之	東中学校長
	桂本 和弘	小山小学校長
	松澤 裕子	高甫小学校長
須坂市校長会から 推薦された者 2023年3月31日まで	島田 浩幸	東中学校長
	佐藤 富美子	豊洲小学校長
	西原 秀明	相森中学校長
	中沢 裕子	豊丘小学校長
その他教育委員会が必要と 認める者	垂澤 優樹	認定こども園 須坂双葉幼稚園 園長
	宮川 浩	企業経営者 県PTA連合会 副会長
	北森 ちか	犬処ケンケン一般社団法人TASPET 代表 (商工会議所推薦者)
	清水 貴夫	須坂小学校教諭(教職員組合推薦)
その他教育委員会が必要と 認める者 2023年4月1日から	永野 訓正	保育園保護者会連合会 会長
その他教育委員会が必要と 認める者 2023年3月31日まで	牧 奈穂美	保育園保護者会連合会 会長

2022 教学 33 号
2022 年 5 月 27 日

須坂市小中学校適正規模等審議会長 様

須坂市教育委員会
教育長 小林 雅彦

諮 問 書

須坂市小中学校適正規模等審議会条例第 2 条の規定に基づき、下記の事項について諮問
します。

記

1 諮問事項

須坂市小中学校の適正な規模及び適正な配置の在り方について

2 諮問理由

本市は、近年の少子化の影響から、児童生徒が年々減少し、学校の小規模化が
進んでいます。つきましては、本市における少子化時代の学校教育の在り方につ
いて検討するため、適正な規模及び適正な配置の在り方についてご答申をお願い
いたします。

3 答申期限

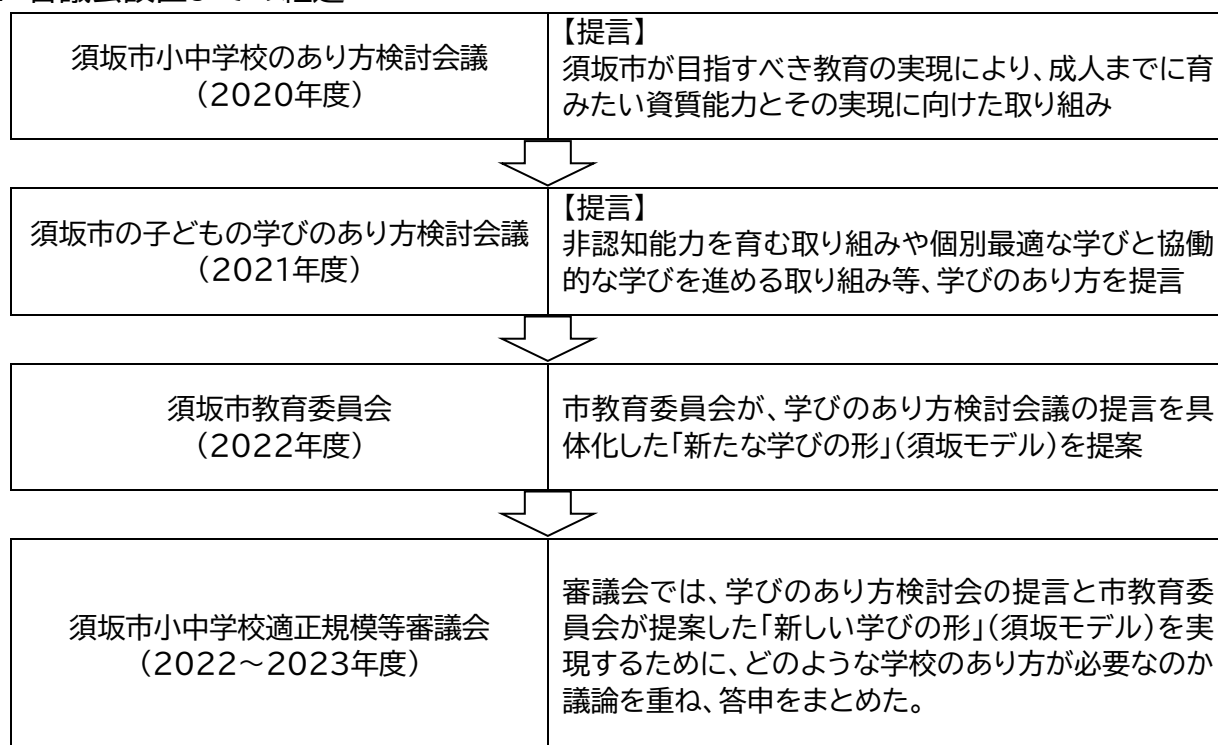
2024 年 3 月

須坂市小中学校適正規模等審議会の検討経過

1 審議会の目的

小中学校の適正な規模及び適正な配置のあり方等に関する教育委員会からの諮問に応じ、調査・審議を行って答申すること。

2 審議会設置までの経過



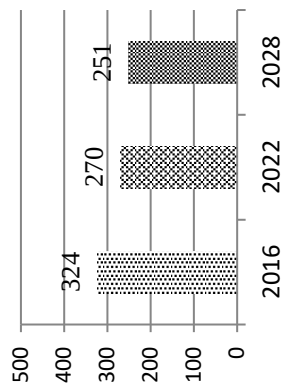
3 審議会の検討経過

会議名等	開催日／会場	主な内容
第 1 回	5 月 27 日 旧上高井郡役所	・須坂市の児童生徒数について共有 ・須坂市の新たな学びの形(須坂モデル)の提案
第 2 回	7 月 22 日 須坂市生涯学習センター	・多様性や学校と地域の関係等についてグループによる意見交換 ・市民アンケート案の検討
視察	8 月 23～31 日 旧上高井郡役所	・市内小中学校の視察(須坂小、小山小、豊洲小、豊丘小、相森中、東中、須坂支援学校) ・授業見学、学校施設見学、学校の課題等について校長等と懇談
第 3 回	9 月 29 日 旧上高井郡役所	・小中学校視察を終えて意見交換 ・保護者・教職員・児童生徒アンケート案の検討
第 4 回	11 月 24 日 旧上高井郡役所	・市民アンケートの結果報告及び意見交換

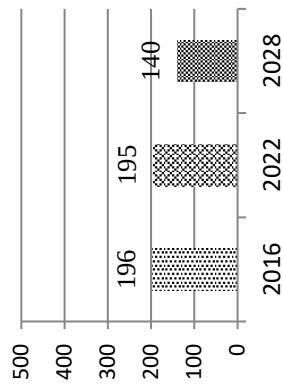
シンポジウム (第1回)	11月27日 旧上高井郡役所	・審議会での議論の振り返りと市民アンケート結果について、市民等の参加者と共有
第5回	1月19日 旧上高井郡役所	・市民・保護者・教職員・児童生徒アンケートの結果報告及び意見交換 ・市民等のアンケート結果やこれまでの議論等を踏まえ、将来的に現状の学校の配置や規模を見直す方向で検討を進めることを確認。
第6回	2月16日 旧上高井郡役所	・来年度の議論の進め方について意見交換 ・小中一貫教育を推進するため学校類型の特徴について共有
シンポジウム (第2回)	2月19日 旧上高井郡役所	・審議会での議論の振り返りと市民・保護者・教職員等アンケート結果について、市民等の参加者と共有
第7回	5月25日 旧上高井郡役所	・学校再編に向けた課題整理 ・アンケート結果を踏まえた学校規模のシミュレーションの説明 ・グループによる意見交換
第8回	7月6日 旧上高井郡役所	・学校再編に向けた課題整理 ・義務教育学校、学校選択制、小規模特認校等のメリット、デメリットについて共有
第9回	9月21日 旧上高井郡役所	答申に盛り込む項目について意見交換
第10回	10月19日 旧上高井郡役所	答申書案について意見交換
第11回	11月16日 旧上高井郡役所	答申書案について意見交換
第12回	12月13日 旧上高井郡役所	答申書のまとめ

小学校児童数の推計 2016年～2028年

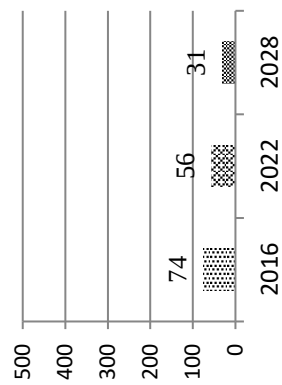
森上



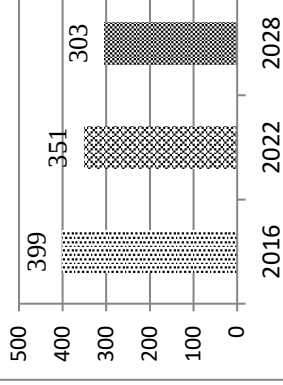
旭ヶ丘



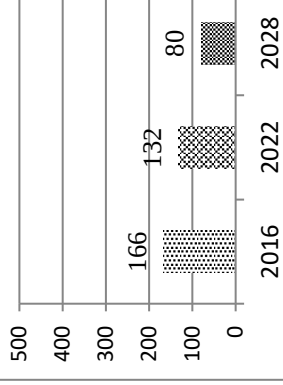
豊丘



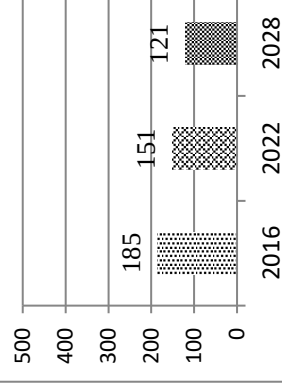
小山



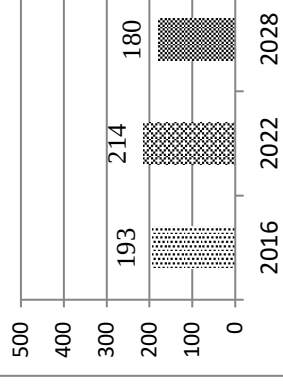
豊洲



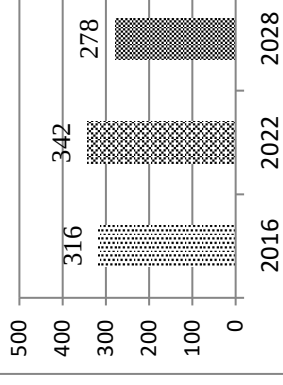
高南



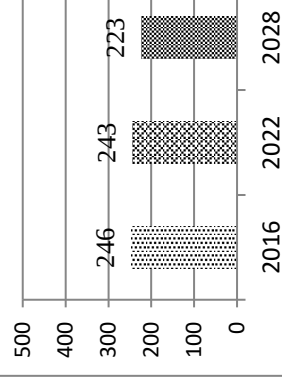
須坂



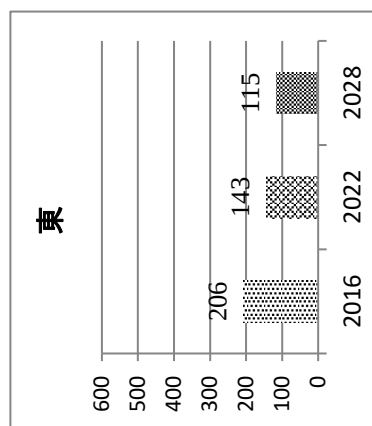
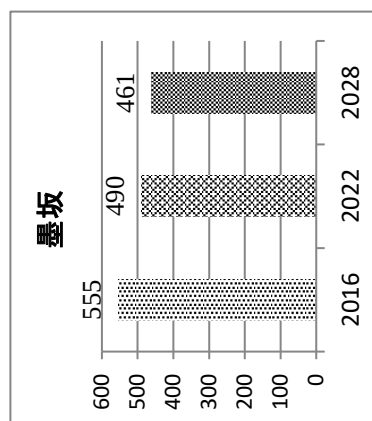
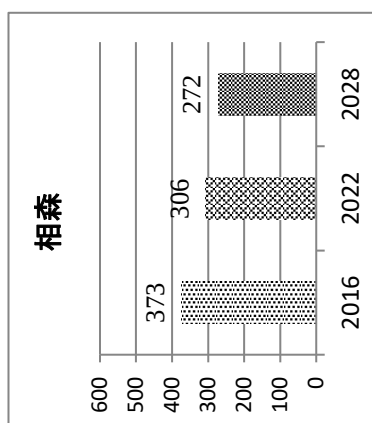
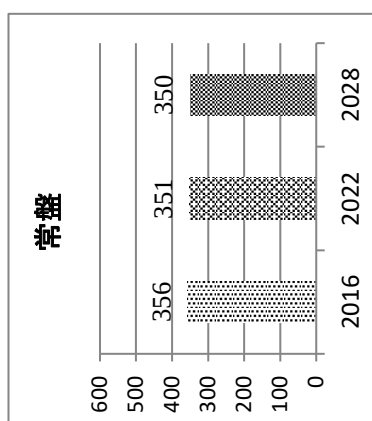
日滝



井上

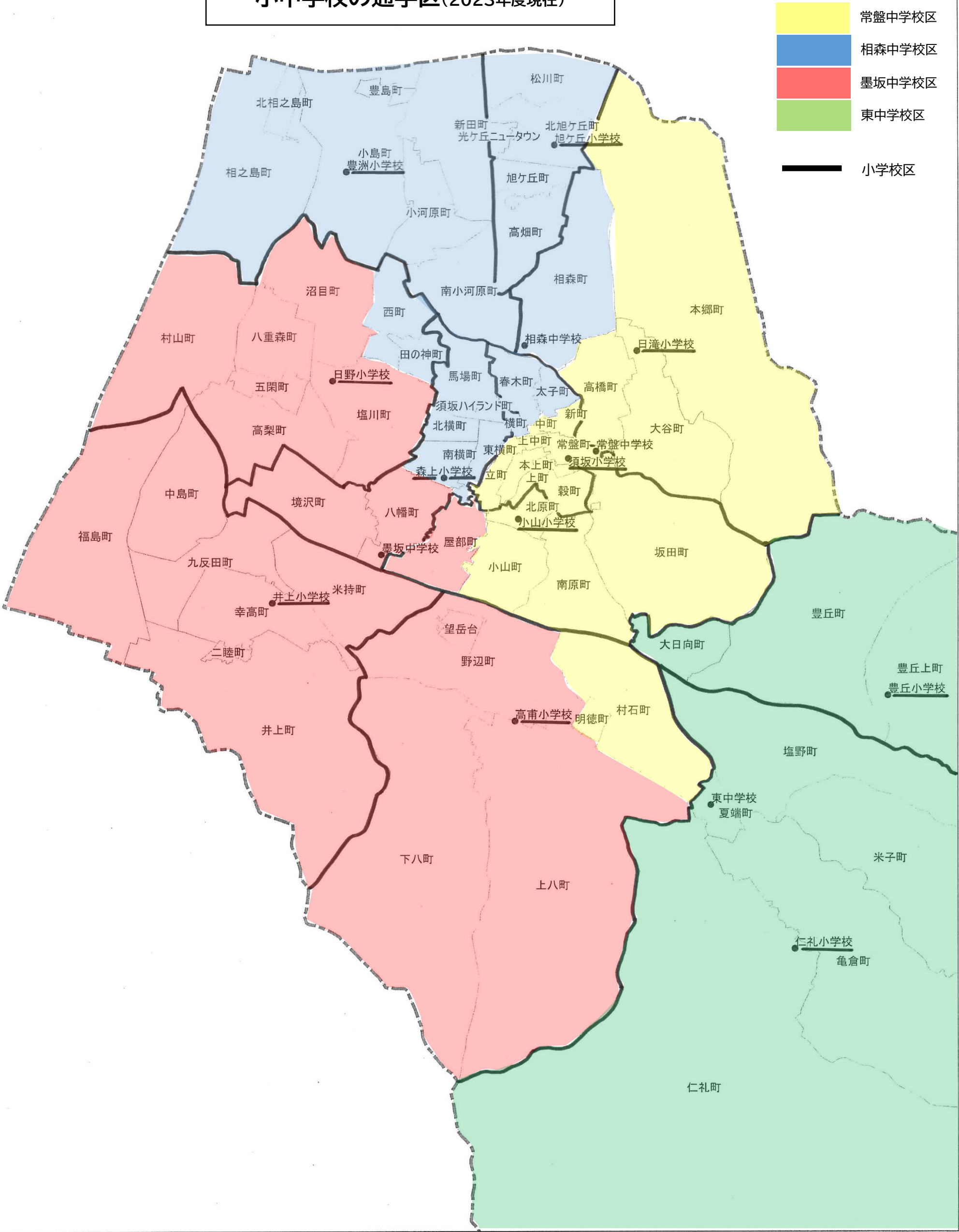


中学校生徒数の推計 2016年～2028年



0 700 1,400 m

小中学校の通学区(2023年度現在)



令和5年度

教 員 配 当 基 準

(H9. 4. 1 改定)
(R3. 4. 1 一部改定)

専科は、小学校は国基準の学級数、中学校は実学級数による。
ただし、生徒指導加配は国基準の学級数による。

[小学校教員配当基準]

学級数	校 長	教 頭	担 任	専 科	合 計
1	1	1	1		3
2	1	1	2		4
3	1	1	3		5
4	1	1	4		6
5	1	1	5		7
6	1	1	6	1	9
7	1	1	7	1	10
8	1	1	8	1	11
9	1	1	9	1	12
10	1	1	10	1	13
11	1	1	11	1	14
12	1	1	12	1	15
13	1	1	13	1	16
14	1	1	14	2	18
15	1	1	15	2	19
16	1	1	16	2	20
17	1	1	17	2	21
18	1	1	18	2	22
19	1	1	19	2	23
20	1	1	20	2	24
21	1	1	21	2	25
22	1	1	22	2	26
23	1	1	23	2	27
24	1	1	24	2	28
25	1	1	25	2	29
26	1	1	26	3	31
27	1	1	27	3	32
28	1	1	28	3	33
29	1	1	29	3	34
30	1	1	30	3	35
31	1	1	31	3	36
32	1	1	32	3	37
33	1	1	33	4	39
34	1	1	34	4	40
35	1	1	35	4	41
36	1	1	36	4	42
37	1	1	37	4	43
38	1	1	38	4	44
39	1	1	39	4	45
40	1	1	40	4	46

[中学校教員配当基準]

学級数	校 長	教 頭	担 任	専 科	生 指	合 計
1	1	1	1			3
2	1	1	2	2		6
3	1	1	3	4		9
4	1	1	4	3		9
5	1	1	5	3		10
6	1	1	6	3		11
7	1	1	7	4		13
8	1	1	8	5		15
9	1	1	9	5		16
10	1	1	10	6		18
11	1	1	11	6		19
12	1	1	12	6		20
13	1	1	13	6		21
14	1	1	14	7		23
15	1	1	15	7		24
16	1	1	16	7	1	26
17	1	1	17	8	1	28
18	1	1	18	9	1	30
19	1	1	19	10	1	32
20	1	1	20	10	1	33
21	1	1	21	10	1	34
22	1	1	22	11	1	36
23	1	1	23	11	1	37
24	1	1	24	11	1	38
25	1	1	25	12	1	40
26	1	1	26	13	1	42
27	1	1	27	13	1	43
28	1	1	28	13	1	44
29	1	1	29	14	1	46
30	1	1	30	14	1	47
31	1	1	31	15	1	49
32	1	1	32	16	1	51
33	1	1	33	16	1	52
34	1	1	34	17	1	54
35	1	1	35	17	1	55
36	1	1	36	17	1	56
37	1	1	37	17	1	57
38	1	1	38	18	1	59
39	1	1	39	18	1	60
40	1	1	40	18	1	61

令和 5 年度 市町村立小・中学校 学級編制基準

1 同学年の児童・生徒で編制する学級

(1) 小学校第 1・2・3・4・5・6 学年 35 人

(2) 中学校第 1・2・3 学年 35 人

2 二の学年児童・生徒で編制する学級（複式学級）

小学校、中学校とも 8 人

ただし、いわゆる「飛び複式学級」にあつてはいずれの学年も 4 人

3 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 81 条に規定する特別支援学級

(1) 小学校、中学校とも 3 人以上 8 人以下

(2) 次の場合で、県教育委員会が必要と認めたもの

ア 入級児童・生徒が 2 人以下となった場合

イ 学級を閉級した後 2 年以内に入級希望者があつた場合

ウ 小学校で入級している児童が、当該特別支援学級を設置していない中学校に進学する場合

エ 入級予定者が 2 人で、次年度 3 人以上になることが明らかな場合

4 その他の学級

その他、特別な事情があるものとして、県教育委員会が必要と認めたもの

新しい時代の学びを実現する学校（須坂モデル）

- ① 園小の接続による非認知能力の育成の具体化
- ② 9年間を見通したカリキュラム編成による学びの構築
- ③ 個別最適化された学び（修得主義）への転換
- ④ 協働的な学びによる思考力・判断力・表現力等の育成
- ⑤ 総合的な学習（須坂街歩き科）での探究的学びの構築
- ⑥ ガイダンス機能を生かす異学年集団での学びの構築
- ⑦ 一人一人に寄り添う特別支援教育、不登校支援の充実
- ⑧ 学校を支える「学校運営協議会」の設置

- ⑥ガイダンス機能を生かす異学年集団
- ・異学年集団による学習機会の設定
 - ・異学年集団による行事、生徒会運営等



① 園小の接続による非認知能力の育成

- ・アブローチ、スタートカリキュラムの共同作成
- ・幼保の「遊び」と小学校の生活科の接続
- ・特別支援教育の視点からの育ちの連続性の保障
- ・保護者の学び機会の設定

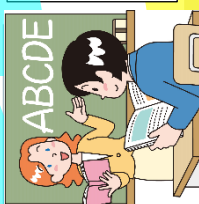


保育園・幼稚園
認定こども園

- ⑦一人一人に寄り添う特別支援教育、不登校支援
- ・センター化を推進し、特別支援教育の専門教員による支援
 - ・3歳児検診、すこやか相談からの連続した専門的支援
 - ・医療、行政、学校が一体となった発達の特性をもち子への支援
 - ・ICT を活用した不登校、不適應生への学力保障
 - ・高等学校、専修学校等と連携した進路保障

いとも

Lのいす



- ②9年間を見通したカリキュラム編成による学び
- ・小学校からの教科担任制
 - ・小中学校 9 年間の英語学習の接続
 - ・中学生の進路保障に向けた特別時間割

③個別最適化された学び（修得主義への転換）

- ・ICT を活用した学び直し、先取り学習による知識・技能の習得
- ・自由進度学習等による個のペースでの学び

小学校・中学校
義務教育学校

④協働的な学びによる思考力・判断力・表現力等の育成

- ・ICT を活用した家庭学習と反転学習の実施
- ・反転学習に基づいた習熟度別学習の実施
- ・教科の本質に迫る学び合いと発信



⑤総合的な学習（須坂街歩き科）での探究的学び

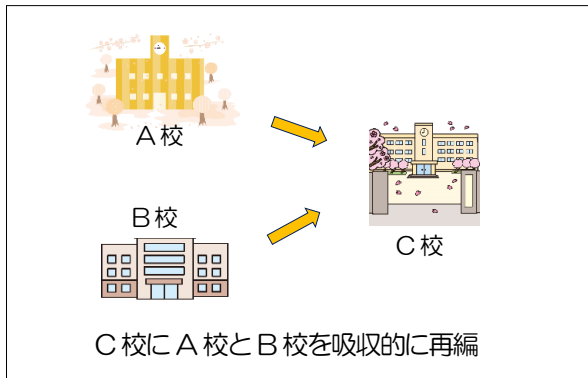
- ・ふるさと須坂を知る学び
- ・須坂市が抱える課題について考え発信し行動する
- ・異学年集団による課題別探究学習

⑧学校を支える「学校運営協議会」

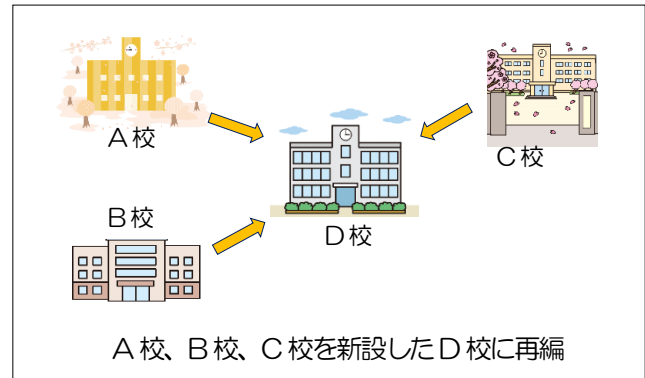
- ・地域、PTA、企業、教育委員会、学校等による学校運営
- ・教育資源の集中化、効率化による学校運営効果の向上
- ・学校の社会教育施設化による開放、不登校児童生徒対応等
- ・学校行事の見直し、部活動の外部委託等教員の労働環境の改善
- ・学校の教育活動の発信、市民との双方向通信

1 小学校同士、中学校同士の再編

(1) (仮称) 吸収型再編



(2) (仮称) 新校型再編

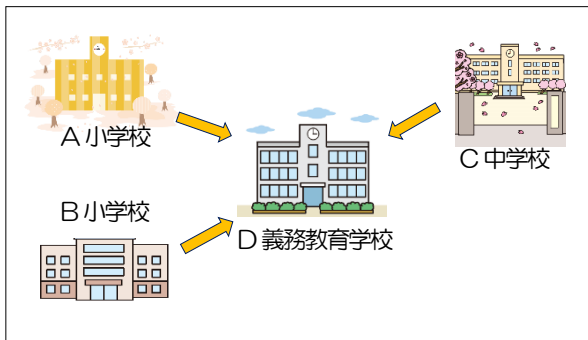


2 小中一貫教育の推進のための再編

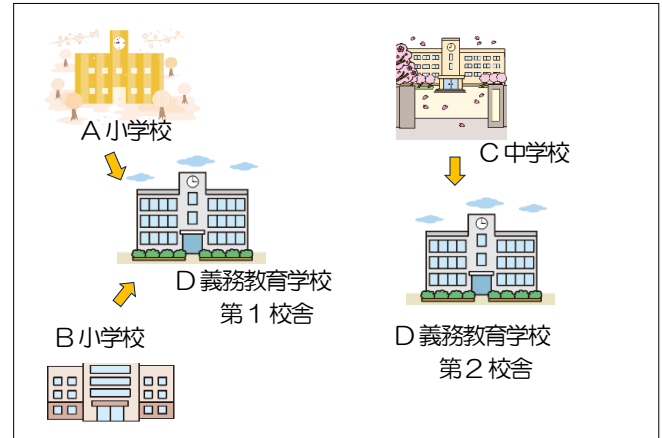
小学校と中学校が目指す子ども像を共有し、9年間を通した教育課程を編成して、系統的な教育を推進

(1) 義務教育学校（一つの学校、一人の校長、一つの教職員組織、修業年限9年）

① 施設一体型



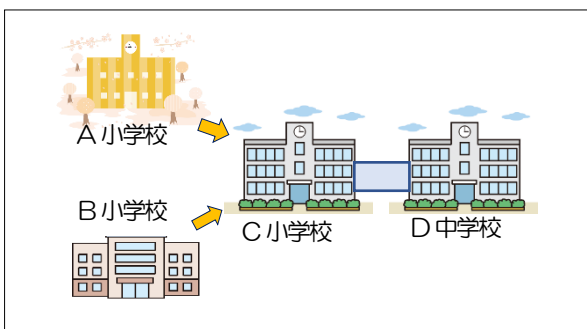
② 施設分離型



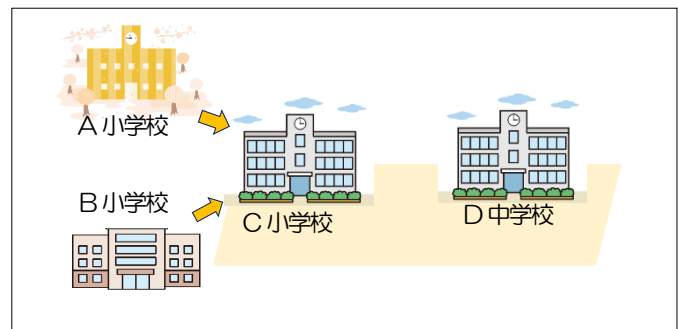
(2) 併設型小学校・中学校（小中一貫型小学校・中学校）

組織上独立した小学校及び中学校が一貫した教育を施す それぞれの学校に校長、教職員組織

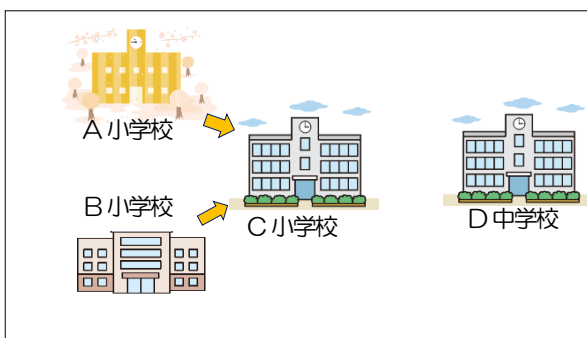
① 施設一体型（渡廊下等で校舎をつなげる）



② 施設隣接型（同一敷地又は隣接する敷地）



③ 施設分離型



須坂市小中学校の適正規模等に関するアンケート結果【全体の概要】

1 調査の目的

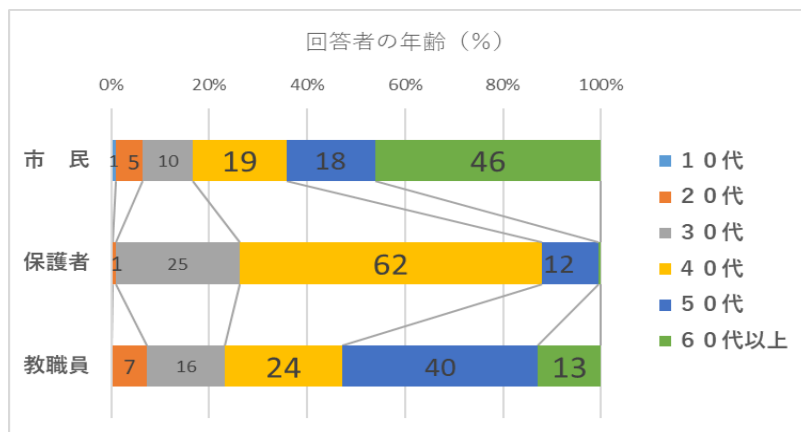
須坂市では、急激に少子化社会が進み、今後、児童生徒数はますます減少していくことが予想される。将来を展望した小中学校の適正規模や適正配置について、須坂市小中学校適正規模等審議会が総合的に検討するための基礎資料とする。

2 調査期間 2022年9月1日～11月21日

3 アンケート回収結果

	対象者	配布	回収	回収率(%)
1	市 民	800	336	42.0
2	保護者	3,079	1,408	45.7
3	教職員	352	341	96.9
4	児童(小学5・6年生)	855	721	84.3
5	生徒(中学2・3年生)	872	658	75.5
	全 体	5,958	3,464	58.1

4 回答者の年齢

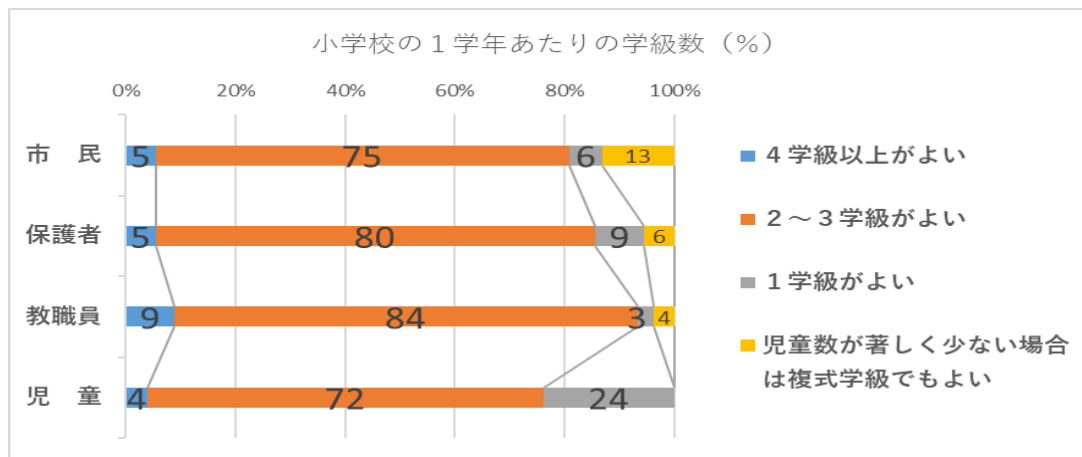


【考察】 回答者の年齢

①回答者の割合でもっとも多いのは、市民アンケートでは60代以上(46%)、保護者は40代(62%)、教職員は50代(40%)となっている。

5 学校の規模について

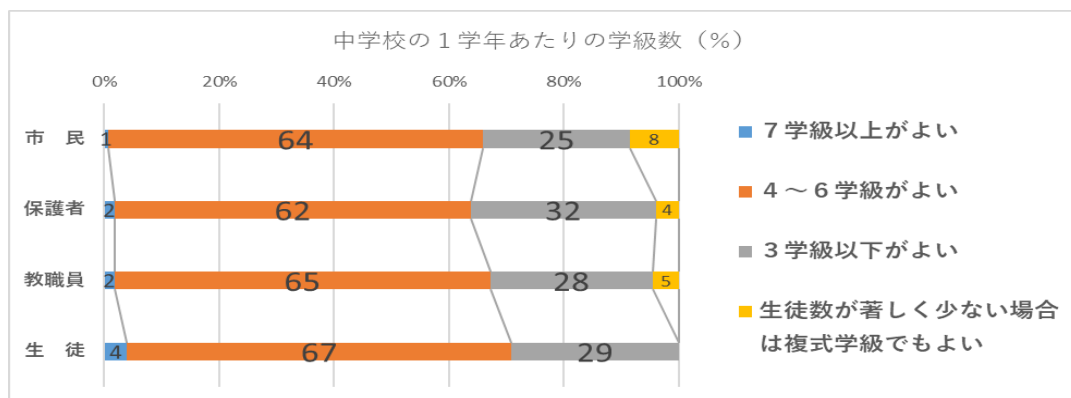
(1) 小学校の1学年あたりの学級数 【問2-1】



【考察】 小学校の1学年あたりの学級数

- ①どのアンケートでも「2～3学級がよい」との回答が7割を超え、もっとも多い。
- ②児童アンケートでは「1学級でもよい」(24%)との回答が、他のアンケートよりも多い。

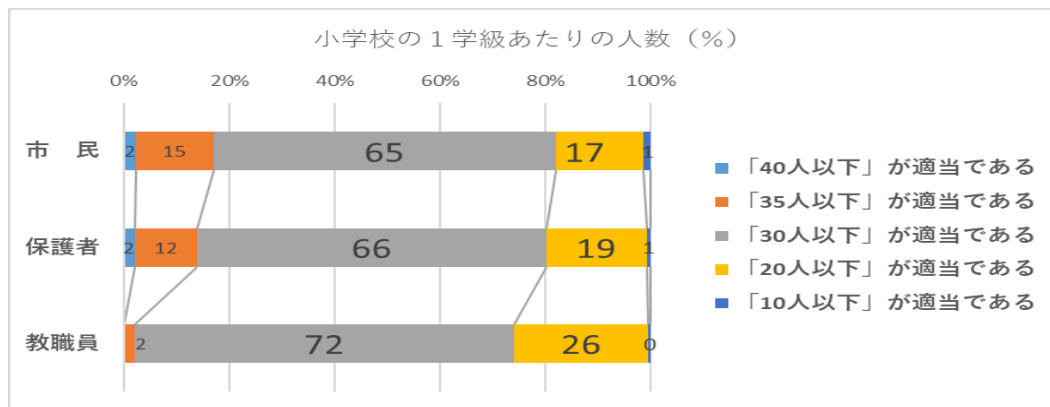
(2) 中学校の1学年あたりの学級数 【問2-3】



【考察】 中学校の1学年あたりの学級数

- ①どのアンケートでも「4～6学級がよい」との回答が6割を超えもっとも多く、2番目が「3学級以下がよい」となっている。

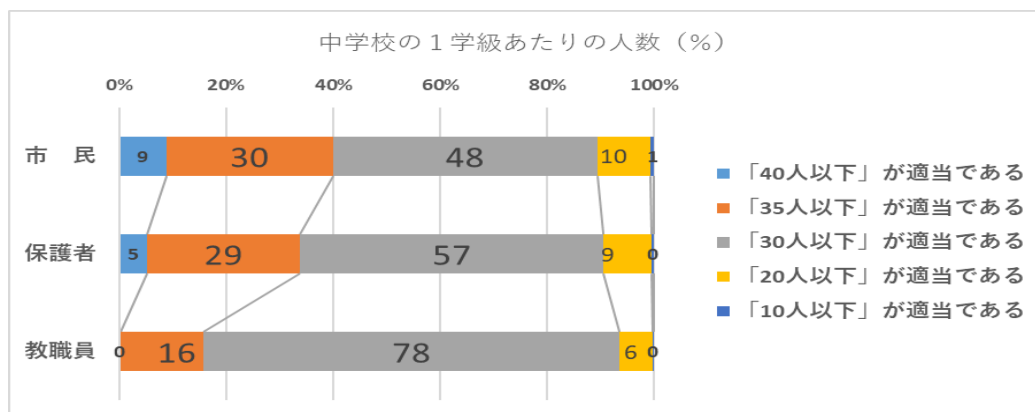
(3) 小学校の1学級あたりの人数【問2-5】



【考察】 小学校の1学級あたりの人数

- ①どのアンケートでも「30人以下が適当」との回答がもっとも多い。市民と保護者では6割を超え、教職員では7割を超えている。
- ②「35人以下が適当」との回答は、市民や保護者では10%以上あるが、教職員では2%となっている。

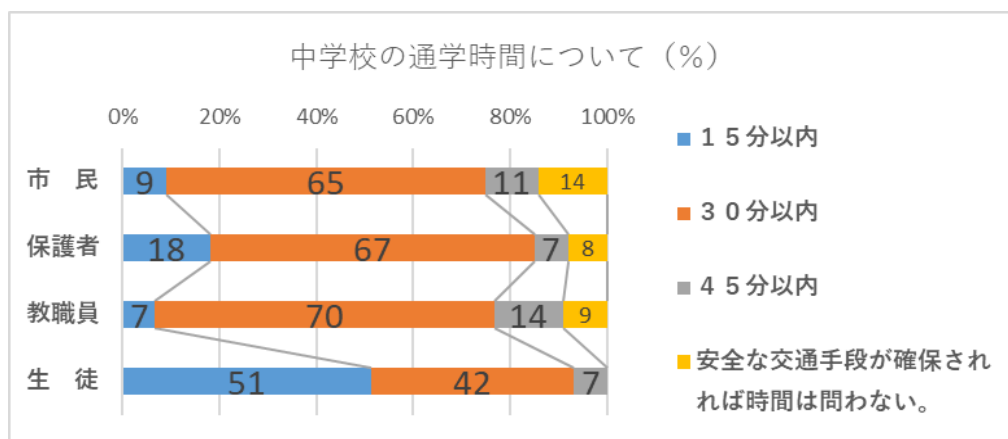
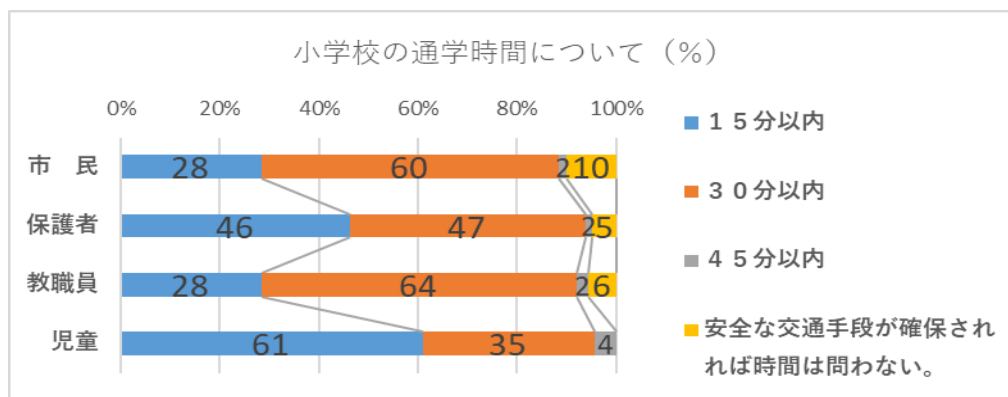
(4) 中学校の1学級あたりの人数【問2-7】



【考察】 中学校の1学級あたりの人数

- ①どのアンケートでも「30人以下が適当」との回答がもっとも多い。特に教職員(78%)は、市民(48%)や保護者(57%)に比べてその割合が多い。

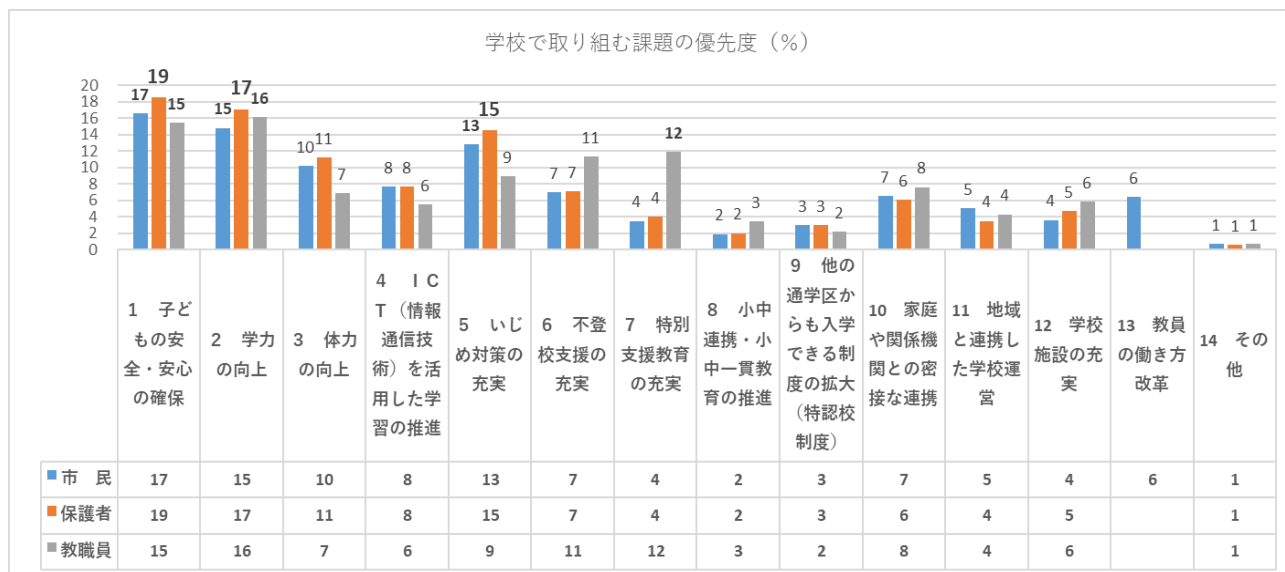
6 通学時間について 【問3-1】【問3-2】



【考察】通学時間について

- ①小学校は市民と教職員で「30分以内」との回答がもっとも多い。保護者は「15分以内」との回答も「30分以内」と同じくらい多い。
- ②中学校は市民、保護者、教職員で「30分以内」との回答が6割を超えもっとも多い。

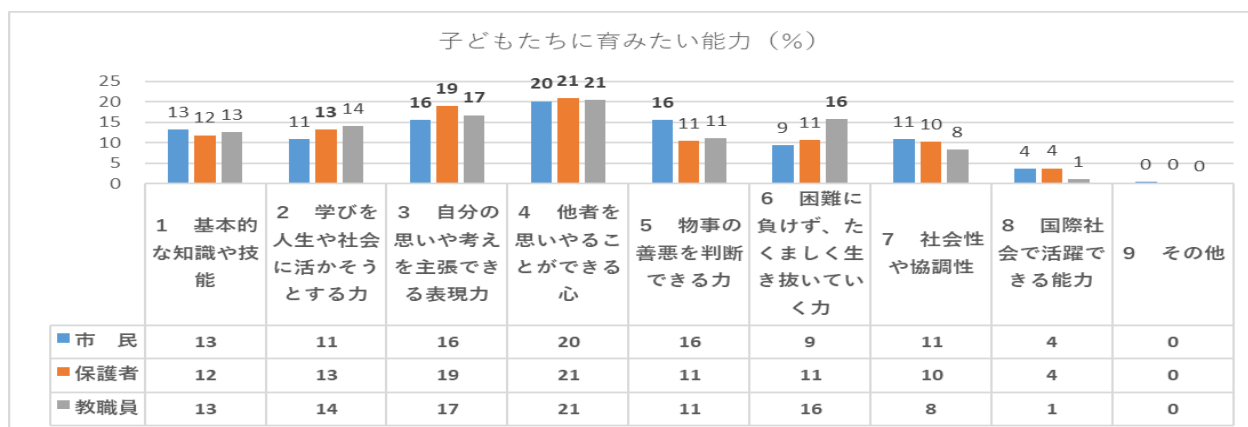
7 学校で取り組む課題の優先度 【問4-1】



【考察】学校で取り組む課題の優先度

- ①「1 子どもの安全・安心の確保」は、市民と保護者では1番目に多く、教職員では2番目に多い。
 ②「2 学力の向上」は、市民と保護者では2番目に多く、教職員では1番目に多い。
 ③「5 いじめ対策の充実」は、市民と保護者では3番目に多い。教職員では「7 特別支援教育の充実」が3番目に多い。

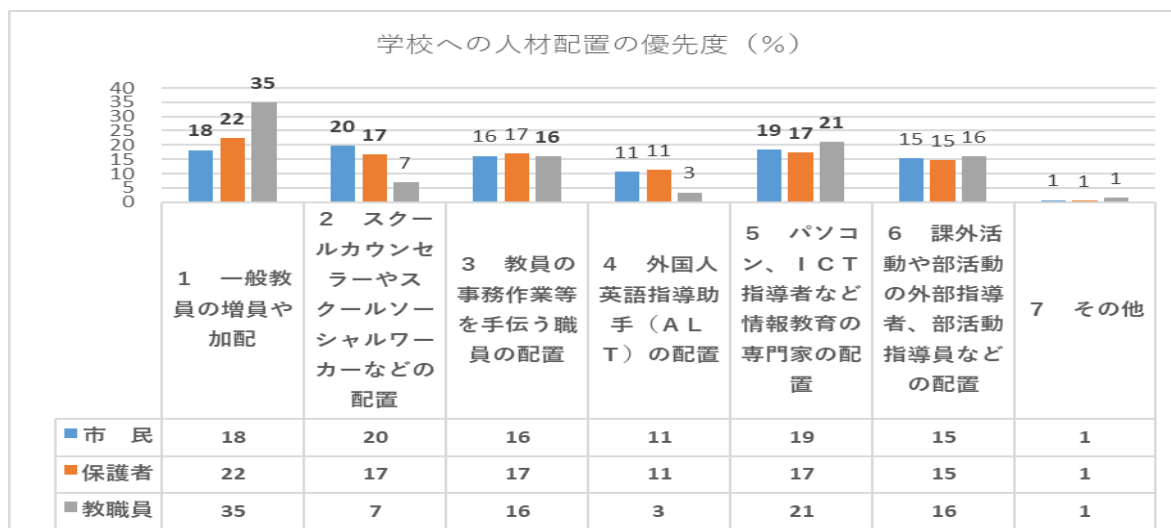
8 子どもたちに育みたい能力 【問4-2】



【考察】子どもたちに育みたい能力

- ①「4 他者を思いやることができる心」は、市民(20%)や保護者(21%)、教職員(21%)のすべてで、1番目に多い。
 ②2番目に多い回答は、市民は「5 物事の善悪を判断できる力」、保護者は「3 自分の思いや考えを主張できる表現力」、教職員は「3 自分の思いや考えを主張できる表現力」
 ③3番目に多い回答は、市民「3 自分の思いや考えを主張できる表現力」、保護者は「2 学びを人生や社会に活かそうとする力」、教職員は「6 困難に負けず、たくましく生き抜いていく力」

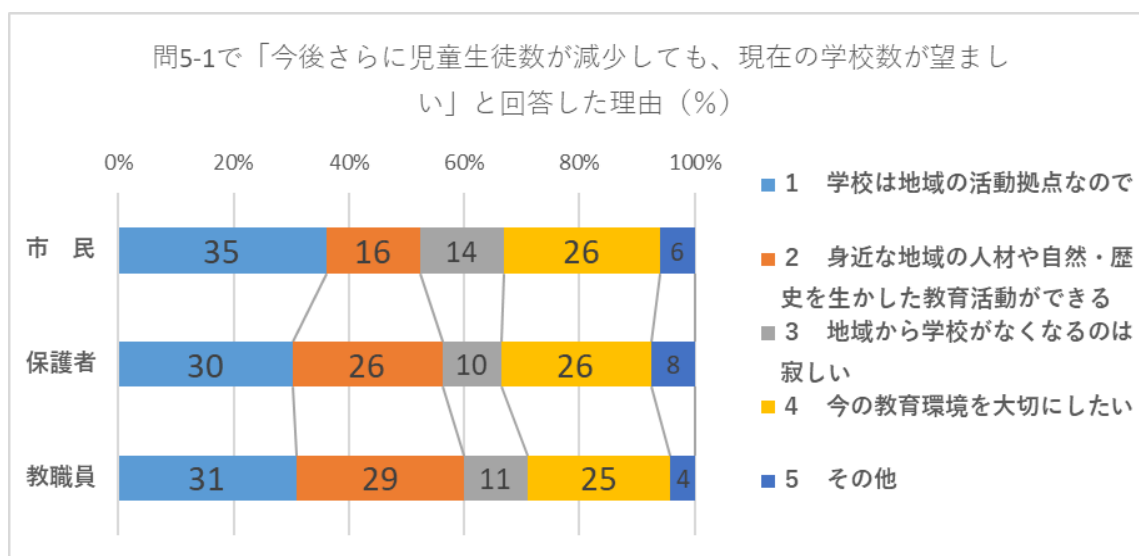
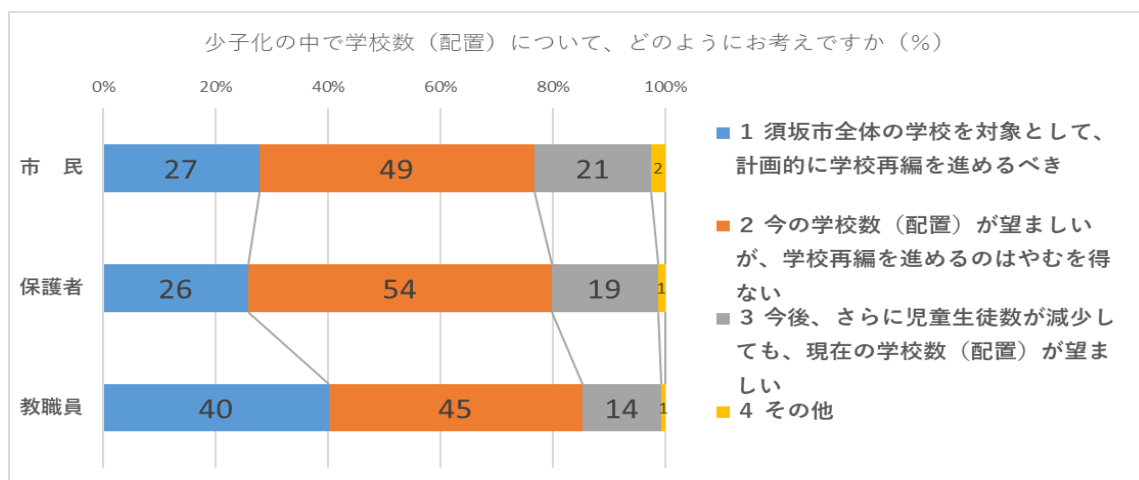
9 学校への人材配置の優先度 【問4-3】



【考察】 学校への人材配置の優先度

- ①1 番目に多い回答は、市民は「2 スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの配置」(20%)。保護者(22%)と教職員(35%)では「1 一般教員の増員や加配」が1 番目に多い。
- ②「5 パソコン、ICT 指導員など」は、市民(19%)、保護者(17%)、教職員(16%)のすべてで2 番目に多くなっている。

10 少子化の中で学校数（配置）についての考え方【問5-1】



【考察】 少子化の中で学校数(配置)についての考え方

- ①どのアンケートでも「2 今の学校数が望ましいが、学校再編を進めるのはやむを得ない」がもっとも多く、2 番目に「1 須坂市全体の学校を対象として、計画的に学校再編を進めるべき」が多くなっている。どのアンケートでも学校再編に肯定的な回答が7 割を超える。
- ②一方で、「3 今後、さらに児童生徒数が減少しても、現在の学校数（配置）が望ましい」との回答も市民21%、保護者19%、教職員14%と一定の割合がある。
- ③「現在の学校数（配置）が望ましい」との回答した理由は、どのアンケートでも「学校は地域の活動拠点なので」もっとも多く3 割を超える。

須坂市小中学校の適正規模等に関する市民アンケート結果

1 調査の目的

須坂市では、急激に少子化社会が進み、今後、児童生徒数はますます減少していくことが予想される。将来を展望した小中学校の適正規模や適正配置について、総合的に検討するための基礎資料とする。

2 調査方法

- (1)調査対象 市内に住む 18 歳以上の 800 人
- (2)抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- (3)調査方法 郵送方式(配布・回答)※回答はインターネットからも可
- (4)調査期間 2022 年9月1日～30日

3 回収率 42.0%(回収数 336/配布数 800)

4 調査項目

【設問一覧】

問1-1	あなたの町(自治会)を教えてください
問1-2	あなたの年齢を教えてください
問1-3	あなたと同居のご家族について教えてください
問2-1	小学校の1学年あたりの学級数について、どのようにお考えですか
問2-2	「問2-1」でお答えいただいた主な理由について、お聞かせください
問2-3	中学校の1学年あたりの学級数について、どのようにお考えですか
問2-4	「問2-3」でお答えいただいた主な理由について、お聞かせください
問2-5	小学校の 1 学級あたりの児童数について、どのようにお考えですか
問2-6	「問2-5」でお答えいただいた主な理由について、お聞かせください
問2-7	中学校の 1 学級あたりの生徒数について、どのようにお考えですか
問2-8	「問2-7」でお答えいただいた主な理由について、お聞かせください
問3-1	小学生の通学時間について、どの程度が望ましいとお考えですか
問3-2	中学生の通学時間について、どの程度が望ましいとお考えですか
問4-1	学校で取り組む課題として、次のどれが特に優先度が高いとお考えですか
問4-2	須坂市の子どもたちに育みたい能力として、次のどれが特に重要だとお考えですか
問4-3	学校への人材配置について、次のどれが特に優先度が高いとお考えですか
問5-1	少子化の中で、学校数(配置)について、どのようにお考えですか
問5-2	「問5-1」で「③」を選択された方にお聞きします。お答えいただいた理由として、次のどれが一番強いとお考えですか

5 市民アンケート結果の概要

(1) 回答者の属性

- ①回答者の年齢は、60 代以上(46%)がもっとも多く、2 番目に 40 代(19%)、3番目が 50 代(18%)となっている。【問 1-2】
- ②回答者が同居する家族の状況は、未就学児から高校生までのいずれもの方とも同居していない回答者の割合(62%)がもっとも多く、2 番目が「小学生がいる」(12%)、3 番目が「未就学児がいる」(10%)となっている。【問 1-3】

※保護者を対象にしたアンケートは、市民アンケートとは別に実施しています。その結果は、来年1月の審議会で報告予定です。

(2) 1 学年あたりの学級数について

- ①小学校は、「4学級以上がよい」(5%)と「2～3学級がよい」(75%)を合わせると8割を超え、1学年あたり2学級以上を望む回答が多い。【問 2-1】
- ②小学校で「2～3学級がよい」と回答した人の理由では、「5 クラス替えが可能で、人間関係が広がる」(127)がもっとも多く、2番目に「2 様々な個性の友だちと触れ合える」(117)、3番目に「10 一人ひとりの児童に応じた丁寧な指導を受けることができる」(70)となっている。【問 2-2】
- ③中学校は、標準規模の「4～6学級がよい」(64%)との回答がもっとも多く、2番目が「児童数が著しく少ない場合は複式学級でもよい」(13%)となっている。【問 2-3】
- ④中学校で「4～6学級がよい」と回答した人の理由では、「2 様々な個性の友だちと触れ合える」(105)がもっとも多く、2番目に「5 クラス替えが可能で、人間関係が広がる」(93)、3番目が「4 生徒会、部活動などの選択の幅が広がる」(86)となっている。【2-4】

(3) 1学級あたりの人数について

- ①小学校は、「30人以下が適当」(64%)との回答がもっとも多く、2番目が「20人以下が適当」(17%)、3番目が「35人以下が適当」(15%)となっている。【問 2-5】
- ②小学校で「30人以下が適当」と回答した人の理由では、「6 一人ひとりの児童に応じた丁寧な指導を受けることができる」(138)がもっとも多く、2番目に「4 集団内において様々な役割分担を経験できる」(89)、3番目に「8 学級としての一体感が生まれる」(85)となっている。【2-6】
- ③中学校でも「30人以下が適当」(48%)との回答がもっとも多く、2番目が「35人以下が適当」(30%)、3番目が「20人以下が適当」(10%)となっている。【問 2-7】
- ④中学校で「30人以下が適当」と回答した人の理由では、「6 一人ひとりの児童に応じた丁寧な指導を受けることができる」(101)がもっとも多く、2番目に「4 集団内において様々な役割分担を経験できる」(70)、3番目に「2 互いに励ましあい、協働しながら成長することができる」(56)となっている。【問 2-8】

(4) 通学時間について

- ①小学校も中学校も「30 分以内」が望ましいとの回答が 6 割を超える。【問 3-1】【問 3-2】

(5) 学校で取り組む課題について

- ①「子どもの安全・安心の確保」(232)がもっとも多く、2 番目が「学力の向上」(206)、3 番目が「いじめ対策の充実」(179)となっている。【問 4-1】

(6) 子どもたちに育みたい能力について

- ①「他者を思いやることができる心」(192)がもっとも多く、2 番目が「物事の善悪を判断できる力」(149)、3 番目が「自分の思いや考えを主張できる表現力」(148)となっている。【問 4-2】

(7) 学校への人材配置について

- ①「スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの配置」(165)がもっとも多いが、他の回答も同じくらい回答数があり、人材配置については、どれも優先度が高いと感じている人が多い。【問 4-3】

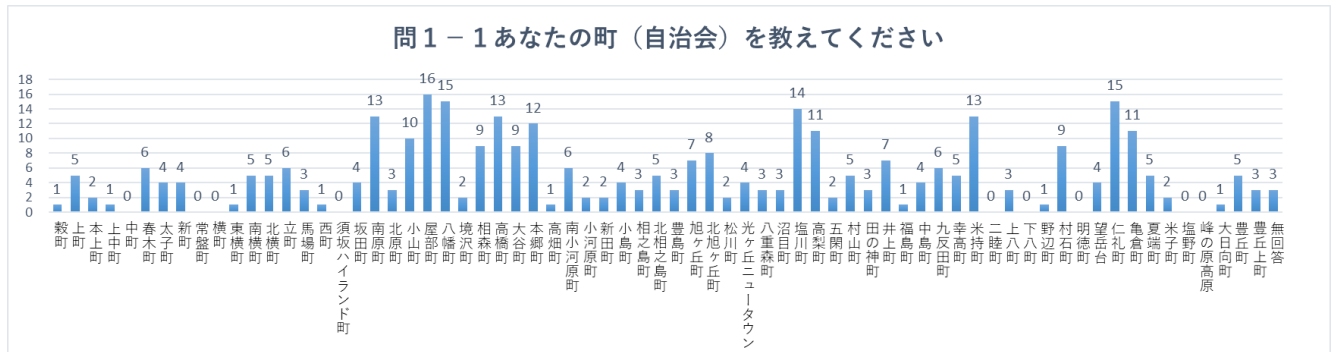
(8) 少子化における学校数(配置)について

- ①「今の学校数(配置)が望ましいが、学校再編を進めるのはやむを得ない」(49%)がもっとも多く、2 番目の「須坂市全体の学校を対象として、計画的に学校再編を進めるべき」(27%)と合わせると、学校再編に肯定的な回答が 7 割を超える。【問 5-1】
- ②一方で「今後、さらに児童生徒数が減少しても、現在の学校数(配置)が望ましい」との回答も 21% あり。その理由は、「学校は地域の活動拠点なので」(35%)と最も多く、2 番目が「今の教育環境を大切にしたい」(26%)となっている。また、その他意見では、学校再編により学校が遠くなり、通学時間が長くなることを心配する意見が複数あった。【問 5-2】

6 調査結果

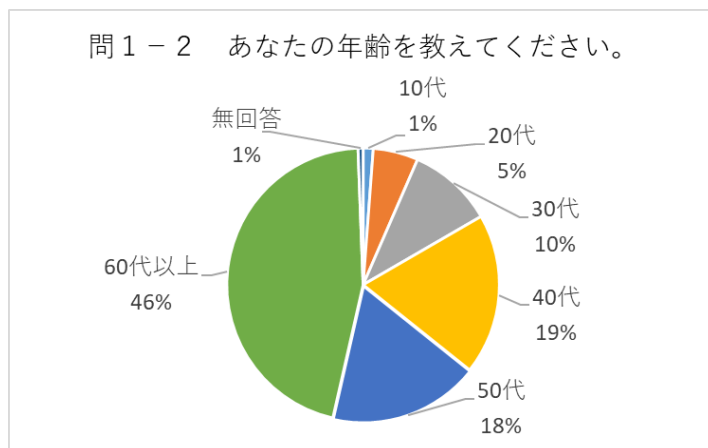
問1ー1 あなたの町(自治会)を教えてください。

回答	333
無回答	3
合計	336



問1ー2 あなたの年齢を教えてください。

	回答	構成比
10代	4	1.2%
20代	18	5.4%
30代	34	10.1%
40代	64	19.0%
50代	60	17.9%
60代以上	154	45.8%
無回答	2	0.6%
計	336	100.0%

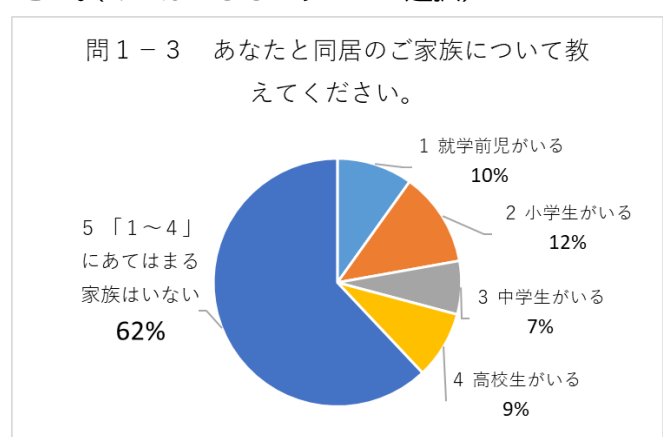


【考察】問1ー2

回答者の年齢は、60代以上(46%)がもっとも多く、2番目に40代(19%)、3番目が50代(18%)となっている。

問1ー3 あなたと同居のご家族について教えてください。(あてはまるものすべてを選択)

	回答	構成比
1 就学前児がいる	37	9.9%
2 小学生がいる	46	12.3%
3 中学生がいる	26	7.0%
4 高校生がいる	33	8.8%
5 「1～4」にあてはまる家族はいない	232	62.0%
無回答	0	0%
計	374	100.0%

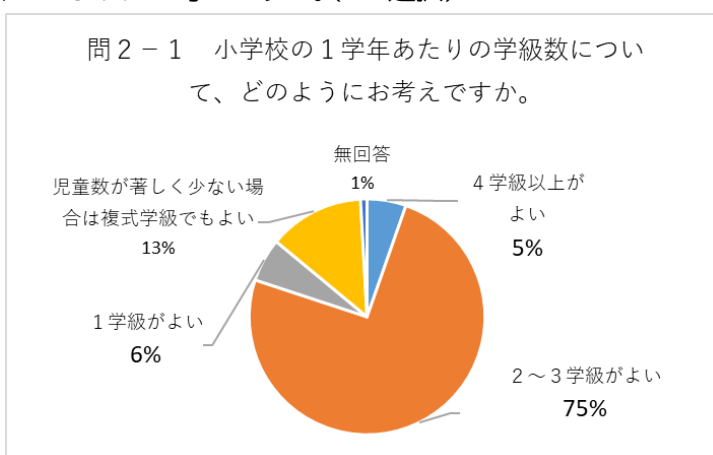


【考察】問1－3

回答者が同居する家族の状況は、未就学児から高校生までのいずれのものの方とも同居していない回答者の割合(62%)がもっとも多く、2番目が「小学生がいる」(12%)、3番目が「未就学児がいる」(10%)となっている。

問2－1 小学校の1学年あたりの学級数について、どのようにお考えですか。(1つ選択)

	回答	構成比
4学級以上がよい	18	5.4%
2～3学級がよい	251	74.7%
1学級がよい	20	5.9%
児童数が著しく少ない場合は複式学級でもよい	44	13.1%
無回答	3	0.9%
計	336	100.0%



【考察】問2－1

- ①小学校の標準規模の「2～3学級がよい」(75%)との回答がもっとも多く、2番目が「児童数が著しく少ない場合は複式学級でもよい」(13%)となっている。
- ②「4学級以上がよい」と「2～3学級がよい」を合わせると8割を超え、1学年あたり2学級以上を望む回答が多い。

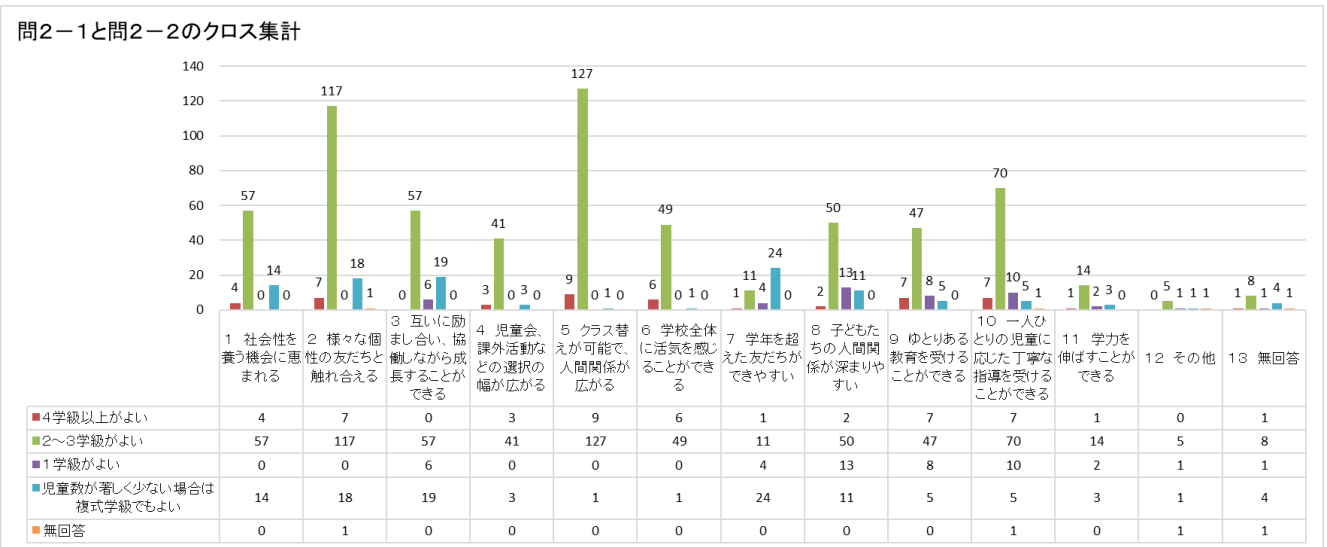
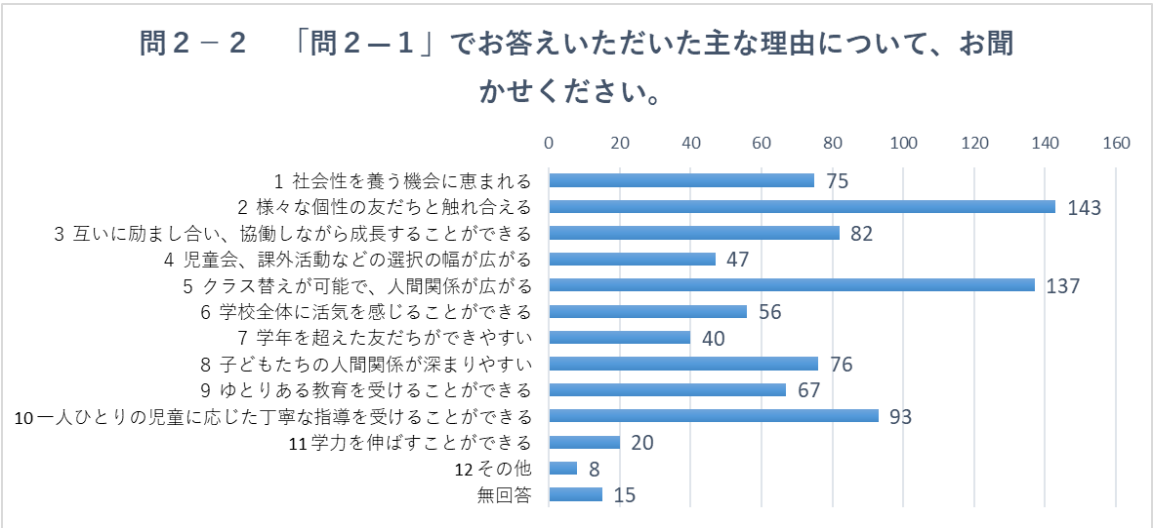
問2－2 「問2－1」でお答えいただいた主な理由について、お聞かせください。(最大3つ選択)

	回答	構成比
1 社会性を養う機会に恵まれる	75	8.7%
2 様々な個性の友だちと触れ合える	143	16.7%
3 互いに励まし合い、協働しながら成長することができる	82	9.6%
4 児童会、課外活動などの選択の幅が広がる	47	5.5%
5 クラス替えが可能で、人間関係が広がる	137	15.9%
6 学校全体に活気を感じることができる	56	6.5%
7 学年を超えた友だちがしやすい	40	4.7%
8 子どもたちの人間関係が深まりやすい	76	8.9%
9 ゆとりある教育を受けることができる	67	7.8%
10 一人ひとりの児童に応じた丁寧な指導を受けることができる	93	10.8%
11 学力を伸ばすことができる	20	2.3%
12 その他	8	0.9%
無回答	15	1.7%

計	859	100.0%
---	-----	--------

【12 その他(自由記載)】

1	1学級20人位でクラス替出来ると良い。
2	運動会、音楽会、クラスマッチ、テスト等でクラスごとに競い合えれば感動、悔し涙等喜怒哀楽が育まれ、卒業しても良い思い出となり人生の糧になる。
3	子ども自身が、学び方を身につけていくことができる。
4	児童数が少なくても、生活する地域で学んでほしい。
5	1学年4クラスは多い。1クラスの人数は30人以下。
6	その時の状況による。
7	クラス数を増やす為に小学校が統合され、通学距離が長くなる事が心配だから。
8	1クラスの人数が少なければ、ゆとり教育ができる。一人一人に丁寧な指導ができる。



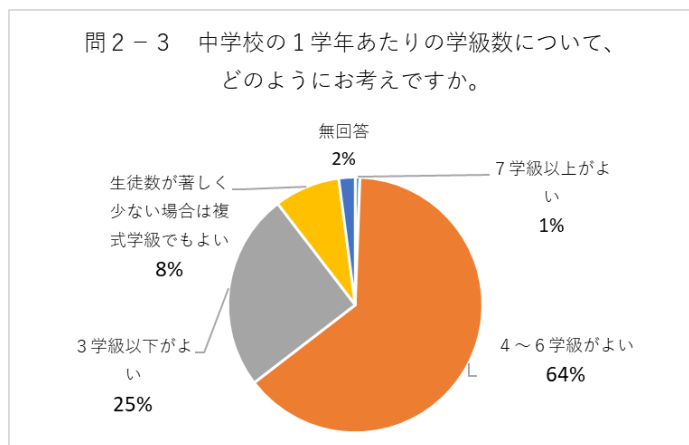
【考察】問2-2

①「2～3学級がよい」と回答した人の理由では、「5 クラス替えが可能で、人間関係が広がる」(127)がもっとも多く、2番目に「2 様々な個性の友だちと触れ合える」(117)、3番目に「10 一人ひとりの児童に応じた丁寧な指導を受けることができる」(70)となっている。

- ②「1学級がよい」がよいと回答した人の理由では、「8 子どもたちの人間関係が深まりやすい」(13)がもっとも多く、2番目に「10 一人ひとりの児童に応じた丁寧な指導を受けることができる」(10)となっている。
- ④「児童数が著しく少ない場合は複式学級でもよい」と回答した人の理由では、「7 学年を超えた友だちがしやすい」(24)がもっとも多く、2番目に「3 互いに励まし合い、協働しながら成長することができる」(19)、3番目に「2 様々な個性の友だちと触れ合える」(18)となっている。

問2-3 中学校の1学年あたりの学級数について、どのようにお考えですか。(1つ選択)

	回答	構成比
7学級以上がよい	2	0.6%
4～6学級がよい	215	64.0%
3学級以下がよい	84	25.0%
生徒数が著しく少ない場合は複式学級でもよい	28	8.3%
無回答	7	2.1%
計	336	100.0%



【考察】問2-3

- ①中学校の標準規模の「4～6学級がよい」(64%)との回答がもっとも多く、2番目が「3学級以下がよい」(25%)となっている。
- ②「児童数が著しく少ない場合は複式学級でもよい」(8%)との回答は、小学校(13%)に比べると少ない。

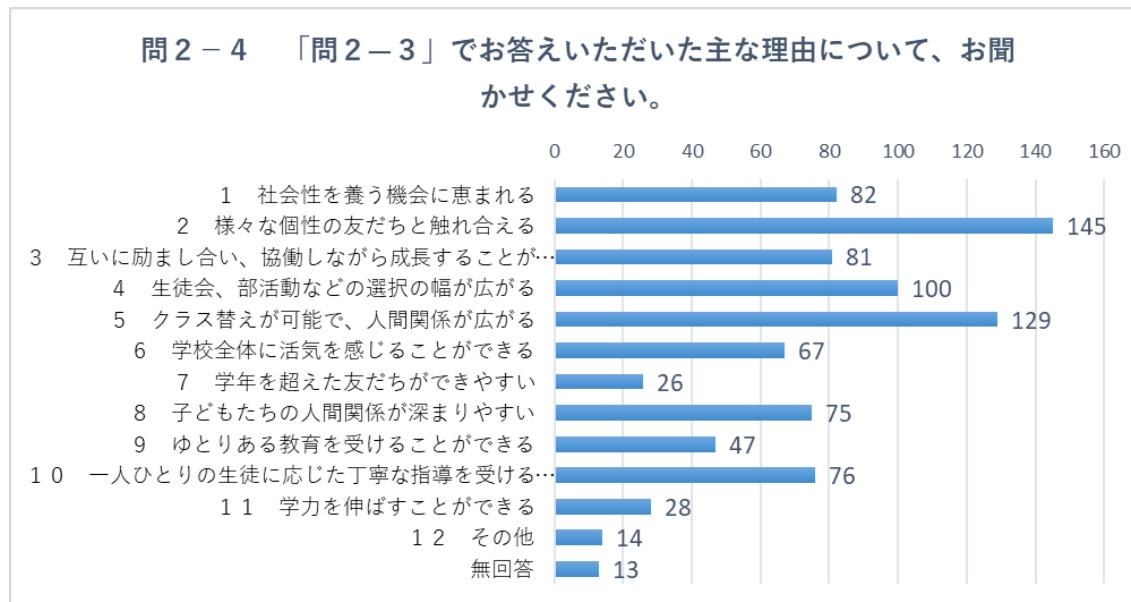
問2-4 「問2-3」でお答えいただいた主な理由について、お聞かせください。(最大3つ選択)

	回答	構成比
1 社会性を養う機会に恵まれる	82	9.3%
2 様々な個性の友だちと触れ合える	145	16.4%
3 互いに励まし合い、協働しながら成長することができる	81	9.2%
4 生徒会、部活動などの選択の幅が広がる	100	11.3%
5 クラス替えが可能で、人間関係が広がる	129	14.6%
6 学校全体に活力を感じることができる	67	7.6%
7 学年を超えた友だちがしやすい	26	2.9%
8 子どもたちの人間関係が深まりやすい	75	8.5%
9 ゆとりある教育を受けることができる	47	5.3%
10 一人ひとりの児童に応じた丁寧な指導を受けることができる	76	8.6%
11 学力を伸ばすことができる	28	3.2%
12 その他	14	1.6%

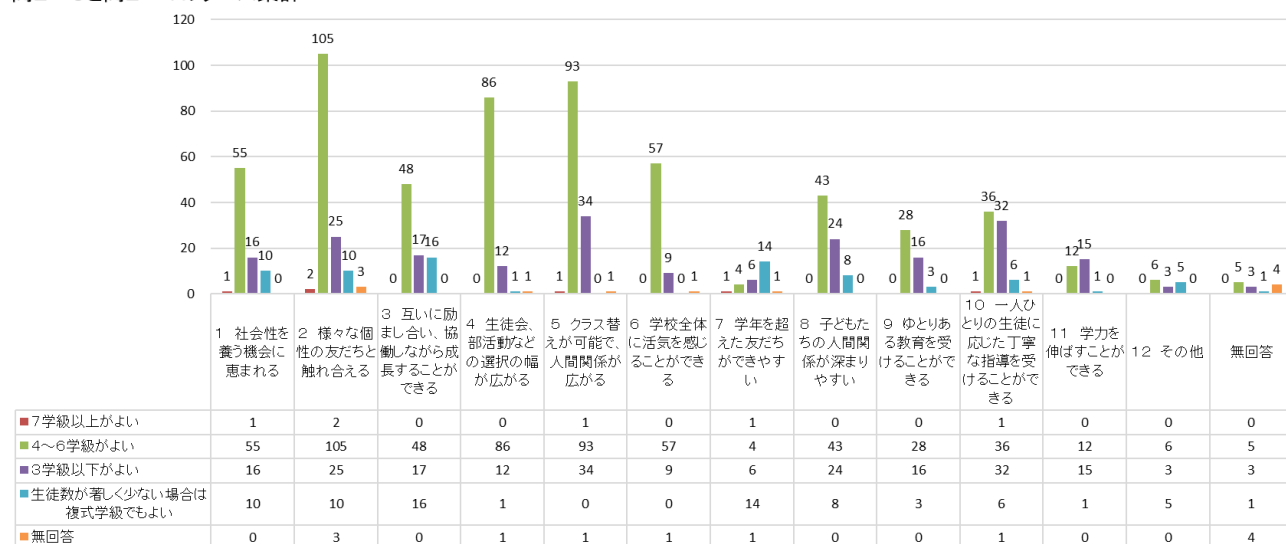
無回答	13	1.5%
計	883	100.0%

【12 その他(自由記載)】

1	クラスの人数、学級数が少ないと協調性に欠ける。
2	1 学級の人数 20～30 名位で、クラス替できると良い。
3	中学は3年間しかない為、生徒数が多い方が良い。何かを行う、何かを成し遂げる大きな事が出来て一人ひとりの自信になる。
4	子ども自身が、学び方を身につけていくことができる。
5	徒歩通学が望ましいから。
6	3、4 クラスがいいのでは。
7	メリット、デメリットがよく分からない。
8	今まで通りで良い。
9	教師が指導できる数であると思うので。
10	クラスマッチなどができる。
11	通学時間は短い方が良い。
12	各教科の免許を持った教員が配置しやすい。
13	1クラスの人数によっては一人一人に向き合い、指導を受け学力を伸ばす事もできる。
14	効率が良さそうだから。



問2-3と問2-4のクロス集計



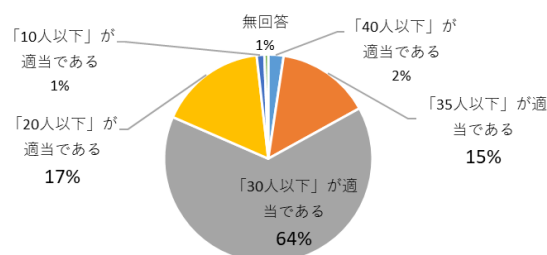
【考察】問2-4

- ①「4～6学級がよい」と回答した人の理由では、「2 様々な個性の友だちと触れ合える」(105)がもっとも多く、2番目に「5 クラス替えが可能で、人間関係が広がる」(93)、3番目が「4 生徒会、部活動などの選択の幅が広がる」(86)となっている。
- ②「3学級以下がよい」と回答した人の理由では、「5 クラス替えが可能で、人間関係が広がる」(34)がもっとも多く、2番目に「10 一人ひとりの児童に応じた丁寧な指導を受けることができる」(32)、3番目が「2 様々な個性の友だちと触れ合える」(25)となっている。

問2-5 小学校の1学級あたりの児童数について、どのようにお考えですか。(1つ選択)

	回答	構成比
「40人以下」が適当である	8	2.4%
「35人以下」が適当である	49	14.6%
「30人以下」が適当である	217	64.6%
「20人以下」が適当である	56	16.6%
「10人以下」が適当である	4	1.2%
無回答	2	0.6%
計	336	100.0%

問2-5 小学校の1学級あたりの児童数について、どのようにお考えですか。



【考察】問2-5

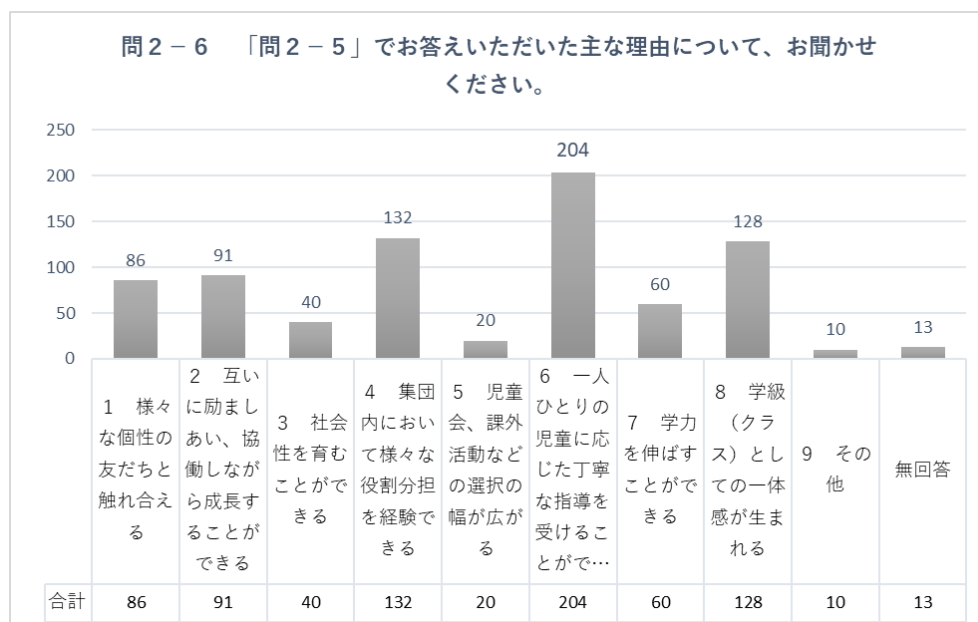
- ①「30人以下が適当」(64%)との回答がもっとも多く、2番目が「20人以下が適当」(17%)、3番目が「35人以下が適当」(15%)となっている。

問2-6「問2-5」でお答えいただいた主な理由について、お聞かせください。(最大3つ選択)

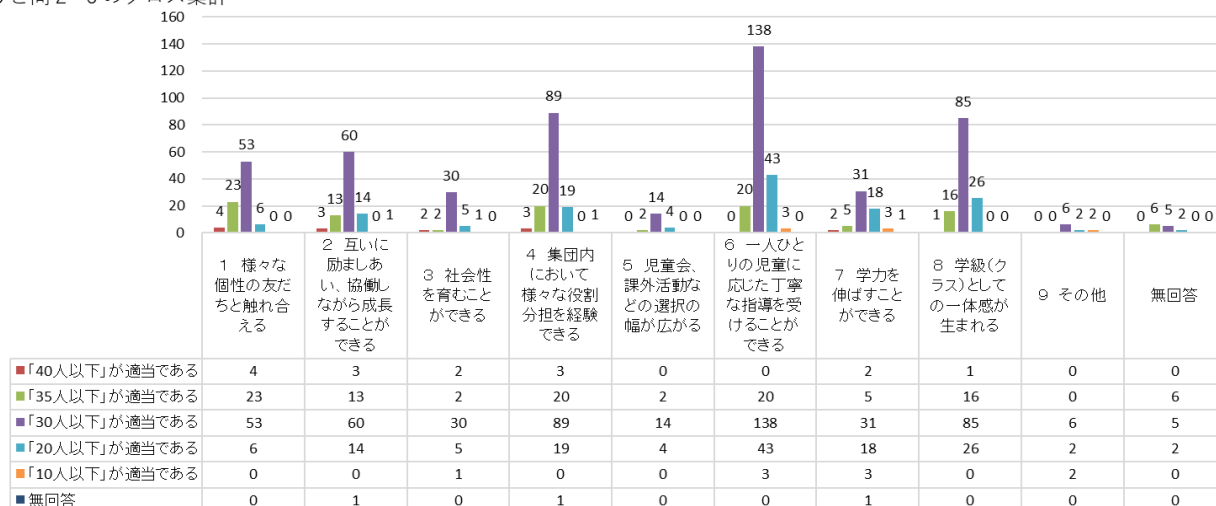
	回答	構成比
1 様々な個性の友だちと触れ合える	86	11.0%
2 互いに励ましあい、協働しながら成長することができる	91	11.6%
3 社会性を育むことができる	40	5.1%
4 集団内において様々な役割分担を経験できる	132	16.8%
5 児童会、課外活動などの選択の幅が広がる	20	2.6%
6 一人ひとりの児童に応じた丁寧な指導を受けることができる	204	26.0%
7 学力を伸ばすことができる	60	7.7%
8 学級(クラス)としての一体感が生まれる	128	16.3%
9 その他	10	1.3%
無回答	13	1.6%
計	784	100.0%

【9 その他(自由記載)】

1	先生が生徒さんを把握できる限界数ではないか。
2	教員の負担を軽減できる。
3	30人学級は40年くらい前からの理想とされているから。
4	教師の目、指導が一人で届く数。
5	密状態が避けられる。教室の大きさが狭い。
6	子供の数が減っている事を承知しているので。
7	児童に目が行き届きやすく、子供達の変化にすぐ気付けるから。
8	1クラスの人数によっては、(少なければ)目もいきわたり、学力を伸ばし良き指導もできる。
9	私は教員をしております。その視点からの意見になりますが、1学級の生徒が増えれば、担任が1人1人の生徒と関わる時間が減るということです。関わる時間が減ることに利点は何かありません。
10	いじめられづらくなりそう。



問2-5と問2-6のクロス集計



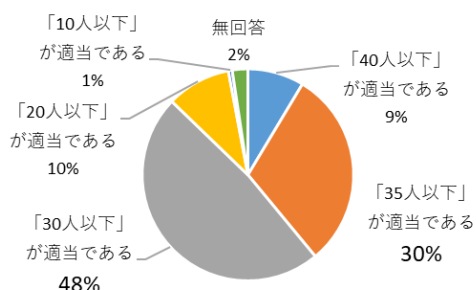
【考察】問2-6

- ①「30人以下が適当」と回答した人の理由では、「6 一人ひとりの児童に応じた丁寧な指導を受けることができる」(138)がもっとも多く、2番目に「4 集団内において様々な役割分担を経験できる」(89)、3番目に「8 学級としての一体感が生まれる」(85)となっている。
- ②「35人以下」と回答した人の理由では、「1 様々な個性の友だちと触れ合える」(23)、2番目に「4 集団内において様々な役割分担を経験できる」(20)と「6 一人ひとりの児童に応じた丁寧な指導を受けることができる」(20)となっている。

問2-7 中学校の1学級あたりの生徒数について、どのようにお考えですか。(1つ選択)

	回答	構成比
「40人以下」が適当である	29	8.6%
「35人以下」が適当である	102	30.4%
「30人以下」が適当である	162	48.2%
「20人以下」が適当である	33	9.8%
「10人以下」が適当である	2	0.6%
無回答	8	2.4%
計	336	100.0%

問2-7 中学校の1学級あたりの生徒数について、どのようにお考えですか。



【考察】問2-7

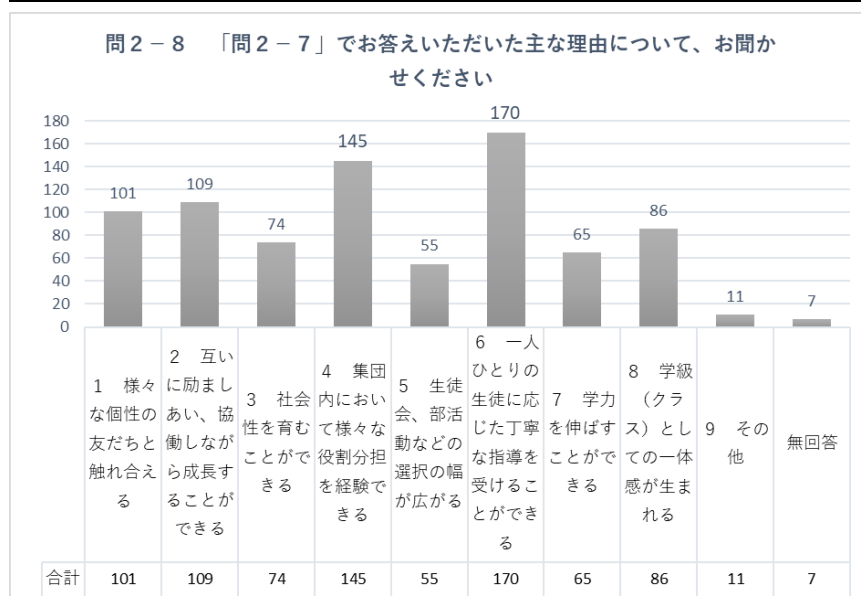
- ①「30人以下が適当」(48%)との回答がもっとも多く、2番目が「35人以下が適当」(30%)、3番目が「20人以下が適当」(10%)となっている。
- ②小学校では3番目多かった「35人以下が適当」の回答が、中学校では2番目多くなっている。

問2-8「問2-7」でお答えいただいた主な理由について、お聞かせください。(最大3つ選択)

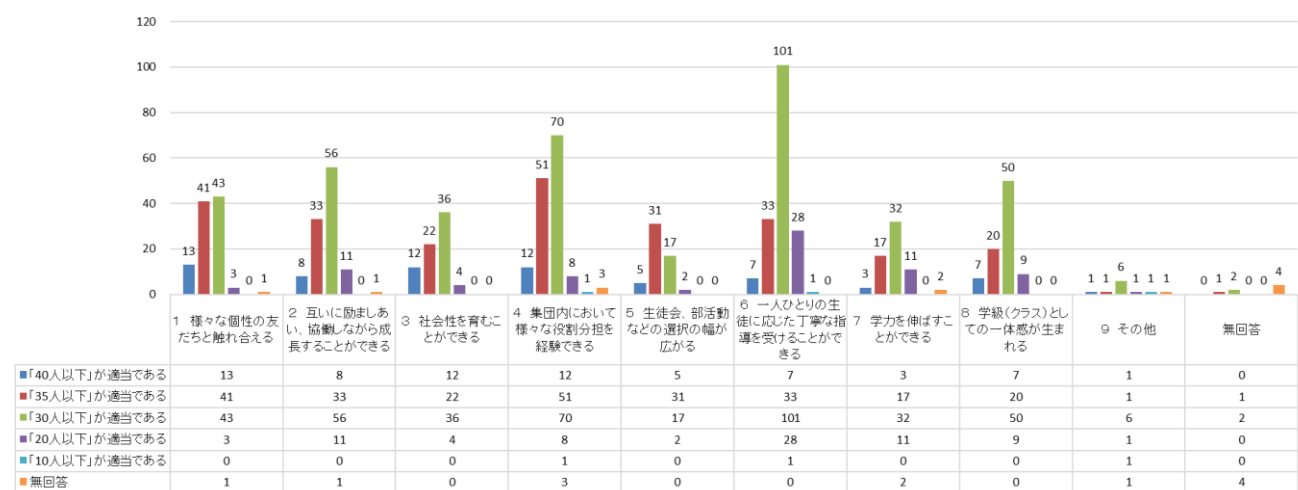
	回答	構成比
1 様々な個性の友だちと触れ合える	101	12.3%
2 互いに励ましあい、協働しながら成長することができる	109	13.2%
3 社会性を育むことができる	74	9.0%
4 集団内において様々な役割分担を経験できる	145	17.6%
5 生徒会、部活動などの選択の幅が広がる	55	6.7%
6 一人ひとりの生徒に応じた丁寧な指導を受けることができる	170	20.7%
7 学力を伸ばすことができる	65	7.9%
8 学級(クラス)としての一体感が生まれる	86	10.4%
9 その他	11	1.3%
無回答	7	0.9%
計	823	100.0%

【9 その他(自由記載)】

1	ある程度の競争心を持つようにする。
2	先生が生徒さんを把握できる限界数ではないか。
3	教員の負担を軽減できる。
4	30人学級は40年くらい前からの理想とされているから。
5	ある程度人数がいた方が、人間関係の中で関われる子が増える。
6	40人は多い。
7	教室の大きさを考えると、適当だと思う。
8	1クラスの人数によっては丁寧な指導ができ、多感な時学力を伸ばし、将来のことも色々話せる。
9	個人を認めてもらう機会が増えると考えから
10	小学校と同様(私は教員をしております。その視点からの意見になりますが、1学級の生徒が増えれば、担任が1人1人の生徒と関わる時間が減るということです。関わる時間が減ることに利点は何1つありません)
11	いじめられづらくなりそう。



問2-7と問2-8のクロス集計

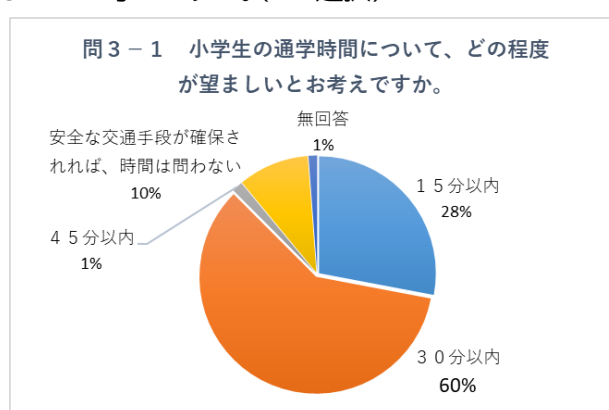


【考察】 問 2-8

- ①「30人以下が適当」と回答した人の理由では、「6 一人ひとりの生徒に応じた丁寧な指導を受けることができる」(101)がもっとも多く、2番目に「4 集団内において様々な役割分担を経験できる」(70)、3番目に「2 互いに励ましあい、協働しながら成長することができる」(56)となっている。
- ②「45人以下が適当」や「35人以下が適当」、「30人以下が適当」と回答した人の理由では、「1 様々な個性の友だちと触れ合える」との回答も多い。一方で、「20人以下が適当」と「10人以下が適当」と回答した人は、「1 様々な個性の友だちと触れ合える」の回答割合が少ない。

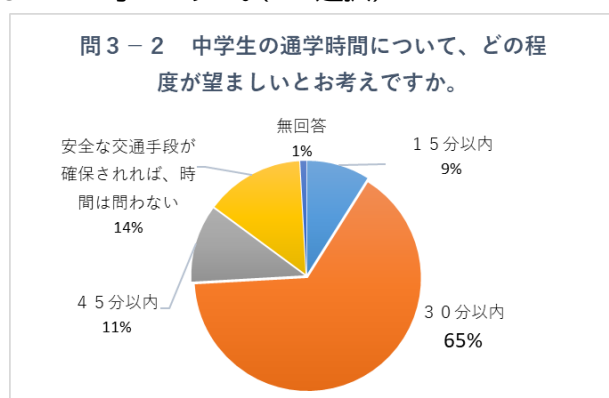
問3-1 小学生の通学時間について、どの程度が望ましいとお考えですか。(1つ選択)

	回答	構成比
15分以内	94	28.0%
30分以内	200	59.5%
45分以内	5	1.5%
安全な交通手段が確保されれば、時間は問わない	33	9.8%
無回答	4	1.2%
計	336	100.0%



問3-2 中学生の通学時間について、どの程度が望ましいとお考えですか。(1つ選択)

	回答	構成比
15分以内	30	8.9%
30分以内	219	65.2%
45分以内	37	11.0%
安全な交通手段が確保されれば、時間は問わない	47	14.0%
無回答	3	0.9%
計	336	100.0%



【考察】問 3-1、3-2

①小学校でも中学校でも「30 分以内」の回答が 6 割を超えもっとも多い。

②2番目は小学校では「15 分以内」(28%)、中学校では「安全な交通手段が確保されれば、時間は問わない」(14%)となっている。

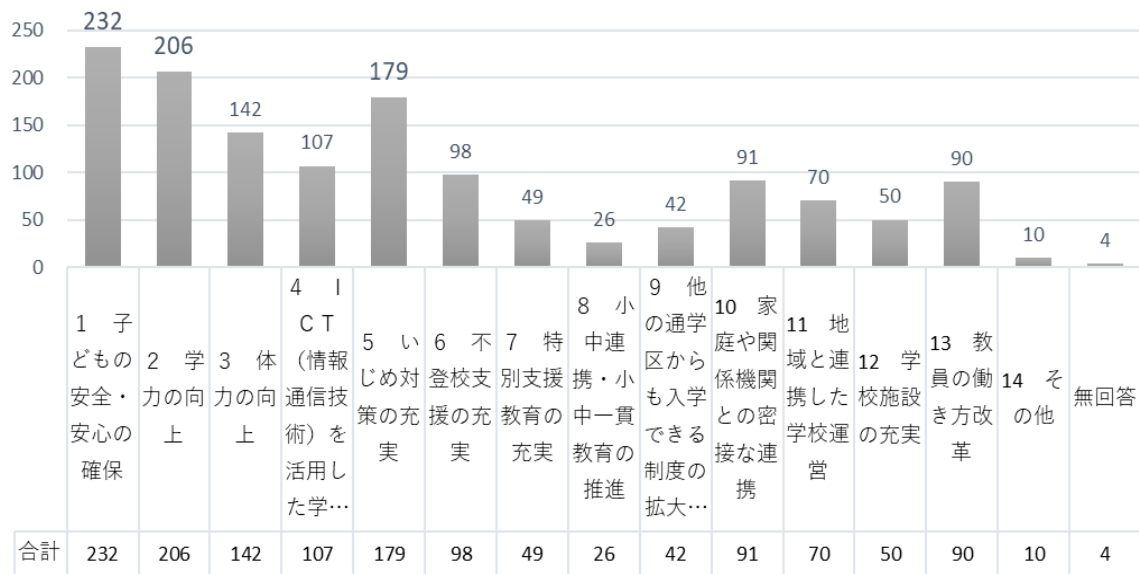
問4-1 学校で取り組む課題として、次のどれが特に優先度が高いとお考えですか。(最大5つ選択)

	回答	構成比
1 子どもの安全・安心の確保	232	16.6%
2 学力の向上	206	14.8%
3 体力の向上	142	10.2%
4 ICT(情報通信技術)を活用した学習の推進	107	7.7%
5 いじめ対策の充実	179	12.8%
6 不登校支援の充実	98	7.0%
7 特別支援教育の充実	49	3.5%
8 小中連携・小中一貫教育の推進	26	1.9%
9 他の通学区からも入学できる制度の拡大(特認校制度)	42	3.0%
10 家庭や関係機関との密接な連携	91	6.5%
11 地域と連携した学校運営	70	5.0%
12 学校施設の充実	50	3.6%
13 教員の働き方改革	90	6.4%
14 その他	10	0.7%
無回答	4	0.3%
計	1396	100.0%

【14 その他(自由記載)】

1	インターネット関連(SNS 等)
2	教員数の増加
3	英語教育
4	教師主導ではなく、子どもたちと共に考える姿勢(学校づくり、校則など)
5	国の歴史や組織、皇統についての教育
6	生きる力を育む。自分で考えて判断して選択して、その結果に責任を持つ力を養うことが必要
7	教員の働き方改革が、何よりも優先すべきことだと思います。
8	学校という居場所が、安心できる環境でない子どもに対する学びの手段、教育機会の確保と充実
9	教員のレベルアップ
10	個の尊重へのサポート

問４－１ 学校で取り組む課題として、次のどれが特に優先度が高いとお考えですか。



【考察】問４-1

①「1 子どもの安全・安心の確保」(232)がもっとも多く、2 番目が「2 学力の向上」(206)、3 番目が「5 いじめ対策の充実」(179)となっている。

問４－２ 須坂市の子どもたちに育みたい能力として、次のどれが特に重要だとお考えですか。（最大3つ選択）

	回答	構成比
1 基本的な知識や技能	126	13.2%
2 学びを人生や社会に活かそうとする力	104	10.9%
3 自分の思いや考えを主張できる表現力	148	15.5%
4 他者を思いやることができる心	192	20.1%
5 物事の善悪を判断できる力	149	15.6%
6 困難に負けず、たくましく生き抜いていく力	90	9.4%
7 社会性や協調性	104	10.9%
8 国際社会で活躍できる能力	34	3.6%
9 その他	4	0.4%
無回答	4	0.4%
計	955	100.0%

【9 その他(自由記載)】

1	想定外に直面できる力の育成
2	様々な立場から、批判的に物事を考える力
3	人と比較せずに自己を肯定できる力
4	目標を持って行動する能力

問4-2 須坂市の子どもたちに育みたい能力として、次の
どれが特に重要だとお考えですか。



【考察】問4-2

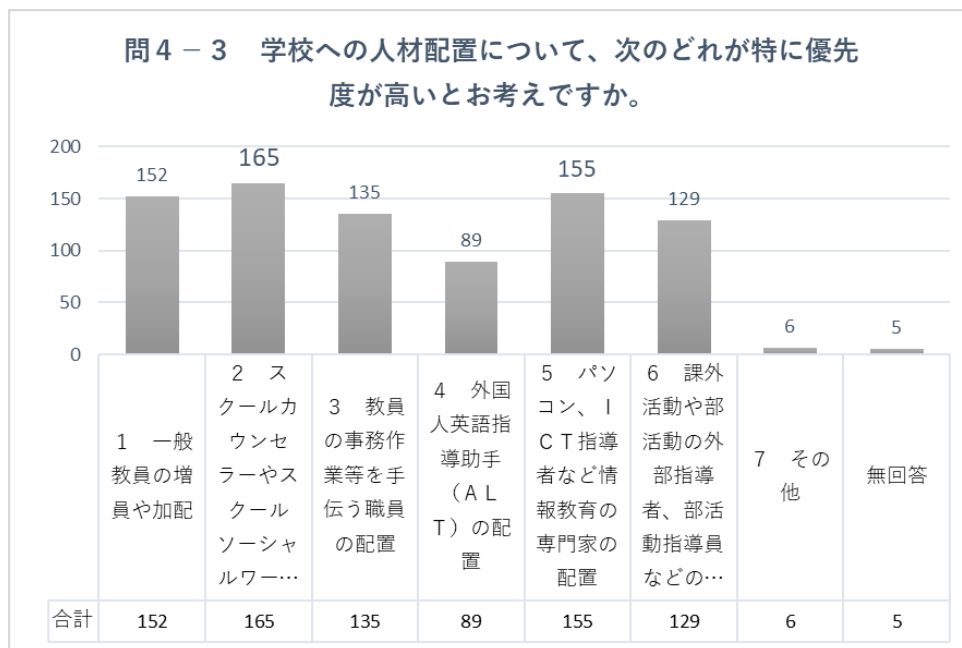
①「4 他者を思いやることができる心」(192)がもっとも多く、2 番目が「5 物事の善悪を判断できる力」(149)、3 番目が「3 自分の思いや考えを主張できる表現力」(148)となっている。

問4-3 学校への人材配置について、次のどれが特に優先度が高いとお考えですか。(最大3つ選択)

	回答	構成比
1 一般教員の増員や加配	152	18.2%
2 スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの配置	165	19.7%
3 教員の事務作業等を手伝う職員の配置	135	16.2%
4 外国人英語指導助手(ALT)の配置	89	10.7%
5 パソコン、ICT指導者など情報教育の専門家の配置	155	18.5%
6 課外活動や部活動の外部指導者、部活動指導員などの配置	129	15.4%
7 その他	6	0.7%
無回答	5	0.6%
計	836	100.0%

【7 その他(自由記載)】

1	時代に合った将来必要となる、専門教育が大切
2	部活動は学校運営として、外部がサポートする運営
3	音楽、理科、ICT、体育の専門指導者
4	特別支援の専門的コーディネーター
5	PTA 業務委託
6	「1」以外、今の時代必要だと思います。

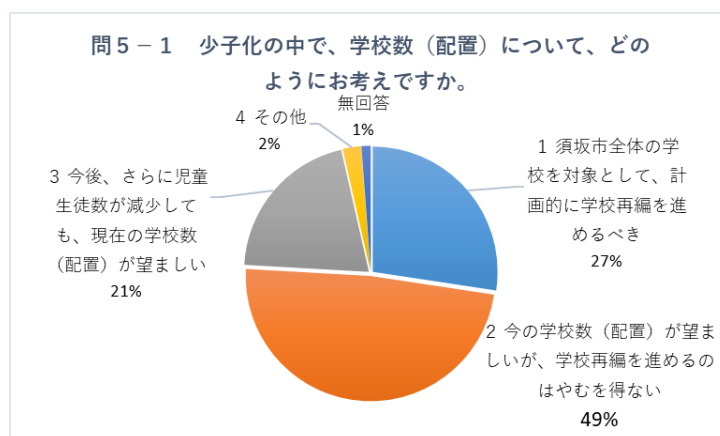


【考察】問4-3

「2 スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの配置」(165)がもっとも多いが、他の回答も同じくらい回答数があり、人材配置については、どれも優先度が高いと感じている人が多い。

問5-1 少子化の中で、学校数(配置)について、どのようにお考えですか。(1つ選択)

	回答	構成比
1 須坂市全体の学校を対象として、計画的に学校再編を進めるべき	92	27.4%
2 今の学校数(配置)が望ましいが、学校再編を進めるのはやむを得ない	163	48.5%
3 今後、さらに児童生徒数が減少しても、現在の学校数(配置)が望ましい	69	20.5%
4 その他	8	2.4%
無回答	4	1.2%
計	336	100.0%



【4 その他(自由記載)】

1	須坂市全体を3～4分割し、小中一貫校を！スクールバスを利用し通学できる学校配置を。
2	通学路離や時間の関係があるので、一概には言えないが、20人学級が理想。
3	③に似ているが、③をやるために教育財源は政府に確保してもらい、学校の維持が望ましい。
4	一学年の人数が数人以下になってしまえば、学校再編もやむを得ないかと思います。

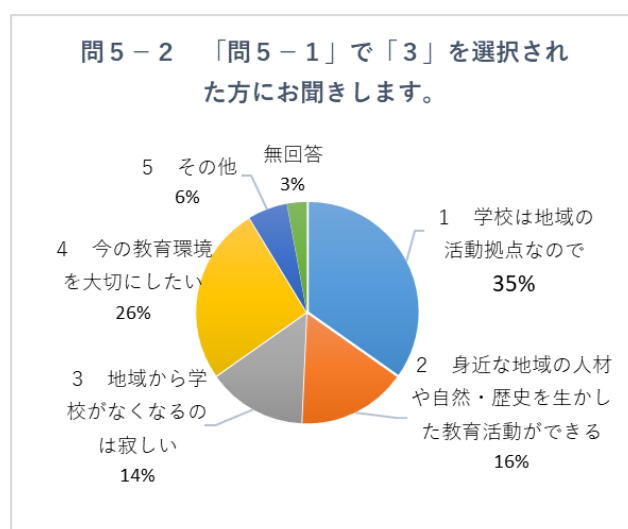
5	児童数はしばらく増加の方向に向かい、なおかつ高収入世帯の児童が増えると思うため、一時的には計画を中断してもいいと思う。
6	児童数のバランスを見て再編 但し、通学における利便性を確保すること。1 学級 25 人以下で 3 学級以上の学年編成を希望。
7	子供の人数が減少する中、学校再編は考え準備していかななくてはいけないと思いますが、豊丘小・東中と地域的に離れている子供、家庭はどうなのか？通学方法、通学時間も同じに考えなくてはいけないと思います。やむを得ず通学用に使用の場合は、市営バスを使用してもよいと思います。地域の方とふれ合い、運転手を別に雇わなくても良いので。
8	現状維持にしろ再編にしろ、教育の根幹が一貫していればどちらでも良いと考えます。行政上の都合、地域の誇り等、様々な角度からの考えはあると思いますが、その恩恵を受ける対象が子ども達であってほしいです。

【考察】 問 5-1

- ①「2 今の学校数(配置)が望ましいが、学校再編を進めるのはやむを得ない」(49%)がもっとも多く、2 番目の「1 須坂市全体の学校を対象として、計画的に学校再編を進めるべき」(27%)と合わせると、学校再編に肯定的な回答が 7 割を超える。
- ②一方で、「3 今後、さらに児童生徒数が減少しても、現在の学校数(配置)が望ましい」との回答も 21%ある。

問5-2 「問5-1」で「③」を選択された方にお聞きします。お答えいただいた理由として、次のどれが一番強いとお考えですか。(1つ選択)

	回答	構成比
1 学校は地域の活動拠点なので	24	34.8%
2 身近な地域の人材や自然・歴史を生かした教育活動ができる	11	15.9%
3 地域から学校がなくなるのは寂しい	10	14.5%
4 今の教育環境を大切にしたい	18	26.1%
5 その他	4	5.8%
無回答	2	2.9%
計	69	100.0%



【5 その他(自由記載)】

1	教育の主体は生徒であり、生徒が教育を受けるに最適な環境が大切。地域とか個人の寂しいなど論外である。
2	学校の数が減り、通学時間が長くなる児童が増えると、安全面においても良くないと思う。より子どもの数が減ると思う。
3	通学路が遠くなってしまいそうなので。

4	通うのが大変になる家庭が出ると思うから。
---	----------------------

【考察】問 5-2

- ①「今後、さらに児童生徒数が減少しても、現在の学校数(配置)が望ましい」と回答した理由は、「学校は地域の活動拠点なので」(35%)と最も多く、2 番目が「今の教育環境を大切にしたい」(26%)となっている。
- ②その他意見では、学校再編により学校が遠くなり、通学時間が長くなることを心配する意見が複数あった。

須坂市小中学校の適正規模等に関する保護者アンケート結果

1 調査の目的

須坂市では、急激に少子化社会が進み、今後、児童生徒数はますます減少していくことが予想される。将来を展望した小中学校の適正規模や適正配置について、総合的に検討するための基礎資料とする。

2 調査方法

- (1)調査対象 市内の小中支援学校に通う児童生徒の全保護者 3,079 世帯
 (2)調査方法 学校を通じて配布。回答はインターネット
 (3)調査期間 2022 年 10 月 14 日～11 月 21 日
 (選択肢に誤りがあり、問 2-3 と問 2-4 は12月16日～1月6日に再調査)

3 回収率 45.7%(回収数 1,408/配布数 3,079)

4 調査項目

【設問一覧】

問1-1	あなたの町(自治会)を教えてください
問1-2	あなたの年齢を教えてください
問1-3	お子さんが通っている小学校または中学校を教えてください。
問2-1	小学校の1学年あたりの学級数について、どのようにお考えですか
問2-2	「問2-1」でお答えいただいた主な理由について、お聞かせください
問2-3	中学校の1学年あたりの学級数について、どのようにお考えですか
問2-4	「問2-3」でお答えいただいた主な理由について、お聞かせください
問2-5	小学校の 1 学級あたりの児童数について、どのようにお考えですか
問2-6	「問2-5」でお答えいただいた主な理由について、お聞かせください
問2-7	中学校の 1 学級あたりの生徒数について、どのようにお考えですか
問2-8	「問2-7」でお答えいただいた主な理由について、お聞かせください
問3-1	小学生の通学時間について、どの程度が望ましいとお考えですか
問3-2	中学生の通学時間について、どの程度が望ましいとお考えですか
問4-1	学校で取り組む課題として、次のどれが特に優先度が高いとお考えですか
問4-2	須坂市の子どもたちに育みたい能力として、次のどれが特に重要だとお考えですか
問4-3	学校への人材配置について、次のどれが特に優先度が高いとお考えですか
問5-1	少子化の中で、学校数(配置)について、どのようにお考えですか
問5-2	「問5-1」で「③」を選択された方にお聞きします。お答えいただいた理由として、次のどれが一番強いとお考えですか

5 保護者アンケート結果の概要

(1) 回答者の属性 【問 1-2】

- ①回答者の年齢は、40代(62%)がもっとも多く、2番目に30代(25%)、3番目が50代(12%)となっている。

(2) 1学年あたりの学級数について

・小学校1学年の学級数 【問 2-1】【問 2-2】

- ①小学校の標準規模の「2～3学級がよい」(80%)がもっとも多い。2番目が「1学級がよい」(9%)、3番目が「4学級以上がよい」(5%)となっている。
- ②学校別にみると、今年度全ての学年で1学級の小学校(豊洲小、高甫小、豊丘小)では「1学級がよい」が30%を超えている。中学校では、東中で「1学級がよい」(21%)が他の中学校に比べて、割合が高い。
- ③小学校の学級数を「2～3学級がよい」と回答した人の理由では、「5 クラス替えが可能で、人間関係が広がる」(608)がもっとも多く、2番目に「2 様々な個性の友だちと触れ合える」(541)、3番目に「10 一人ひとりの児童に応じた丁寧な指導を受けることができる」(294)となっている。

・中学校1学年の学級数 【問 2-3】【問 2-4】

- ④中学校の標準規模の「4～6学級がよい」(62%)との回答がもっとも多く、2番目が「3学級以下がよい」(32%)となっている。
- ⑤学校別にみると、豊洲小、仁礼小、豊丘小、相森中、東中、須坂支援学校では、「3学級以下がよい」が5割を超えもっとも多くなっている。
- ⑥「4～6学級がよい」と回答した人の理由では、「2 様々な個性の友だちと触れ合える」(296)がもっとも多く、2番目に「5 クラス替えが可能で、人間関係が広がる」(270)、3番目が「10 一人ひとりの児童に応じた丁寧な指導を受けることができる」(139)となっている。

(3) 1学級あたりの人数について

・小学校1学級の人数 【問 2-5】【問 2-6】

- ①「30人以下が適当」(66%)との回答がもっとも多く、2番目が「20人以下が適当」(19%)、3番目が「35人以下が適当」(12%)となっている。
- ②豊丘小の保護者は「20人以下が適当」(54%)が他の学校に比べて高い。
- ③「30人以下が適当」と回答した人の理由では「6 一人ひとりの児童に応じた丁寧な指導を受けることができる」(631)がもっとも多く、2番目に「4 集団内において様々な役割分担を経験できる」(359)、3番目に「8 学級としての一体感が生まれる」(322)となっている。

・中学校1学級の人数 【問 2-7】【問 2-8】

- ④「30人以下が適当」(57%)との回答がもっとも多く、2番目が「35人以下が適当」(29%)、3番目が「20人以下が適当」(9%)となっている。
- ⑤豊丘小の保護者は「20人以下が適当」(29%)が他の学校に比べて高い。
- ⑥「30人以下が適当」と回答した人の理由では、「6 一人ひとりの児童に応じた丁寧な指導を受けることができる」(496)がもっとも多く、2番目に「4 集団内において様々な役割分担を経験できる」(282)、3番目に「8 クラスとしての一体感が生まれる」(225)となっている。

(4) 通学時間について 【問 3-1】【問 3-2】

①小学校では「15 分以内」と「30 分以内」が同じ割合で多い。中学校では「30 分以内」が 6 割を超え、もっとも多い。

(5) 学校で取り組む課題について 【問 4-1】

①「1 子どもの安全・安心の確保」(1,039)がもっとも多く、2 番目が「2 学力の向上」(961)、3 番目が「5 いじめ対策の充実」(815)となっている。

(6) 子どもたちに育みたい能力について 【問 4-2】

①「4 他者を思いやることができる心」(818)がもっとも多く、2 番目が「3 自分の思いや考えを主張できる表現力」(744)、3 番目が「2 学びを人生や社会に活かそうとする力」(521)となっている。

(7) 学校への人材配置について 【問 4-3】

①「1 一般教員の増員や加配」(787)がもっとも多いが、他の回答も同じくらい回答数があり、人材配置については、どれも優先度が高いと感じている人が多い。

(8) 少子化における学校数(配置)について 【問 5-1】【問 5-2】

①「2 今の学校数(配置)が望ましいが、学校再編を進めるのはやむを得ない」(54.3%)がもっとも多く、2 番目の「1 須崎市全体の学校を対象として、計画的に学校再編を進めるべき」(25.4%)と合わせると、学校再編に肯定的な回答が約 8 割を占める。

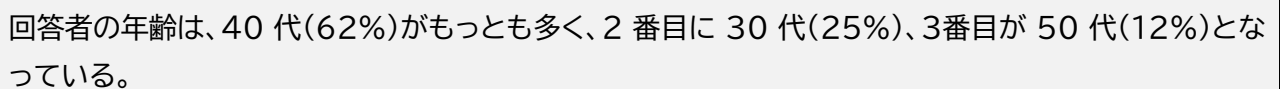
②一方で「3 今後、さらに児童生徒数が減少しても、現在の学校数(配置)が望ましい」との回答も 19%ある。その理由は「学校は地域の活動拠点なので」(30%)と最も多く、2 番目が「今の教育環境を大切にしたい」(26%)となっている。その他意見では、学校再編により学校が遠くなり、通学時間が長くなることを心配する意見が多くあった。

問1—1 あなたの町(自治会)を教えてください。

問1-1 あなたの町(自治会)を教えてください

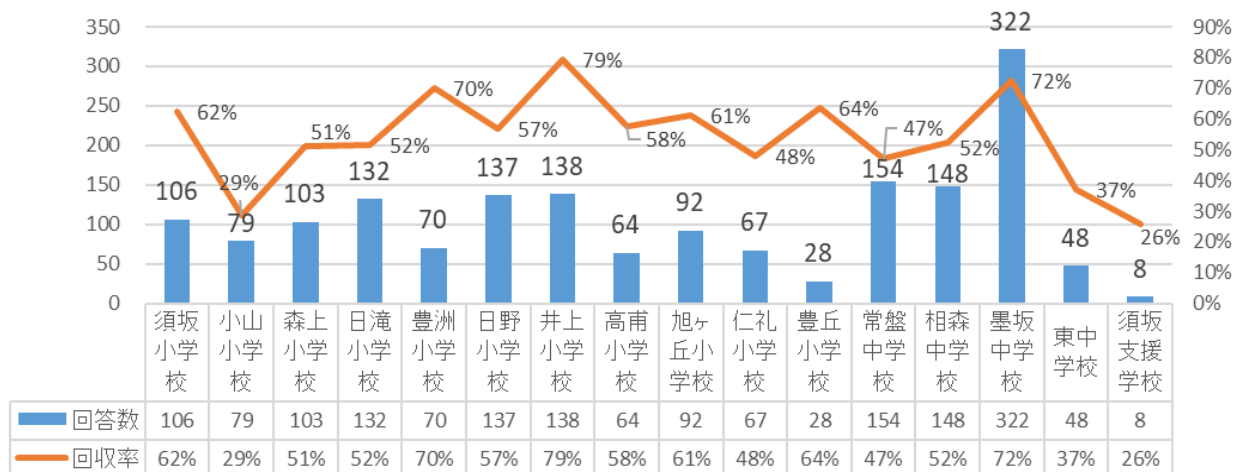
町(自治会)	数
殺上町	11
本上町	11
本中町	13
中町	8
春木町	1
太子町	24
新町	21
常盤町	19
横町	5
東横町	16
南横町	5
北横町	4
立町	11
馬場町	16
西坂	5
須坂ハイランド町	3
坂田町	15
南原町	39
北原町	7
小原町	31
屋敷町	48
小幡町	56
境町	55
相模町	30
高森町	69
大谷町	54
本郷町	12
高畑町	3
南小町	16
小河原町	15
新町	10
小島町	13
相模島町	12
北相模島町	21
豊島町	10
旭ヶ丘町	57
松川町	27
光ヶ丘三丁タウン	6
八重森町	11
沼川町	13
塩川町	4
塩川町	90
高栗町	65
五里町	4
村山町	15
井上町	10
田上町	41
福島町	11
中反町	16
九反町	12
幸持町	24
米持町	83
二味町	2
上八八町	18
下八八町	11
野村町	11
石井町	28
明徳台	7
望岳町	15
仁礼町	34
亀倉町	27
夏米町	11
米子町	8
米野町	6
峰の高原	0
大日原町	6
豊丘上町	28
豊丘下町	2
その他	8

	回答	構成比(%)
10代	6	0.4
20代	8	0.6
30代	355	25.2
40代	869	61.7
50代	163	11.6
60代以上	7	0.5
計	1,408	100.0



学校名	回答	構成比(%)	学校名	回答	構成比(%)
須坂小学校	106	6.2	常盤中学校	154	9.1
小山小学校	79	4.7	相森中学校	148	8.7
森上小学校	103	6.1	墨坂中学校	322	19.0
日滝小学校	132	7.8	東中学校	48	2.8
豊洲小学校	70	4.1	須坂支援学校	8	0.5
日野小学校	137	8.1	計	1,696	100.0
井上小学校	138	8.1			
高甫小学校	64	3.8			
旭ヶ丘小学校	92	5.4			
仁礼小学校	67	3.9			
豊丘小学校	28	1.7			

問1-3 お子さんが通っている小学校または中学校

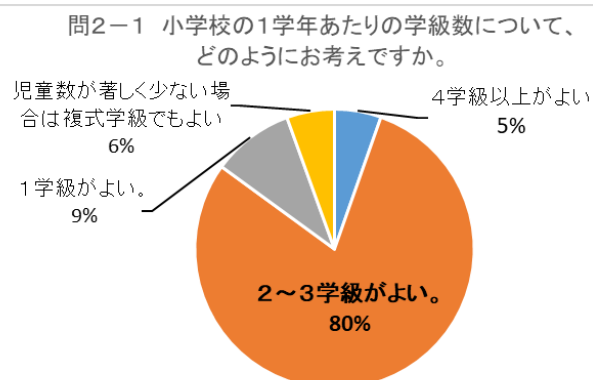


【考察】問1-3

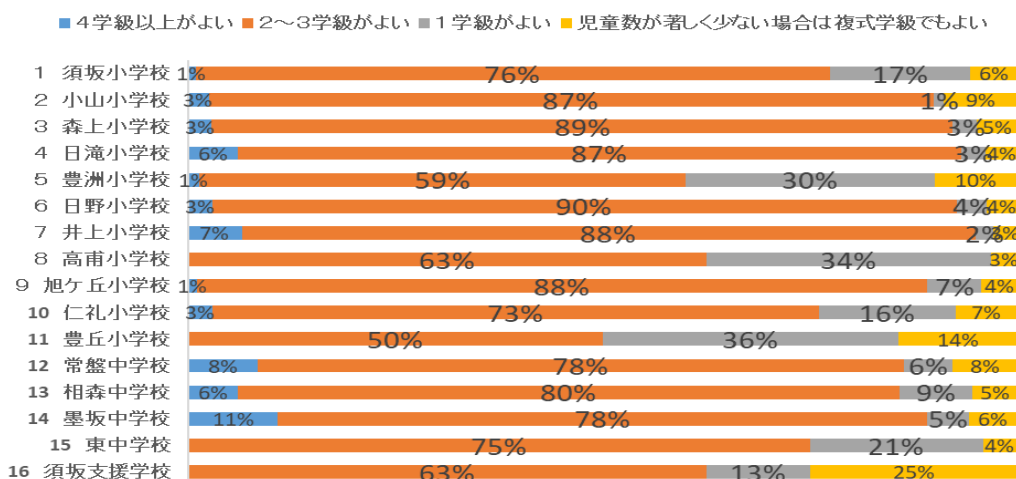
全ての学校の平均回収率 54%。もっとも多い学校は 79%、もっとも少ない学校は 26%。

問2-1 小学校の1学年あたりの学級数について、どのようにお考えですか。(1つ選択)

	回答	構成比(%)
4学級以上がよい	76	5.4
2～3学級がよい	1,121	79.6
1学級がよい	133	9.5
児童数が著しく少ない場合は複式学級でもよい	78	5.5
計	1,408	100.0%



問1-3 と問2-1のクロス集計(学校名と小学校の学級数)



【考察】問2-1

- ①小学校の標準規模の「2～3学級がよい」(80%)がもっとも多い。2番目が「1学級がよい」(9%)、3番目が「4学級以上がよい」(5%)となっている。
- ②学校別にみると、今年度全ての学年で1学級の小学校(豊洲小、高甫小、豊丘小)では「1学級がよい」が30%を超えている。中学校では、東中で「1学級がよい」(21%)が他の中学校に比べて、割合が高い。

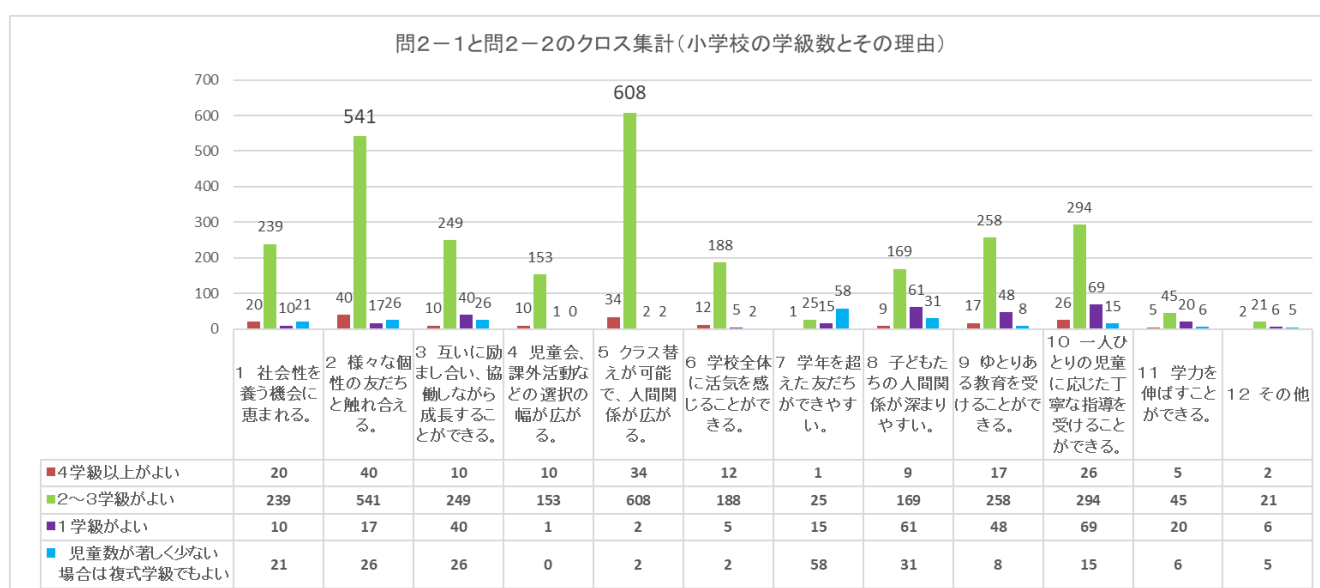
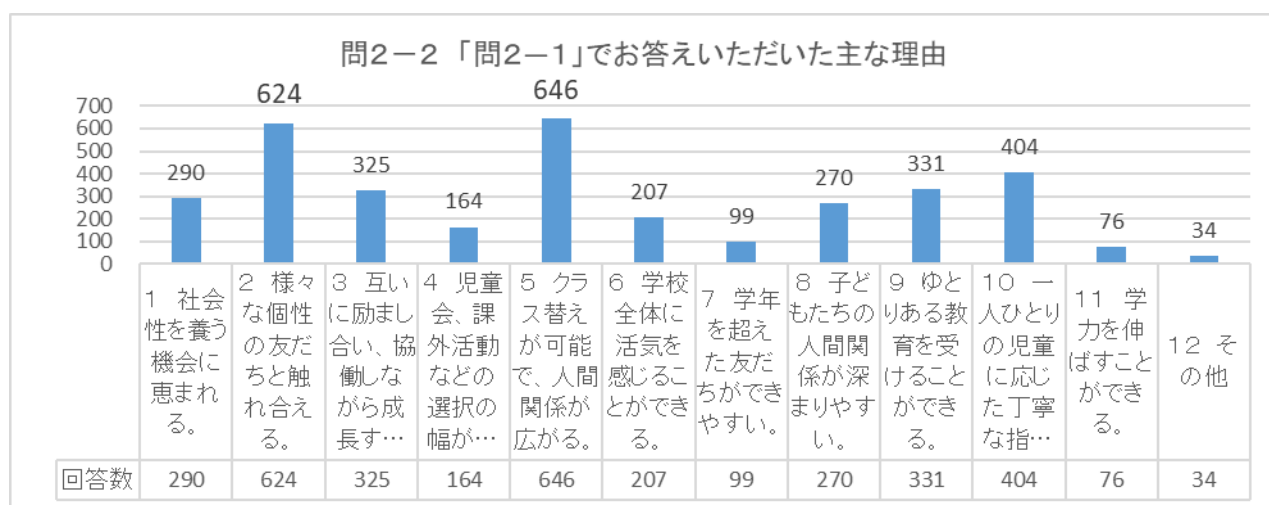
問2-2 「問2-1」でお答えいただいた主な理由について、お聞かせください。(最大3つ選択)

	回答	構成比(%)
1 社会性を養う機会に恵まれる	290	8.4
2 様々な個性の友だちと触れ合える	624	18.0
3 互いに励まし合い、協働しながら成長することができる	325	9.4
4 児童会、課外活動などの選択の幅が広がる	164	4.7
5 クラス替えが可能で、人間関係が広がる	646	18.6
6 学校全体に活気を感じることができる	207	6.0
7 学年を超えた友だちがしやすい	99	2.8
8 子どもたちの人間関係が深まりやすい	270	7.8
9 ゆとりある教育を受けることができる	331	9.5
10 一人ひとりの児童に応じた丁寧な指導を受けることができる	404	11.6
11 学力を伸ばすことができる	76	2.2
12 その他	34	1.0
計	3,470	100.0

【12 その他の主な意見】

問 2-1 で「4学級以上がよい」と回答	
1	運動会が学年じゃなくてクラス対抗が出来る
問 2-1 で「2～3学級がよい」と回答	
1	先生方の負担を減らしてほしい
2	クラス替えの時にクラスが多いと、苦手な子と皆んなバラバラに出来るため
3	1クラス 20 人くらいのほうが担任も目が届きやすいのでは
4	いじめの対象になりにくい
5	子ども同士の人間関係のトラブル対応できる
6	通学距離が短い方が安心
7	教員の負担軽減
8	1学年1クラス 6 年間だと、片寄った友人関係しか作ることができず、逃げ場もなくなり、苦痛に過ごすことが多かった。もっと広い世界をみせたかった。内向的になってしまったことはとても残念でならない。
問 2-1 で「1 学級がよい」と回答	
1	平和で喧嘩がない
2	小学校の規模は大小あってよい。大事なのは、通学にかかる時間が短いこと。一クラスあたりの児童数が少人数であること。児童個々への丁寧な指導を希望します。
3	クラス替えがないので、同学年全員と友達になりやすい

問 2-1 で「複式学級でもよい」と回答	
1	周りとは比べず個々で考えたりすることが出来る気がする。
2	徒歩通学が可能な距離が良い
3	社会人になってからは様々な年齢の人と関わるため

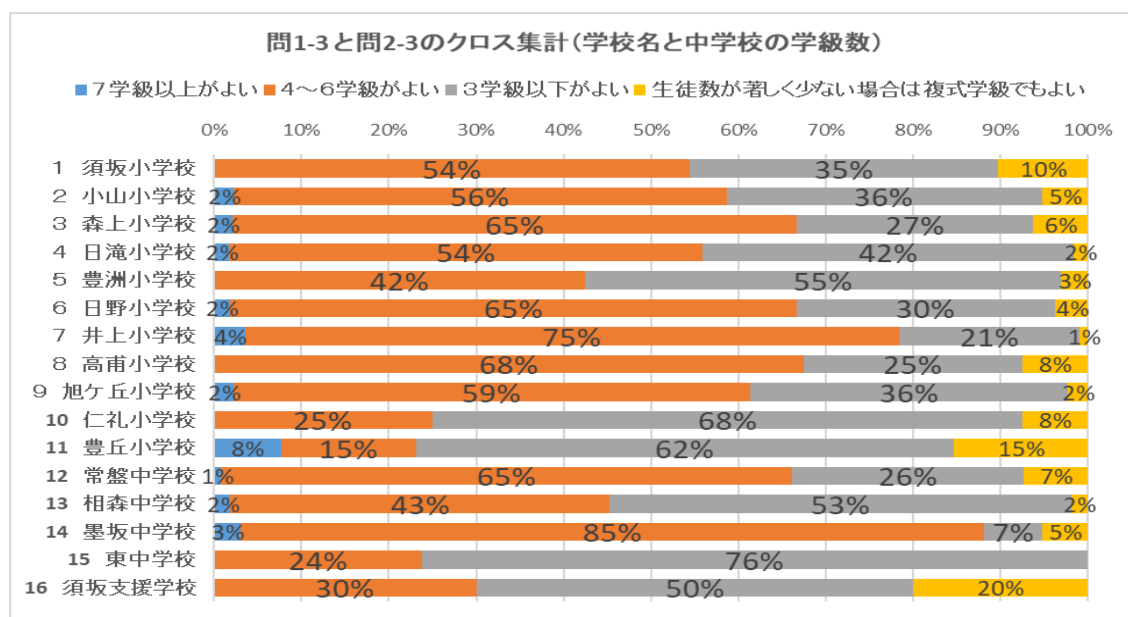
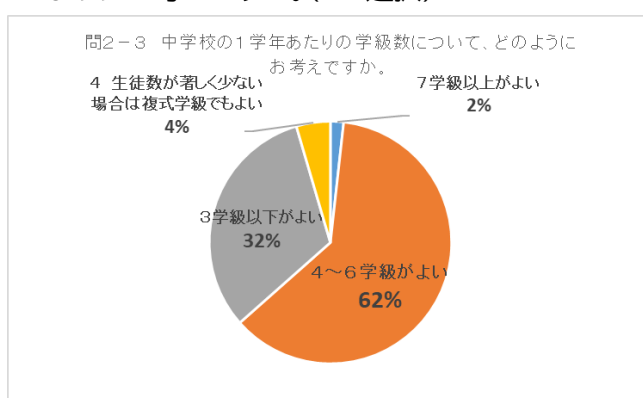


【考察】問2-2

- ①「2～3学級がよい」と回答した人の理由では、「5 クラス替えが可能で、人間関係が広がる」(608)がもっとも多く、2番目に「2 様々な個性の友だちと触れ合える」(541)、3番目に「10 一人ひとりの児童に応じた丁寧な指導を受けることができる」(294)となっている。

問2-3 中学校の1学年あたりの学級数について、どのようにお考えですか。(1つ選択)

	回答	構成比(%)
7学級以上がよい	17	1.8
4～6学級がよい	598	61.7
3学級以下がよい	310	32.0
生徒数が著しく少ない場合は複式学級でもよい	44	4.5
計	969	100.0



【考察】問2-3

- ①中学校の標準規模の「4～6学級がよい」(62%)との回答がもっとも多く、2番目が「3学級以下がよい」(32%)となっている。
- ②学校別にみると、豊洲小、仁礼小、豊丘小、相森中、東中、須坂支援学校では、「3学級以下がよい」が5割を超えもっとも多くなっている。

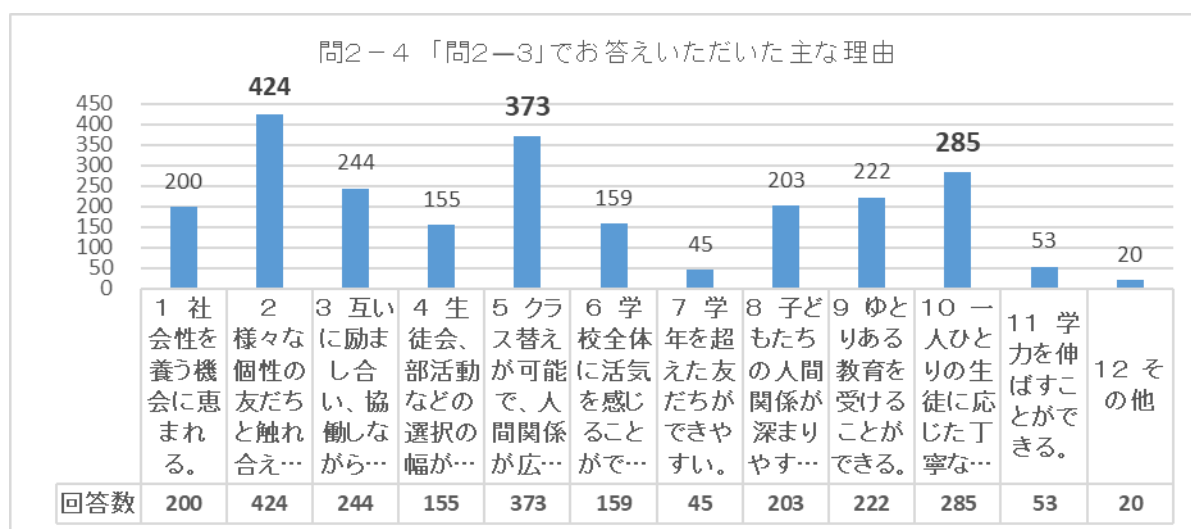
問2-4 「問2-3」でお答えいただいた主な理由について、お聞かせください。(最大3つ選択)

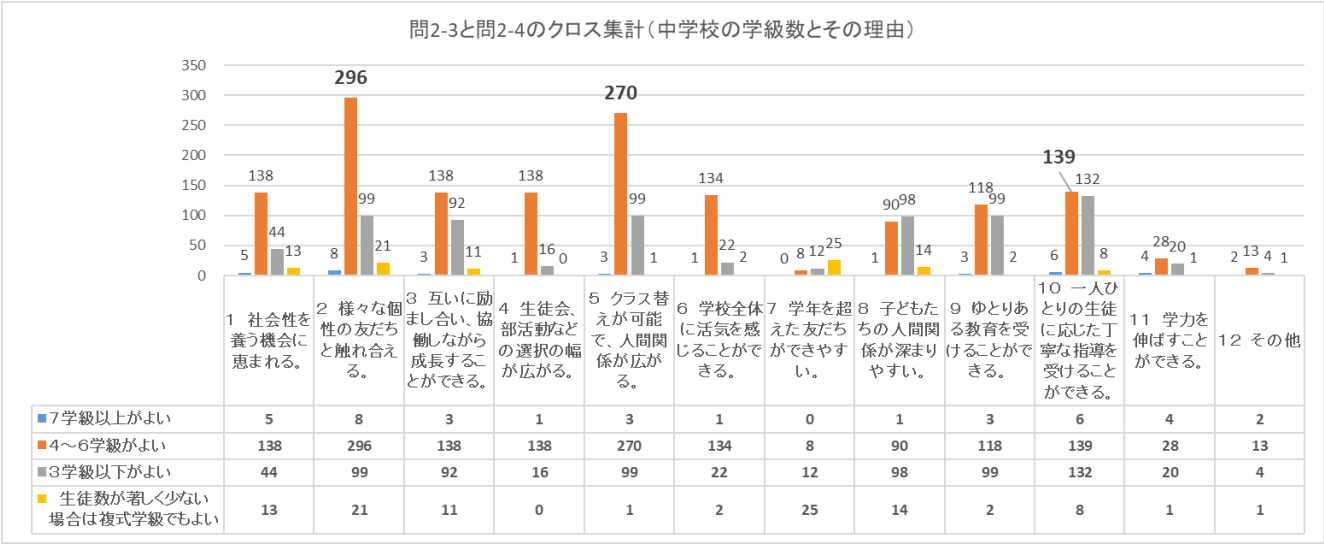
	回答	構成比(%)
1 社会性を養う機会に恵まれる	200	8.4
2 様々な個性の友だちと触れ合える	424	17.8
3 互いに励まし合い、協働しながら成長することができる	244	10.2
4 生徒会、部活動などの選択の幅が広がる	155	6.5
5 クラス替えが可能で、人間関係が広がる	373	15.7
6 学校全体に活気を感じることができる	159	6.7
7 学年を超えた友だちがしやすい	45	1.9
8 子どもたちの人間関係が深まりやすい	203	8.5

9 ゆとりある教育を受けることができる	222	9.3
10 一人ひとりの児童に応じた丁寧な指導を受けることができる	285	12.0
11 学力を伸ばすことができる	53	2.2
12 その他	20	0.8
計	2,383	100.0

【12 その他の主な意見】

問 2-3 で「7学級以上がよい」と回答	
1	学区内のこどもが、皆平等で公平な教育の機会を享受することが出来る。
問 2-3 で「4～6学級がよい」と回答	
1	要望になってしまいますが、クラスの人数は減らすか担当教員を増やすなど教員の負担を減らしつつ、生徒に応じた指導が受けれたら良いなと思います。枠に収まりきれない子もその枠に近づけるように。
2	いじめがあったりすると、クラス替えがあってもクラス数が少ないと、また同じクラスになってしまう事があるので出来れば多い方がいい。
3	将来的に統廃合が必要になる場合も、クラスの人数を最大にせず、一人ひとりに丁寧に対応できるようにしてほしい。30人は多すぎて勉強のスピードが異なるし目が届ききらないと感じる。
4	先生と生徒が豊かな人間性を持って想いやれる心を育む学校生活ができるようにしていただきたい。
問 2-3 で「3学級以下がよい」と回答	
1	自分の時代3学級だったから。
問 2-3 で「複式学級でもよい」と回答	
1	仕方ないと思うから



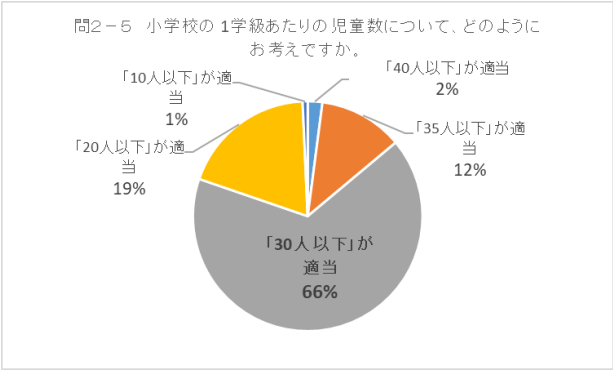


【考察】問 2-4

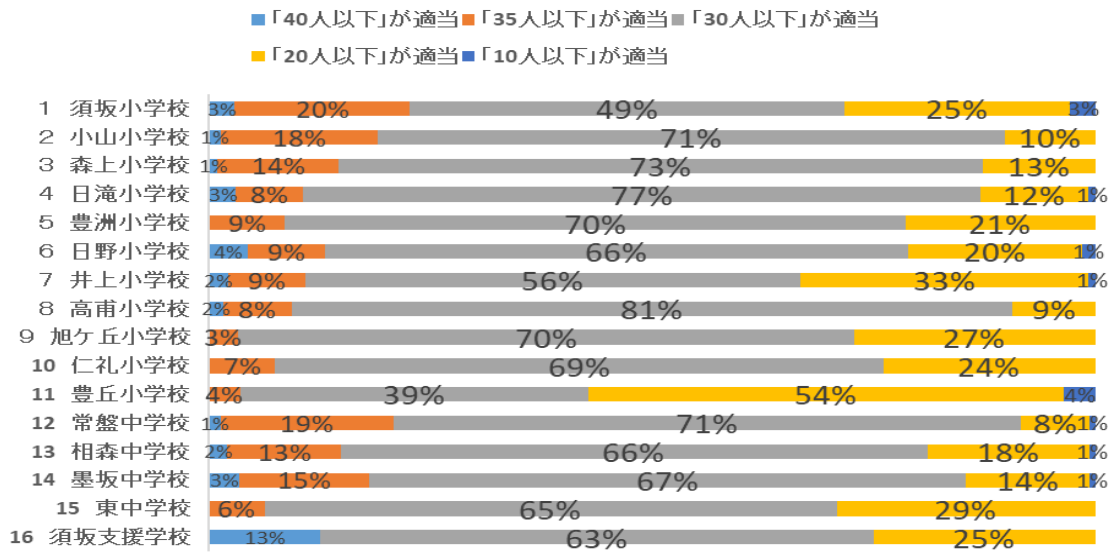
①「4～6学級がよい」と回答した人の理由では、「2 様々な個性の友だちと触れ合える」(296)がもっとも多く、2番目に「5 クラス替えが可能で、人間関係が広がる」(270)、3番目が「10 一人ひとりの児童に応じた丁寧な指導を受けることができる」(139)となっている。

問2-5 小学校の 1 学級あたりの児童数について、どのようにお考えですか。(1つ選択)

	回答	構成比(%)
「40 人以下」が適当である	29	2.1
「35 人以下」が適当である	167	11.9
「30 人以下」が適当である	934	66.3
「20 人以下」が適当である	268	19.0
「10 人以下」が適当である	10	0.7
計	1,408	100.0



問1-3と問2-5のクロス集計(学校名と小学校の1学級の人数)



【考察】問 2-5

- ①「30人以下が適当」(66%)との回答がもっとも多く、2番目が「20人以下が適当」(19%)、3番目が「35人以下が適当」(12%)となっている。
- ②豊丘小の保護者は「20人以下が適当」(54%)が他の学校に比べて高い。

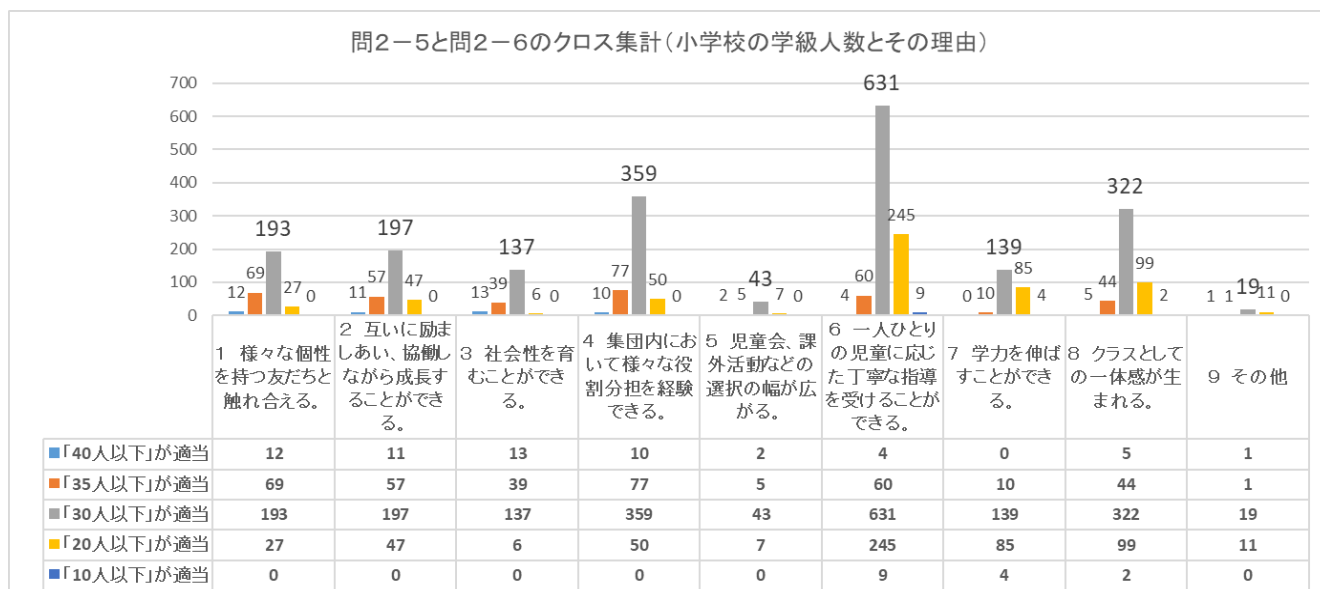
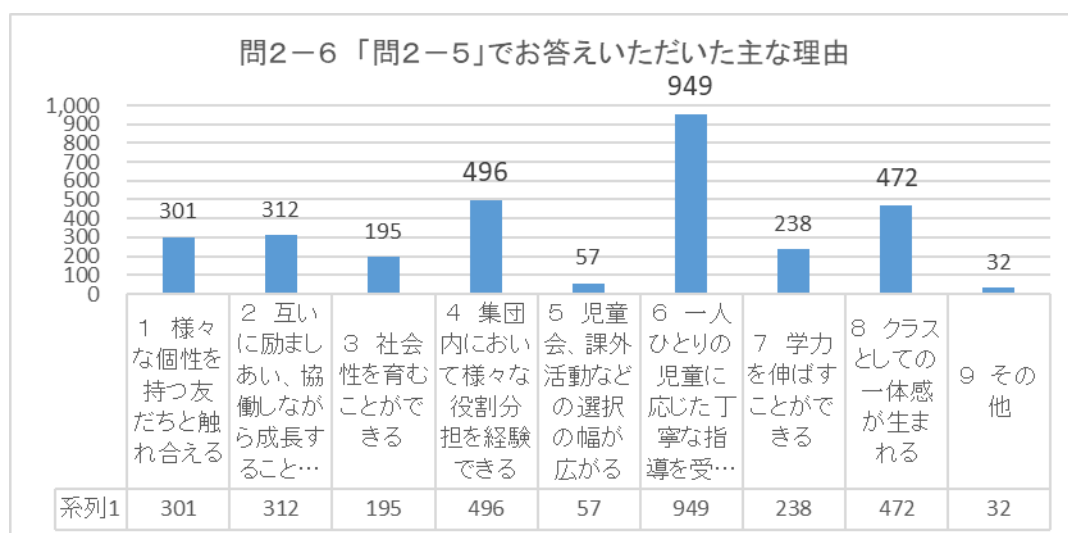
問2-6 「問2-5」でお答えいただいた主な理由について、お聞かせください。(最大3つ選択)

	回答	構成比(%)
1 様々な個性の友だちと触れ合える	301	9.9
2 互いに励ましあい、協働しながら成長することができる	312	10.2
3 社会性を育むことができる	195	6.4
4 集団内において様々な役割分担を経験できる	496	16.2
5 児童会、課外活動などの選択の幅が広がる	57	1.9
6 一人ひとりの児童に応じた丁寧な指導を受けることができる	949	31.1
7 学力を伸ばすことができる	238	7.8
8 学級(クラス)としての一体感が生まれる	472	15.5
9 その他	32	1.0
計	3,052	100.0

【9 その他の主な意見】

問 2-5で「40 人以下が適当」と回答	
1	教員不足の今、確実な人員を確保するためには大人数クラスもやむを得ない
問 2-5で「35 人以下が適当」と回答	
1	いじめの対象になった時に、逃げ場が作れる。
問 2-5で「30 人以下が適当」と回答	

1	先生の負担がかからないように。
2	子供のクラスが現在 34 人。
3	教員がそこまで目が届くほどの能力があるのか。小学校時代はまだ友達関係等でもめるので目が行き届くが不安
4	発言の機会を増やせる
5	コロナの影響で、教室の広さに対してある程度のゆとりがないといけませんが、人間関係を考慮すると少なすぎるのも問題かと思うので多過ぎず少な過ぎずで？
6	県の基準や教職員の要望を反映してほしい
7	教師の負担を考えてこれ以上は良くない。
問 2-5で「20 人以下が適当」と回答	
1	教員の負担を減らし、個々への丁寧な対応ができる。
2	1クラス 35 人だと一人一人に目が行き届いているのか？感じる時がありました。小学校は基礎を学ぶ大事な時期です。多くても1クラス 25 人でお願いしたいです。
3	大人数だと教師 1 人で子ども 1 人 1 人を見るのに限界がある。子どもの学力をのばすために1クラス 20 人程度に対し教師1人をお願いしたい。
4	一クラスあたり何人かということ以上に、一教員に対して、20人以下が望ましいのではないかと 複数担任など一人一人に目が届く、こどもの声が届く教員の配置が良いと思う

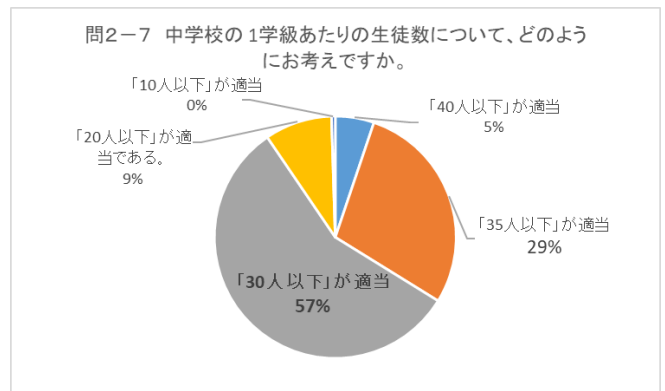


【考察】問 2-6

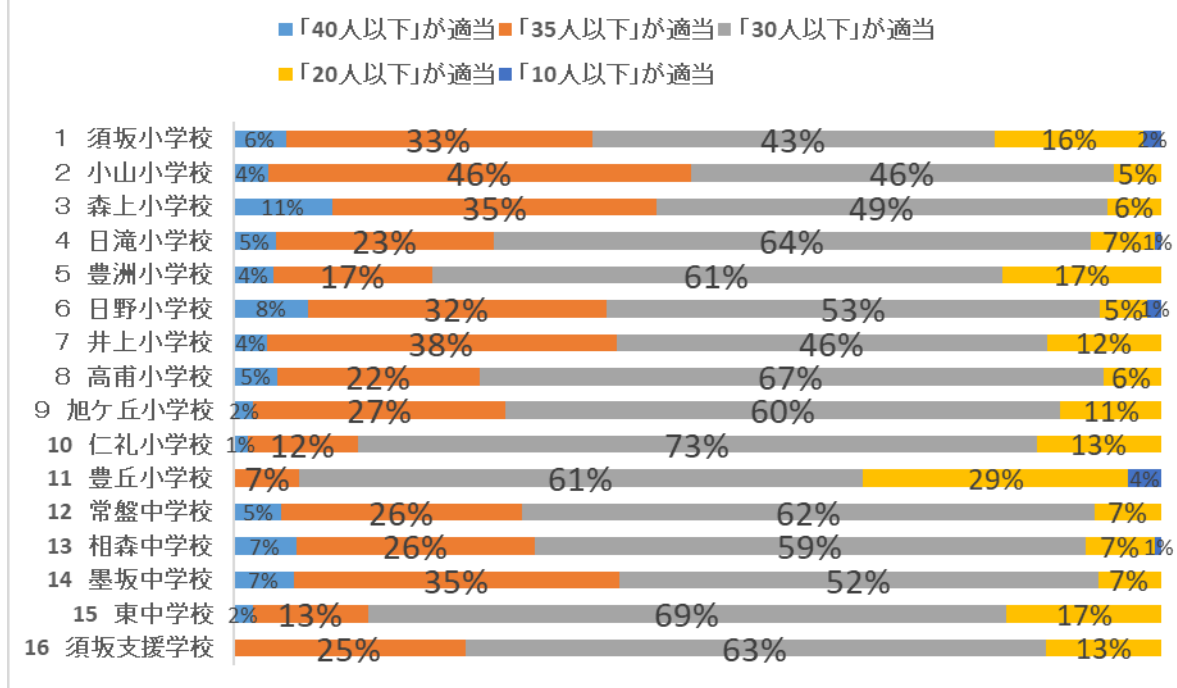
①「30人以下が適当」と回答した人の理由では「6 一人ひとりの児童に応じた丁寧な指導を受けることができる」(631)がもっとも多く、2番目に「4 集団内において様々な役割分担を経験できる」(359)、3番目に「8 学級としての一体感が生まれる」(322)となっている。

問2-7 中学校の1学級あたりの生徒数について、どのようにお考えですか。(1つ選択)

	回答	構成比(%)
「40人以下」が適当である	73	5.2
「35人以下」が適当である	403	28.6
「30人以下」が適当である	798	56.7
「20人以下」が適当である	127	9.0
「10人以下」が適当である	7	0.5
計	1,408	100.0



問1-3と問2-7のクロス集計(学校名と中学校の1学級の人数)



【考察】問 2-7

①「30人以下が適当」(57%)との回答がもっとも多く、2番目が「35 人以下が適当」(29%)、3番目が「20人以下が適当」(9%)となっている。

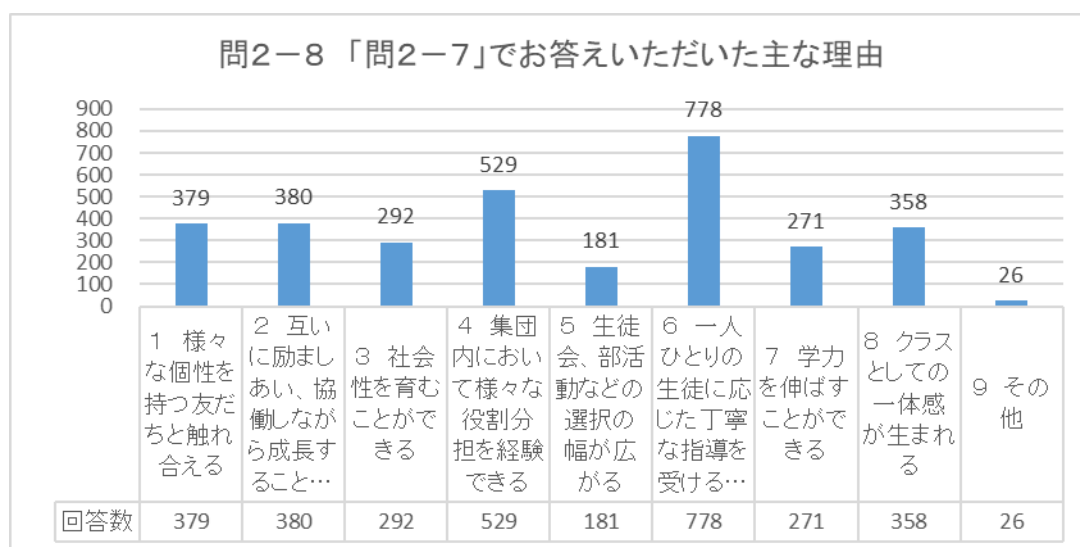
②豊丘小の保護者は「20人以下が適当」(29%)が他の学校に比べて高い。

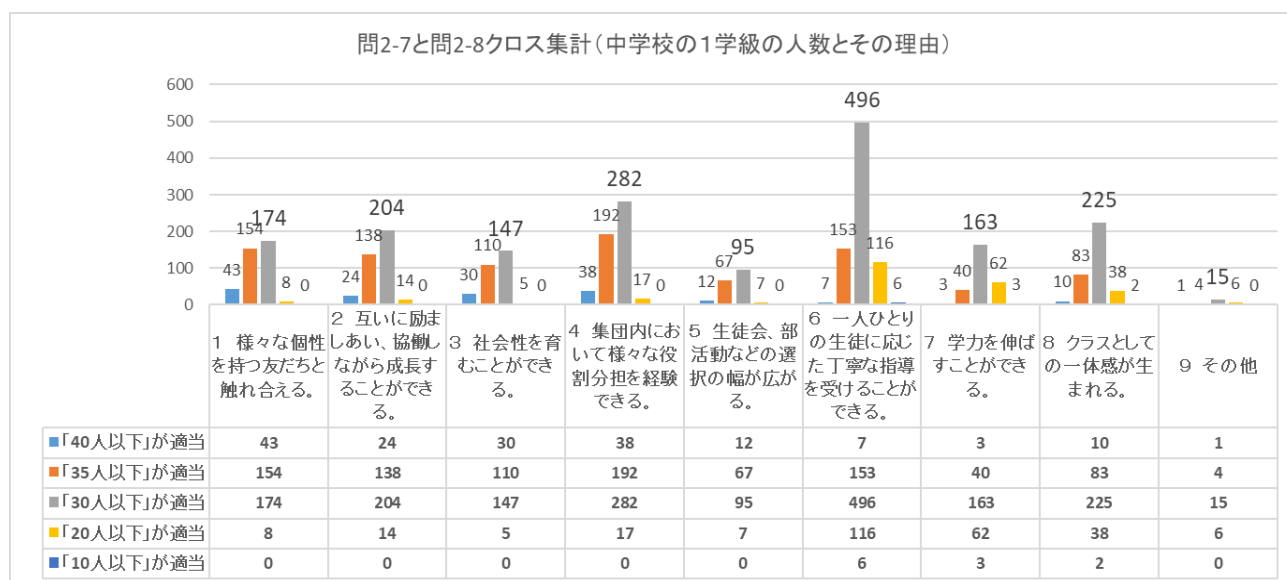
問2-8「問2-7」でお答えいただいた主な理由について、お聞かせください。(最大3つ選択)

	回答	構成比(%)
1 様々な個性の友だちと触れ合える	379	11.9
2 互いに励ましあい、協働しながら成長することができる	380	11.9
3 社会性を育むことができる	292	9.1
4 集団内において様々な役割分担を経験できる	529	16.5
5 生徒会、部活動などの選択の幅が広がる	181	5.7
6 一人ひとりの生徒に応じた丁寧な指導を受けることができる	778	24.4
7 学力を伸ばすことができる	271	8.5
8 学級(クラス)としての一体感が生まれる	358	11.2
9 その他	26	0.8
計	3,194	100.0

【9 その他の主な意見】

問2-7で「35人以下が適当」と回答	
1	いじめの対象になった時に、逃げ場がある。
2	先生がきちんと全員に向き合える数の限界のような気がします
問2-7で「30人以下が適当」と回答	
1	先生の負担がかからないように。
2	少ないと様々な人間関係ができにくい
3	担任先生の限界
4	自分の意見を発言する機会が増える
5	中学生は特に体が大きくなり、余裕をもって教室で生活できるから
6	小学校の返答と同じでコロナの影響を加味して教室に対してのある程度の広さと、人間関係の構築する勉強等を加味して、少な過ぎず多過ぎずで。
7	教師の負担と子供の多様性を考えて。担任2人生徒30人と考える。
問2-7で「20人以下が適当」と回答	
1	先生の目が行き届く





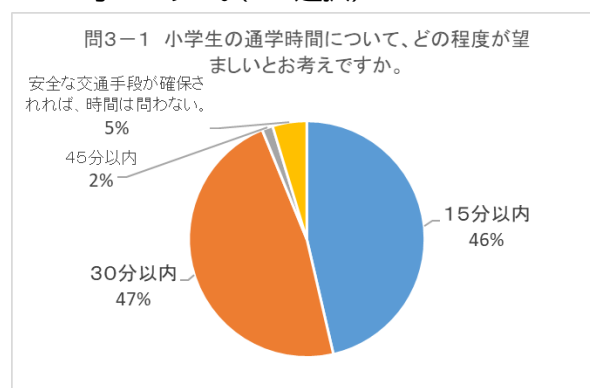
【考察】 問 2-8

①「30人以下が適当」と回答した人の理由では、「6 一人ひとりの児童に応じた丁寧な指導を受けることができる」(496)がもっとも多く、2番目に「4 集団内において様々な役割分担を経験できる」(282)、3番目に「8 クラスとしての一体感が生まれる」(225)となっている。

②「35人以下が適当」と回答した人の理由では、「4 集団内において様々な役割分担を経験できる」(192)がもっとも多く、2番目に「1 様々な個性を持つ友だちと触れ合える」(154)、3番目に「6 一人ひとりの児童に応じた丁寧な指導を受けることができる」(153)となっている。

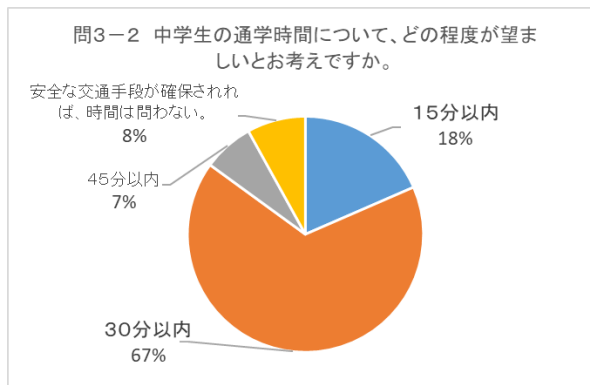
問3-1 小学生の通学時間について、どの程度が望ましいとお考えですか。(1つ選択)

	回答	構成比(%)
15分以内	653	46.4
30分以内	668	47.4
45分以内	21	1.5
安全な交通手段が確保されれば、時間は問わない	66	4.7
計	1,408	100.0



問3-2 中学生の通学時間について、どの程度が望ましいとお考えですか。(1つ選択)

	回答	構成比(%)
15分以内	260	18.5
30分以内	937	66.5
45分以内	98	7.0
安全な交通手段が確保されれば、時間は問わない	113	8.0
計	1,408	100.0



【考察】問 3-1、3-2

①小学校では「15 分以内」と「30 分以内」が同じ割合で多い。中学校では「30 分以内」が 6 割を超え、もっとも多い。

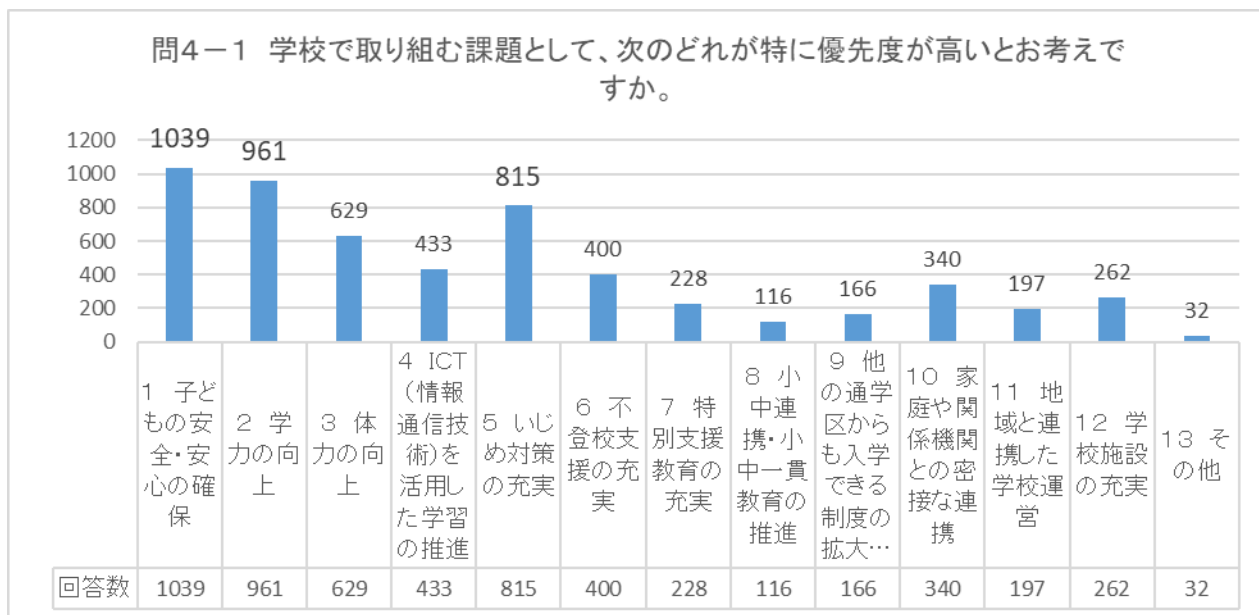
問4-1 学校で取り組む課題として、次のどれが特に優先度が高いとお考えですか。(最大5つ選択)

	回答	構成比(%)
1 子どもの安全・安心の確保	1039	18.5
2 学力の向上	961	17.1
3 体力の向上	629	11.2
4 ICT(情報通信技術)を活用した学習の推進	433	7.7
5 いじめ対策の充実	815	14.5
6 不登校支援の充実	400	7.1
7 特別支援教育の充実	228	4.0
8 小中連携・小中一貫教育の推進	116	2.0
9 他の通学区からも入学できる制度の拡大(特認校制度)	166	3.0
10 家庭や関係機関との密接な連携	340	6.1
11 地域と連携した学校運営	197	3.5
12 学校施設の充実	262	4.7
13 その他	32	0.6
計	5,618	100.0

【13 その他の主な意見】

1	コロナに対する規定の改善と職員の把握
2	教員の増員と中間教室を各学校に配置
3	先生の負担軽減、地域ボランティアの活用
4	先生の質の向上
5	通学バスを取り入れる
6	部活動の充実
7	人間関係の向上、道徳心、社会に出た時に柔軟に適應できる考え方、折れない心を備えたいです。
8	行事や部活動、複数人で協力しあって成功していくことを学んでほしい
9	部活動にてできない子にも機会を与える。生徒の優劣選別はほどほどに。勝利主義が激しく見受けられる。
10	学校に行きたくなる環境。例)サドベリースクール
11	実社会に出て役立つ、本当の学力、生きる力の向上
12	幼保小の連携
13	不誠実な親への対策、第三者機関との連携
14	個性を伸ばす教育
15	現在の PTA や町別子供会、ICT が充実し過ぎている社会において、昔から変わらな過ぎる現在のやり方が時代に全く合っておらず、建設的な学校と家庭、学校と各町の運営方針の検討、改訂が早急に必要かと思う。
16	社会性を育むためにも、私立や域外への通学は禁止すべきと思います。

17	実用的な英会話、社会人になってから必要なこと
18	過疎地域では小中一環にして9年体制でやってみるのはどうか？



【考察】問4-1

①「1 子どもの安全・安心の確保」(1,039)がもっとも多く、2 番目が「2 学力の向上」(961)、3 番目が「5 いじめ対策の充実」(815)となっている。

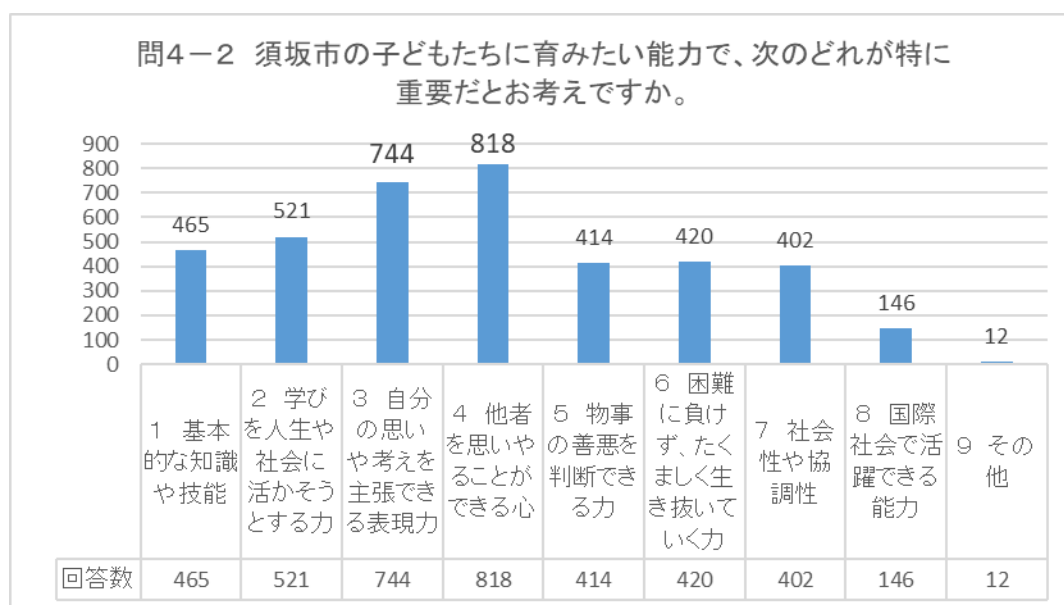
問4-2 須坂市の子どもたちに育みたい能力として、次のどれが特に重要だとお考えですか。(最大3つ選択)

	回答	構成比(%)
1 基本的な知識や技能	465	11.8
2 学びを人生や社会に活かそうとする力	521	13.2
3 自分の思いや考えを主張できる表現力	744	18.9
4 他者を思いやることができる心	818	20.8
5 物事の善悪を判断できる力	414	10.5
6 困難に負けず、たくましく生き抜いていく力	420	10.6
7 社会性や協調性	402	10.2
8 国際社会で活躍できる能力	146	3.7
9 その他	12	0.3
計	3,942	100.0

【9 その他の主な意見】

1	自らが、情報を得る事が出来る力を付ける。
2	実体験を伴う学びからの思考力や生きる力の育成
3	自分以外の価値観を認め合う
4	自分で考える事が出来る力
5	部活動にてできない子にも機会を与える。生徒の優劣選別はほどほどに。勝利主義

	が激しく見受けられる。
6	自分の好きなことや特性で役に立ったり、活躍していけるセルフプロデュース力
7	幼児からはじめる英語教育。字が書けない時期の方が、言葉は覚える
8	多様性を受け容れられる力
9	自ら考える力
10	他人や社会のために、個人の能力を伸ばしていただきたい。
11	課題発見能力、物事を最後まで自分達で解決する力



【考察】問 4-2

①「4 他者を思いやることができる心」(818)がもっとも多く、2 番目が「3 自分の思いや考えを主張できる表現力」(744)、3 番目が「2 学びを人生や社会に活かそうとする力」(521)となっている。

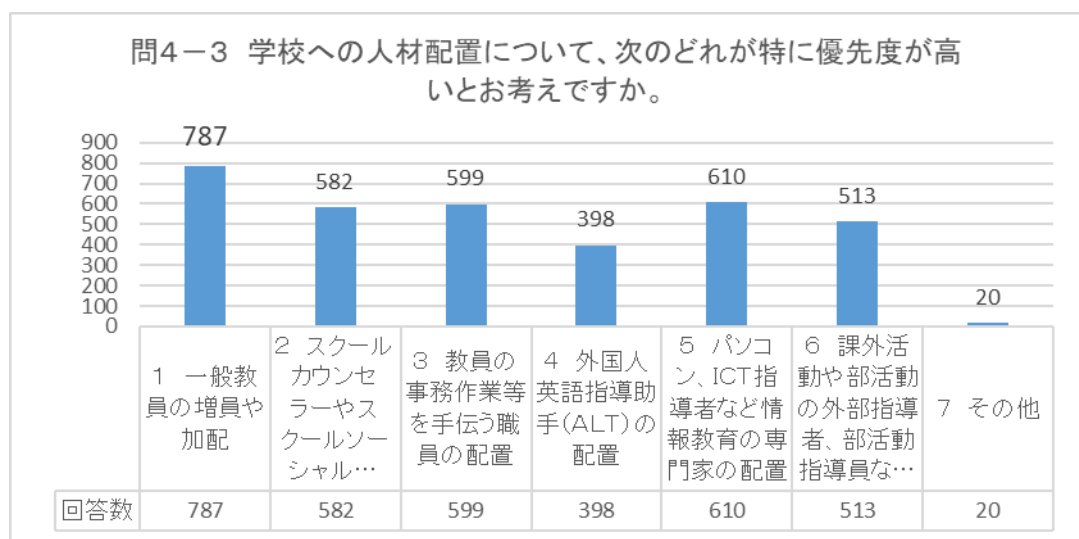
問4-3 学校への人材配置について、次のどれが特に優先度が高いとお考えですか。(最大3つ選択)

	回答	構成比(%)
1 一般教員の増員や加配	787	22.4
2 スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの配置	582	16.6
3 教員の事務作業等を手伝う職員の配置	599	17.1
4 外国人英語指導助手(ALT)の配置	398	11.3
5 パソコン、ICT指導者など情報教育の専門家の配置	610	17.4
6 課外活動や部活動の外部指導者、部活動指導員などの配置	513	14.6
7 その他	20	0.6
計	3,509	100.0

【7 その他の主な意見】

1	看護師免許を持った職員
2	スクールカウンセラー常時配置。いつでも毎日でも予約なしで相談できる環境

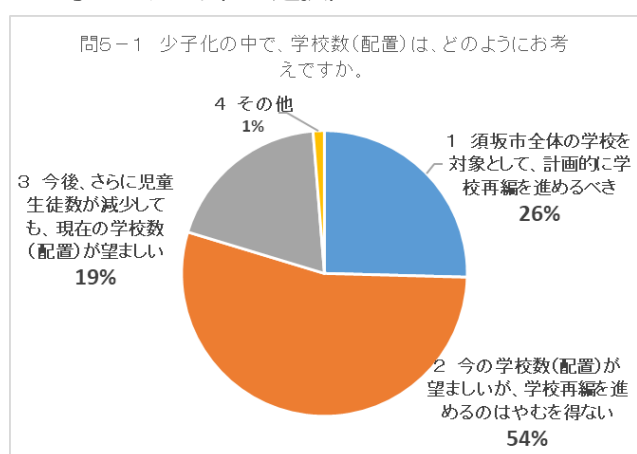
3	非常勤で授業を受け持つ人材の配置(教員経験者または教育経験者)
4	一般企業を経験した職員
5	学校生活に困難を抱えるお子さんや保護者を現場で支える支援員。
6	体育専科や、理科専科などの専門性の高い指導者
7	書家、作家、建築家などその道のプロの授業があるといい
8	コロナなどで教職員不足時の代替え職員
9	共働きが半数を軽く超える現代社会において PTA の存在や PTA に依存する今の運営方針が令和の時代にあっておらず、学校の環境整備等 PTA に依存している部分に対する人員
10	英語、音楽、体育、情報関係の外部専門家の配置



【考察】問 4-3
「1 一般教員の増員や加配」(787)がもっとも多いが、他の回答も同じくらい回答数があり、人材配置については、どれも優先度が高いと感じている人が多い。

問5-1 少子化の中で、学校数(配置)について、どのようにお考えですか。(1つ選択)

	回答	構成比(%)
1 須坂市全体の学校を対象として、計画的に学校再編を進めるべき	358	25.4
2 今の学校数(配置)が望ましいが、学校再編を進めるのはやむを得ない	764	54.3
3 今後、さらに児童生徒数が減少しても、現在の学校数(配置)が望ましい	268	19.0
4 その他	18	1.3
計	1,408	100.0



【4 その他の主な意見】

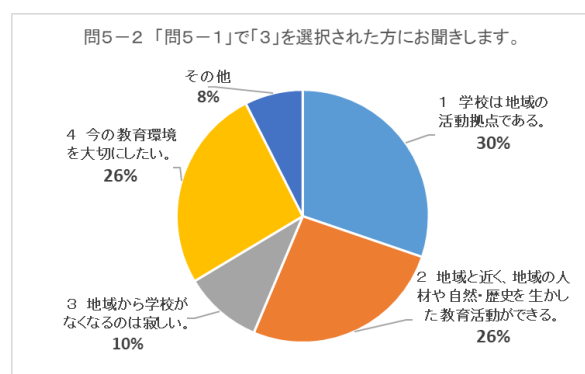
1	再編はやむを得ないが、登校距離が長くなることは避けてほしい
2	学校が統合することで、子どもたちの登下校時間が増えることは、交通や防犯の面から考えると不安が大きいです。今ある小学校で中高一貫教育という選択肢は可能でしょうか
3	学校数はもっと多くてもいい
4	通学区の見直し
5	学校同士が遠いため減らしたりするのは好ましくない。数を減らすなら新たに学区を決めその中央に学校を作り直すべき。
6	小中一貫もあり
7	中学のみ、自転車通学を許可した再編を進めても良い時期だと思います
8	小学校は現在の学校数、中学は統合しての再編
9	これまでの規模を基準とした学校運営にとらわれずに、新しいかたちでの学校運営を熟考したうえで再編してほしい。
10	経済的合理性のみで、社会的共通資本である学校を閉鎖することに、強い憤りを感じると共に、教育に熱心だった須坂市の先人達、そして将来を担うであろう子ども達に、申し訳ない気持ちになります
11	小学校の空き教室を利用して、小中一貫校にしてあげれば通学の負担は軽くなると思う。

【考察】 問 5-1

- ①「2 今の学校数(配置)が望ましいが、学校再編を進めるのはやむを得ない」(54.3%)がもっとも多く、2 番目の「1 須坂市全体の学校を対象として、計画的に学校再編を進めるべき」(25.4%)と合わせると、学校再編に肯定的な回答が約 8 割を占める。
- ②一方で「3 今後、さらに児童生徒数が減少しても、現在の学校数(配置)が望ましい」との回答も 19% ある。

問5-2 「問5-1」で「③」を選択された方にお聞きます。お答えいただいた理由として、次のどれが一番強いとお考えですか。(1つ選択)

	回答	構成比(%)
1 学校は地域の活動拠点なので	81	30.2
2 身近な地域の人材や自然・歴史を生かした教育活動ができる	70	26.1
3 地域から学校がなくなるのは寂しい	27	10.1
4 今の教育環境を大切にしたい	70	26.1
5 その他	20	7.5
計	268	100.0



【5 その他の主な意見】

1	通学に時間がかかり過ぎるのはプライベート時間が減少してしまうため望ましくないと思われます
---	--

2	安全な交通手段が確保されれば再編も考慮
3	児童数は減少傾向ですが、学校数が減ると通いに困難が生じてしまうリスクがあるため。
4	合併すると通学時間が増え、重過ぎるランドセルを背負った子どもたちが心配。熱中症など
5	支援学校を1校独立して作ってほしい
6	学校を統合させることで、通学に時間がかかる児童が出てくる。昨今の社会情勢を踏まえて、1人で長時間の登下校をする子どもがいることは少し危険と感じます
7	小学校は統合すると、遠い子どもは通うのが大変そう。通学時の安全面でも心配。スクールバスとかきちんと整備されるなら統合も許容できる
8	学校を減らす事を考える前に、須坂市の子育て支援政策を充実させ、須坂市で子供を育てたいと思わせるような支援策を実行するべきではないのでしょうか

【考察】 問 5-2

- ①「今後、さらに児童生徒数が減少しても、現在の学校数(配置)が望ましい」と回答した理由は、「学校は地域の活動拠点なので」(30%)と最も多く、2番目が「今の教育環境を大切にしたい」(26%)となっている。
- ②その他意見では、学校再編により学校が遠くなり、通学時間が長くなることを心配する意見が多くあった。

須坂市小中学校の適正規模等に関する教職員アンケート結果

1 調査の目的

須坂市では、急激に少子化社会が進み、今後、児童生徒数はますます減少していくことが予想される。将来を展望した小中学校の適正規模や適正配置について、総合的に検討するための基礎資料とする。

2 調査方法

- (1)調査対象 市内の小中支援学校の教職員 352 人
 (2)調査方法 学校を通じて配布。回答はインターネット
 (3)調査期間 2022 年 10 月 14 日～11 月 21 日
 (選択肢に誤りがあり、問 2-3 と問 2-4 は12月16日～1月6日に再調査)

3 回収率 96.9%(回収数 341/配布数 352)

4 調査項目

【設問一覧】

問1-1	あなたが勤務している学校の校種を教えてください
問1-2	あなたが勤務している学校名を教えてください
問1-3	あなたの年齢を教えてください
問2-1	小学校の1学年あたりの学級数について、どのようにお考えですか
問2-2	「問2-1」でお答えいただいた主な理由について、お聞かせください
問2-3	中学校の1学年あたりの学級数について、どのようにお考えですか
問2-4	「問2-3」でお答えいただいた主な理由について、お聞かせください
問2-5	小学校の 1 学級あたりの児童数について、どのようにお考えですか
問2-6	「問2-5」でお答えいただいた主な理由について、お聞かせください
問2-7	中学校の 1 学級あたりの生徒数について、どのようにお考えですか
問2-8	「問2-7」でお答えいただいた主な理由について、お聞かせください
問3-1	小学生の通学時間について、どの程度が望ましいとお考えですか
問3-2	中学生の通学時間について、どの程度が望ましいとお考えですか
問4-1	学校で取り組む課題として、次のどれが特に優先度が高いとお考えですか
問4-2	須坂市の子どもたちに育みたい能力として、次のどれが特に重要だとお考えですか
問4-3	学校への人材配置について、次のどれが特に優先度が高いとお考えですか
問5-1	少子化の中で、学校数(配置)について、どのようにお考えですか
問5-2	「問5-1」で「③」を選択された方にお聞きします。お答えいただいた理由として、次のどれが一番強いとお考えですか

5 教職員アンケート結果の概要

(1) 回答者の属性 【問 1-3】

- ①回答者の年齢は、50代(40%)がもっとも多く、2番目に40代(24%)、3番目に30代(16%)となっている。

(2) 1学年あたりの学級数について

・小学校1学年の学級数 【問 2-1】【問 2-2】

- ①小学校の標準規模の「2～3学級がよい」(84%)との回答がもっとも多く、2番目が「4学級以上がよい」(9%)となっている。
- ②「2～3学級がよい」と回答した人の理由では、「5 クラス替えが可能で、人間関係が広がる」(178)がもっとも多く、2番目に「2 様々な個性の友だちと触れ合える」(167)、3番目に「1 社会性を養う機会に恵まれる」(96)となっている。

・中学校1学年の学級数 【問 2-3】【問 2-4】

- ③中学校の標準規模の「4～6学級がよい」(65%)との回答がもっとも多く、2番目が「3学級以下がよい」(28%)となっている。
- ④仁礼小や豊丘小、須坂支援学校では「複式学級でもよい」との回答が他の学校にくらべて多い。
- ⑤「4～6学級がよい」と回答した人の理由では「5 クラス替えが可能で、人間関係が広がる」(104)がもっとも多く、2番目に「2 様々な個性の友だちと触れ合える」(96)、3番目が「4 生徒会、部活動などの選択の幅が広がる」(76)となっている。

(3) 1学級あたりの人数について

・小学校1学級の人数 【問 2-5】【問 2-6】

- ①「30人以下が適当」(72%)との回答がもっとも多く、2番目が「20人以下が適当」(26%)、3番目が「35人以下が適当」(2%)となっている。
- ②「30人以下が適当」と回答した人の理由では、「6 一人ひとりの児童に応じた丁寧な指導を受けることができる」(172)がもっとも多く、2番目に「4 集団内において様々な役割分担を経験できる」(116)、3番目に「7 学力を伸ばすことができる」(76)となっている。

・中学校1学級の人数 【問 2-7】【問 2-8】

- ③「30人以下が適当」(78%)との回答がもっとも多く、2番目が「35人以下が適当」(16%)、3番目が「20人以下が適当」(6%)となっている。
- ④「30人以下が適当」と回答した人の理由では、「6 一人ひとりの児童に応じた丁寧な指導を受けることができる」(171)がもっとも多く、2番目に「2 互いに励ましあい、協働しながら成長することができる」(95)、3番目に「7 学力を伸ばすことができる」(91)となっている。

(4) 通学時間について 【問 3-1】【問 3-2】

- ①小学校でも中学校でも「30分以内」の回答が6割を超えもっとも多い。2番目は小学校では「15分以内」(28%)、中学校では「45分以内」(14%)となっている。

(5) 学校で取り組む課題について 【問 4-1】

- ①「2 学力の向上」(231)がもっとも多く、2番目が「1 子どもの安全・安心の確保」(222)、3番目が「7 特別支援教育の充実」(172)となっている。

(6) 子どもたちに育みたい能力について 【問 4-2】

- ①「4 他者を思いやることができる心」(202)がもっとも多く、2 番目が「3 自分の思いや考えを主張できる表現力」(165)、3 番目が「困難に負けず、たくましく生き抜いていく力」(155)となっている。

(7) 学校への人材配置について 【問 4-3】

- ①「1 一般教員の増員や加配」(317)がもっとも多く、2 番目が「5 パソコン、ICT指導者など情報教育の専門家の配置」(192)、3 番目が「3 教員の事務作業等を手伝う職員の配置」(146)となっている。

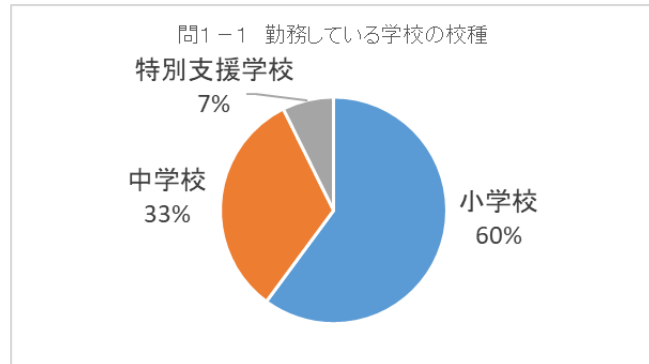
(8) 少子化における学校数(配置)について 【問 5-1】【問 5-2】

- ①「2 今の学校数(配置)が望ましいが、学校再編を進めるのはやむを得ない」(45%)がもっとも多く、2 番目の「1 須坂市全体の学校を対象として、計画的に学校再編を進めるべき」(40%)と合わせると、学校再編に肯定的な回答が8割を超える。
- ②一方で、「3 今後、さらに児童生徒数が減少しても、現在の学校数(配置)が望ましい」との回答も14%ある。
- ③「今後、さらに児童生徒数が減少しても、現在の学校数(配置)が望ましい」と回答した理由は、「学校は地域の活動拠点なので」(31%)がもっとも多く、2 番目が「2 身近な地域の人材や自然・歴史を生かした教育活動ができる」(25%)となっている。

6 調査結果

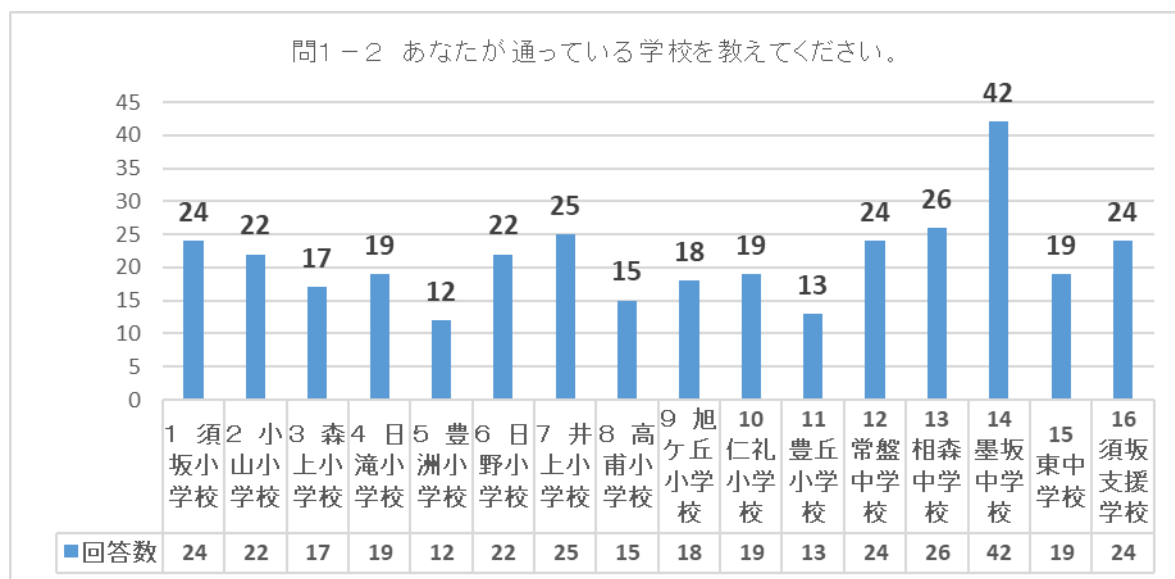
問1ー1 あなたが勤務している学校の校種を教えてください。

	回答	構成比(%)
小学校	205	60.1
中学校	111	32.6
特別支援学校	25	7.3
計	341	100.0



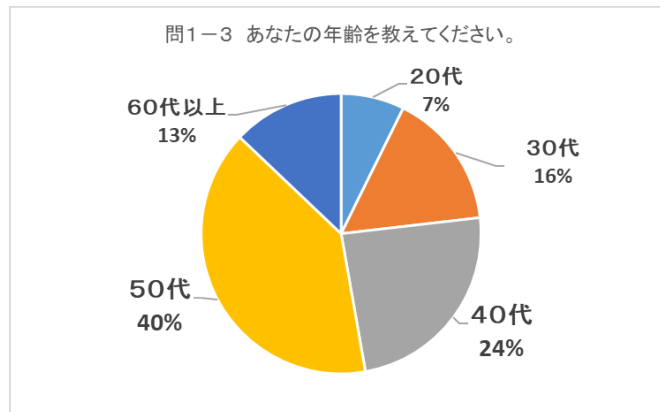
問1ー2 あなたが勤務している学校名を教えてください。

学校名	回答	構成比(%)	学校名	回答	構成比(%)
須坂小学校	24	7.1	常盤中学校	24	7.1
小山小学校	22	6.5	相森中学校	26	7.6
森上小学校	17	5.0	墨坂中学校	42	12.0
日滝小学校	19	5.6	東中学校	19	5.6
豊洲小学校	12	3.5	須坂支援学校	24	7.1
日野小学校	22	6.5	計	341	100.0
井上小学校	25	7.3			
高甫小学校	15	4.4			
旭ヶ丘小学校	18	5.3			
仁礼小学校	19	5.6			
豊丘小学校	13	3.8			



問1-3 あなたの年齢を教えてください。

	回答	構成比(%)
20代	25	7.3
30代	54	15.8
40代	82	24.1
50代	136	39.9
60代以上	44	12.9
計	341	100.0

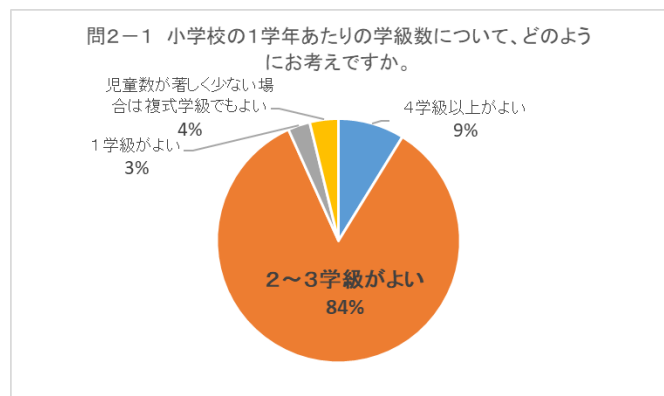


【考察】問1-3

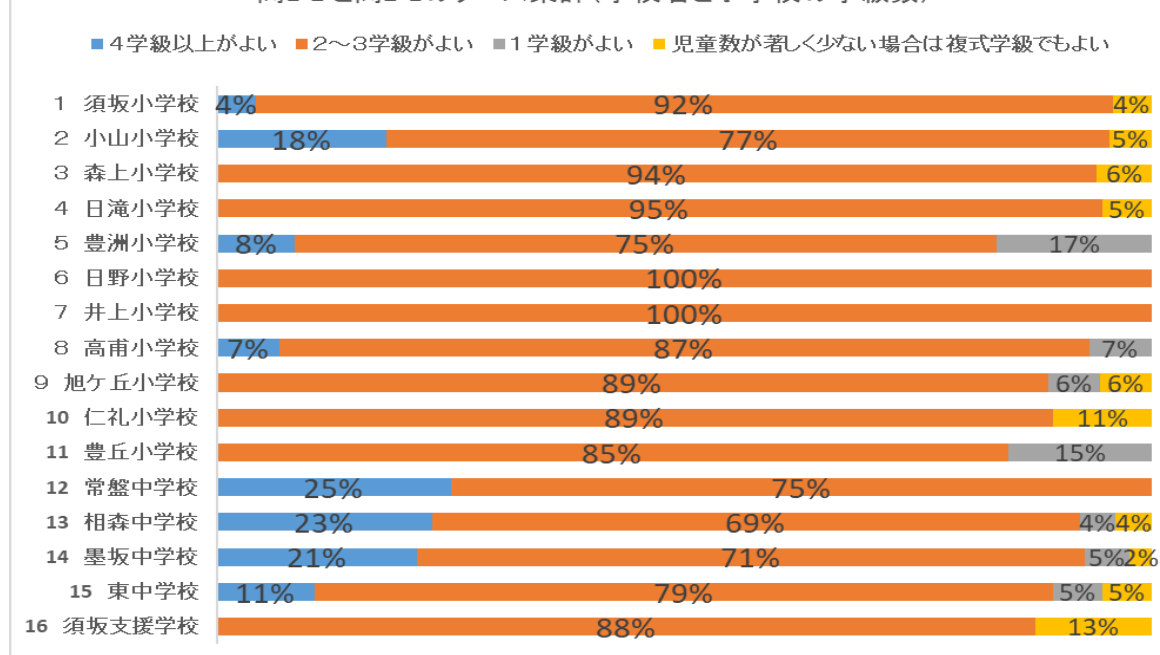
回答者の年齢は、50代(40%)がもっとも多く、2番目に40代(24%)、3番目に30代(16%)となっている。

問2-1 小学校の1学年あたりの学級数について、どのようにお考えですか。(1つ選択)

	回答	構成比(%)
4学級以上がよい	30	8.8
2～3学級がよい	288	84.5
1学級がよい	10	2.9
児童数が著しく少ない場合は複式学級でもよい	13	3.8
計	341	100.0



問1-2 と問2-1のクロス集計(学校名と小学校の学級数)



【考察】問2-1

- ①小学校の標準規模の「2～3学級がよい」(84%)との回答がもっとも多く、2番目が「4学級以上がよい」(9%)となっている。
- ②東中学校以外の3つの中学校では、「2～3学級がよい」に次いで、「4学級以上がよい」が2割程度ある。

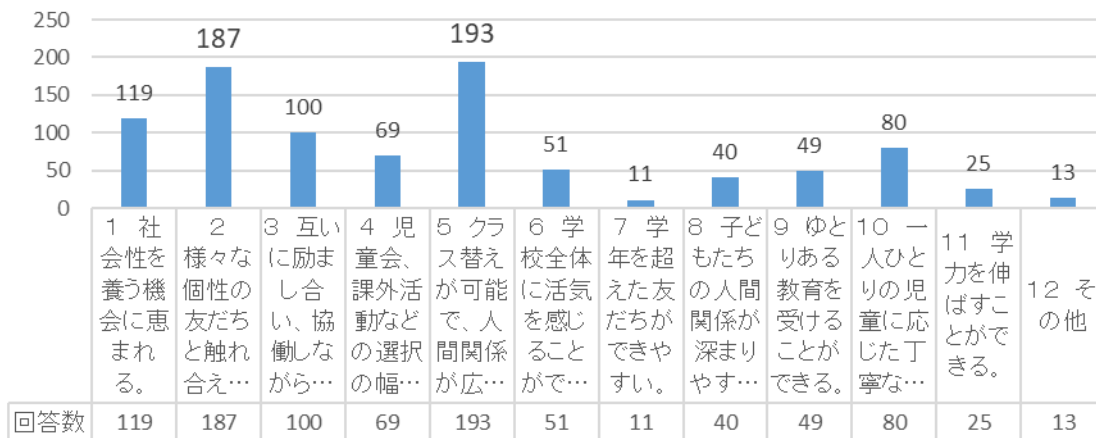
問2-2 「問2-1」でお答えいただいた主な理由について、お聞かせください。(最大3つ選択)

	回答	構成比(%)
1 社会性を養う機会に恵まれる	119	12.7
2 様々な個性の友だちと触れ合える	187	19.9
3 互いに励まし合い、協働しながら成長することができる	100	10.7
4 児童会、課外活動などの選択の幅が広がる	69	7.4
5 クラス替えが可能で、人間関係が広がる	193	20.6
6 学校全体に活気を感じることができる	51	5.4
7 学年を超えた友だちがしやすい	11	1.2
8 子どもたちの人間関係が深まりやすい	40	4.3
9 ゆとりある教育を受けることができる	49	5.2
10 一人ひとりの児童に応じた丁寧な指導を受けることができる	80	8.5
11 学力を伸ばすことができる	25	2.7
12 その他	13	1.4
計	937	100.0

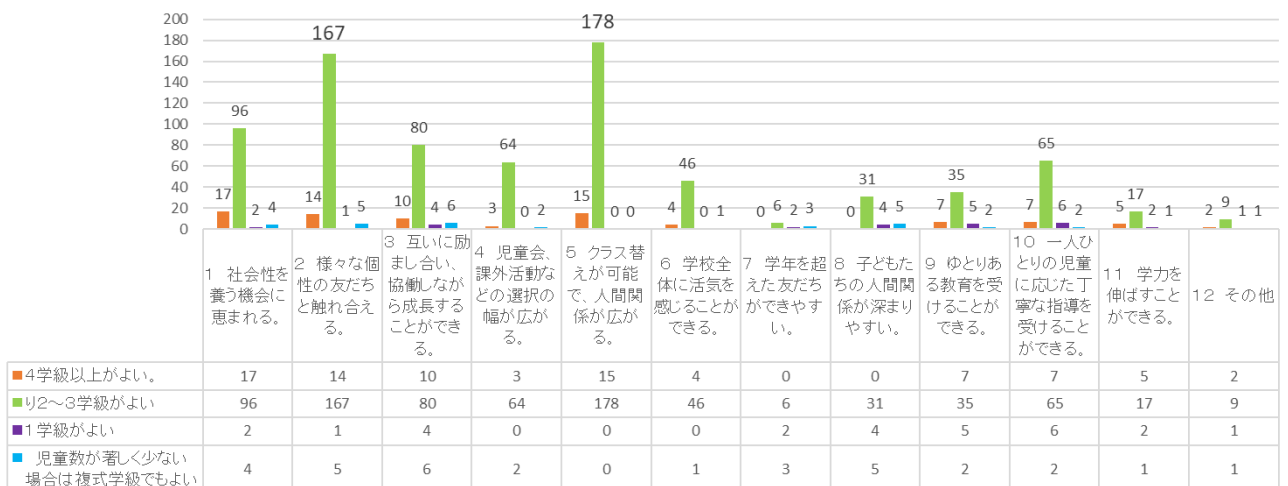
【12 その他の主な意見】

問 2-1 で「4学級以上がよい」と回答	
1	学年職員が多くなることで多様な教育が行える
2	一校における教員数の増加
問 2-1 で「2～3学級がよい」と回答	
1	4学級以上だと学年の人数が多すぎて学年の行事などが計画しづらいが、2～3学級ならば学年内で行事を計画したりクラスを越えて係活動に取り組ませたりすることができるから
2	単級だと担任の負担が重い。学年、二人か三人だと相談できるし、仕事も割り振れる
3	教科担任制など学年内で取り組むことができる。学年の仕事が分担できる
4	1 学年 1 クラスだと同条件での相談が出来なく、結果、教師の孤立
5	人間関係が固定され過ぎないように学級替えができると良い
問 2-1 で「1学級がよい」と回答	
6	これまであった学校がなくなると、その校区(地域)の活気がなくなる
問 2-1 で「複式学級でもよい」と回答	
7	先輩のよい姿が下の学年の子のよい手本になることがある

問2-2 「問2-1」でお答えいただいた主な理由



問2-1と問2-2のクロス集計(小学校の学級数とその理由)



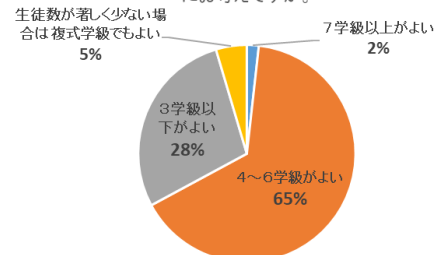
【考察】問2-2

①「2～3学級がよい」と回答した人の理由では、「5 クラス替えが可能で、人間関係が広がる」(178)がもっとも多く、2番目に「2 様々な個性の友だちと触れ合える」(167)、3番目に「1 社会性を養う機会に恵まれる」(96)となっている。

問2-3 中学校の1学年あたりの学級数について、どのようにお考えですか。(1つ選択)

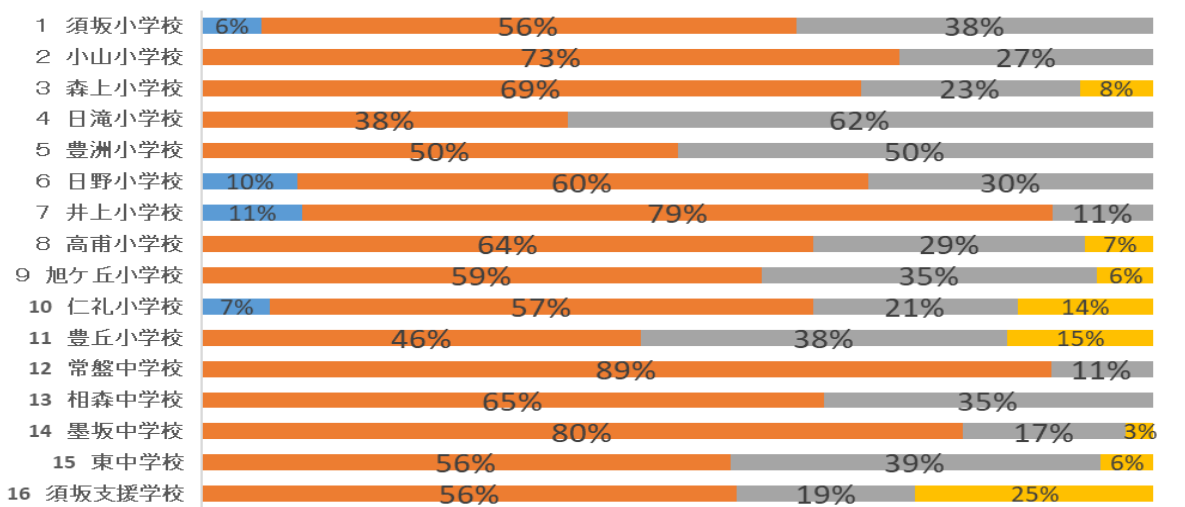
	回答	構成比(%)
7学級以上がよい	5	1.8
4～6学級がよい	185	65.4
3学級以下がよい	80	28.2
生徒数が著しく少ない場合は複式学級でもよい	13	4.6
計	283	100.0

問2-3 中学校の1学年あたりの学級数について、どのようにお考えですか。



問1-2と問2-3のクロス集計(学校名と中学校の学級数)

■ 7学級以上がよい ■ 4～6学級がよい ■ 3学級以下がよい ■ 4 生徒数が著しく少ない場合は複式学級でもよい



【考察】問2-3

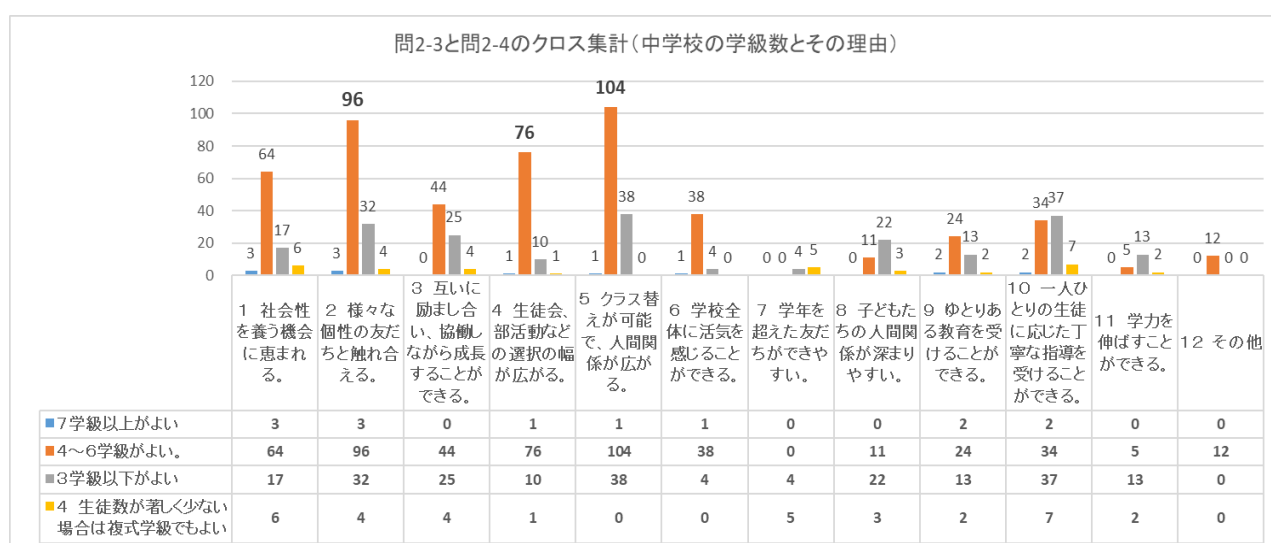
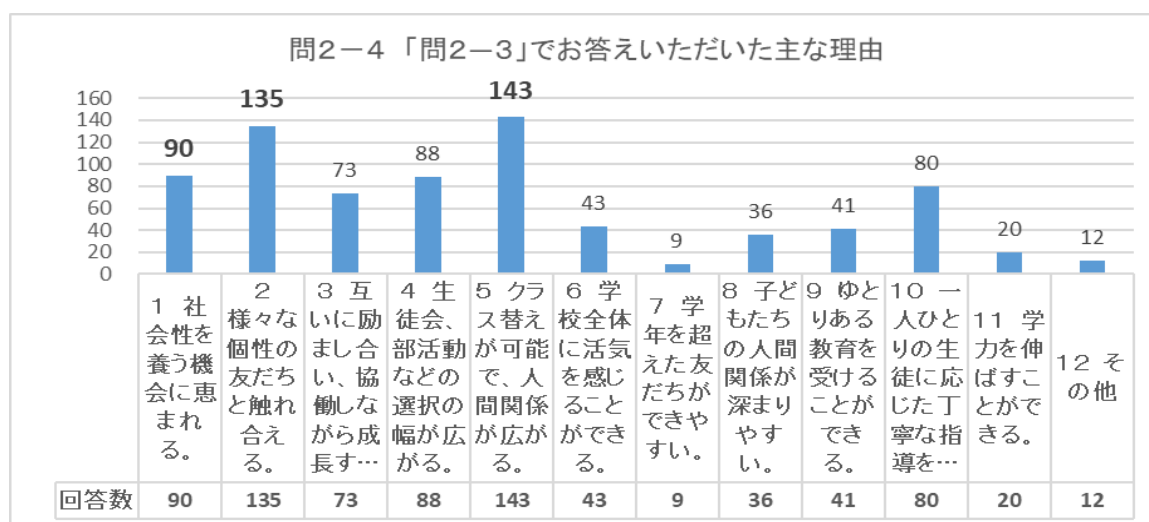
- ①中学校の標準規模の「4～6学級がよい」(65%)との回答がもっとも多く、2番目が「3学級以下がよい」(28%)となっている。
- ②仁礼小や豊丘小、須坂支援学校では「複式学級でもよい」との回答が他の学校にくらべて多い。

問2-4 「問2-3」でお答えいただいた主な理由について、お聞かせください。(最大3つ選択)

	回答	構成比(%)
1 社会性を養う機会に恵まれる	90	11.7
2 様々な個性の友だちと触れ合える	135	17.5
3 互いに励まし合い、協働しながら成長することができる	73	9.5
4 生徒会、部活動などの選択の幅が広がる	88	11.4
5 クラス替えが可能で、人間関係が広がる	143	18.6
6 学校全体に活気を感じることができる	43	5.6
7 学年を超えた友だちがしやすい	9	1.2
8 子どもたちの人間関係が深まりやすい	36	4.7
9 ゆとりある教育を受けることができる	41	5.3
10 一人ひとりの児童に応じた丁寧な指導を受けることができる	80	10.4
11 学力を伸ばすことができる	20	2.6
12 その他	12	1.5
計	770	100.0

【12 その他の主な意見】

問 2-3 で「4～6学級がよい」と回答	
1	学校規模を小さくしすぎると、教員数の関係で免許外授業を受け持つ先生が多くなり、負担増が予想される。
2	職員数が確保できる。
3	職員数が増え、生徒対応や校務分担に小規模校よりもある程度余裕が生まれやすいと思うから。
4	学年担任が取りやすい
5	職員一人あたりの負担軽減。組織としてのチーム力。
6	学級数が多いほどより多くの先生目で見えてやることできる
7	学級数は4から5学級が、いいと思っています。6クラスは厳しいです。学年職員が自分の学年の生徒全員を把握して指導でき、さらに学校として教科担任をきちんと配置できると考えます。



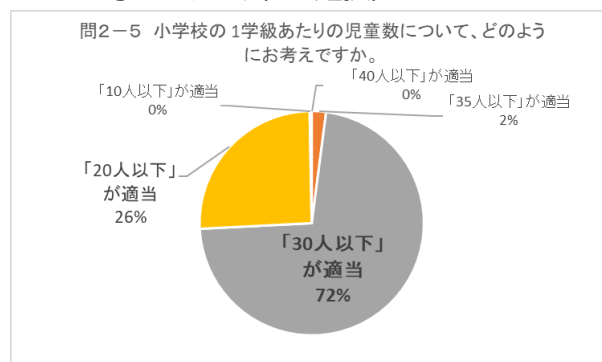
【考察】問 2-4

①「4～6学級がよい」と回答した人の理由では「5 クラス替えが可能で、人間関係が広がる」(104)がもっとも多く、2番目に「2 様々な個性の友だちと触れ合える」(96)、3番目が「4 生徒会、部活動など

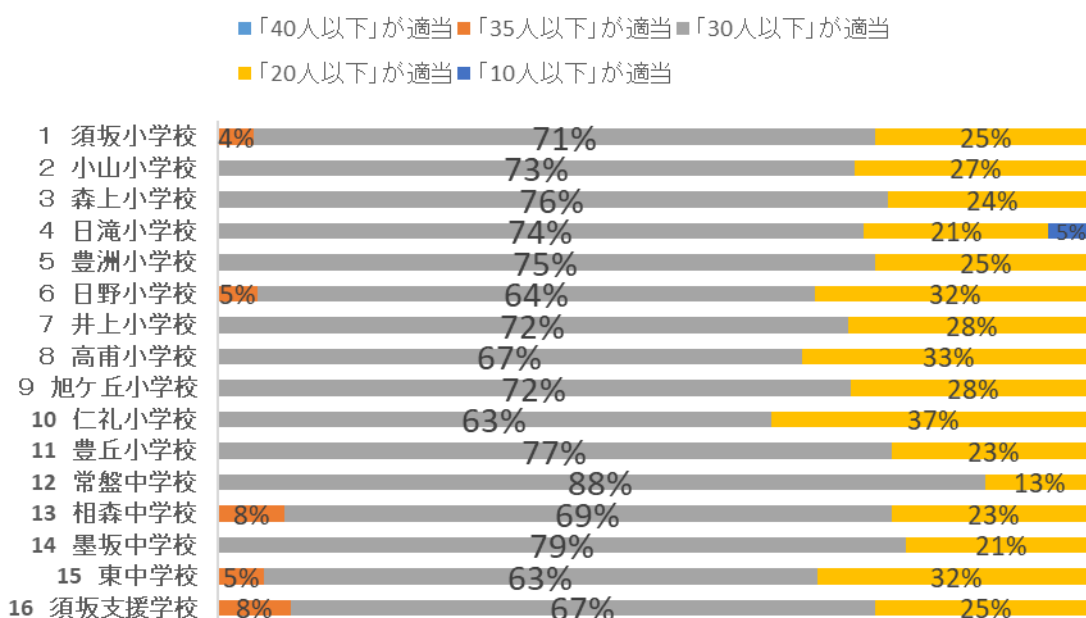
の選択の幅が広がる」(76)となっている。

問2-5 小学校の1学級あたりの児童数について、どのようにお考えですか。(1つ選択)

	回答	構成比(%)
「40人以下」が適当である	0	0
「35人以下」が適当である	7	2.1
「30人以下」が適当である	246	72.1
「20人以下」が適当である	87	25.5
「10人以下」が適当である	1	0.3
計	341	100.0



問1-2と問2-5のクロス集計(学校名と小学校の1学級の児童数)



【考察】問2-5

①「30人以下が適当」(72%)との回答がもっとも多く、2番目が「20人以下が適当」(26%)、3番目が「35人以下が適当」(2%)となっている。

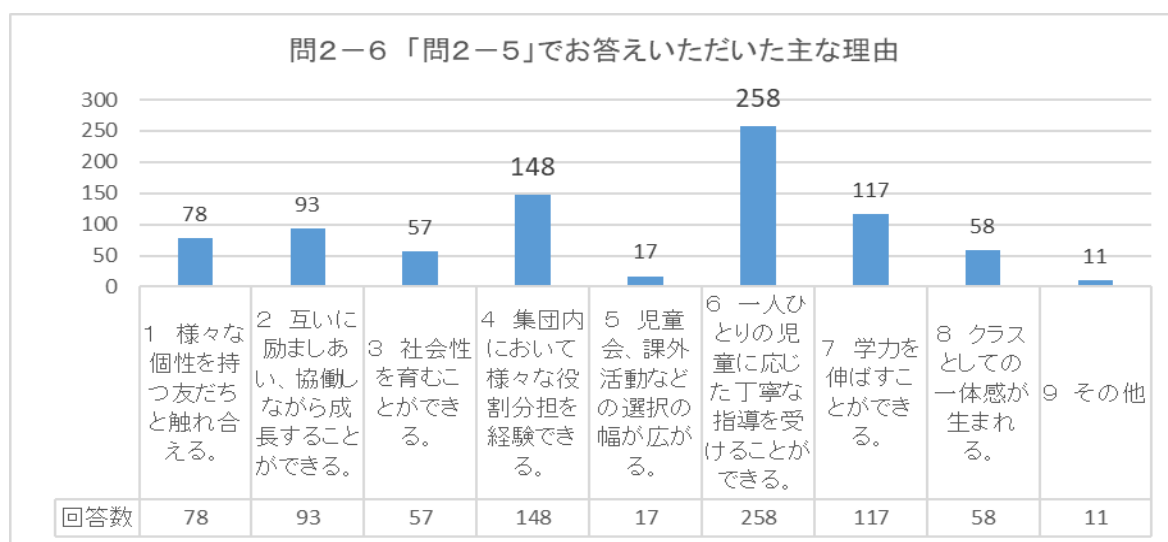
問2-6 「問2-5」でお答えいただいた主な理由について、お聞かせください。(最大3つ選択)

	回答	構成比(%)
1 様々な個性の友だちと触れ合える	78	9.3
2 互いに励ましあい、協働しながら成長することができる	93	11.1
3 社会性を育むことができる	57	6.8
4 集団内において様々な役割分担を経験できる	148	17.7

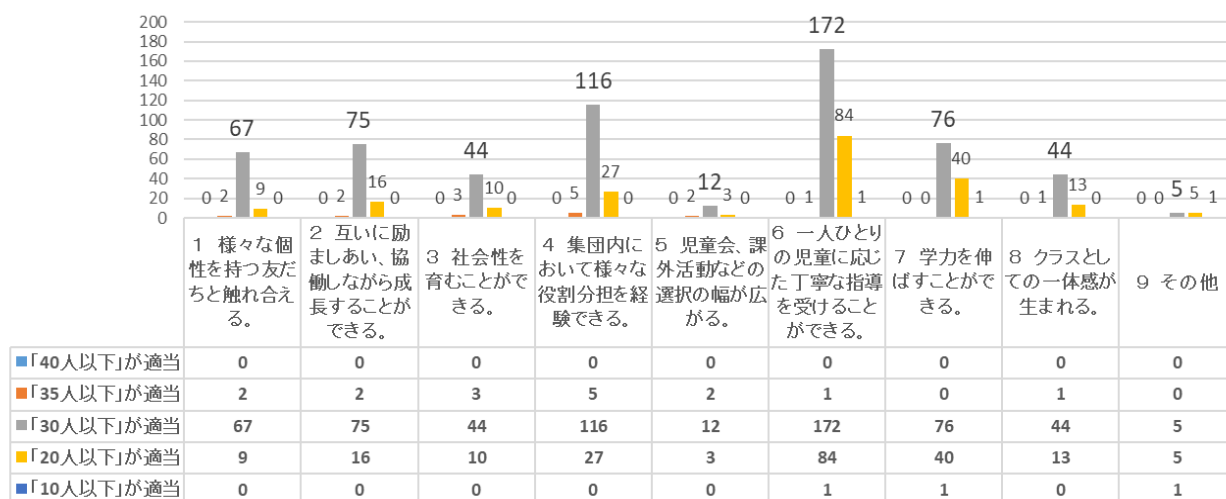
5 児童会、課外活動などの選択の幅が広がる	17	2.1
6 一人ひとりの児童に応じた丁寧な指導を受けることができる	258	30.8
7 学力を伸ばすことができる	117	14.0
8 学級(クラス)としての一体感が生まれる	58	6.9
9 その他	11	1.3
計	837	100.0

【9 その他の主な意見】

問 2-5 で「30 人以下が適当」と回答	
1	多様な子どもに対応できる。
2	教師の目が一人一人に行き届き、丁寧な指導をすることができる。
3	特に低学年だが、給食などの準備で20人以下だと複数人の欠席などがあると準備に困難が生じやすい為
問 2-5 で「20 人以下が適当」と回答	
1	現在の人数では、個に応じた配慮を取ることが極めて難しい。クラスの実態によっては、担任が対応しきれないケースも少なく無いのが現状。
2	一人一人に時間をかけて個別支援をしていくには、30 では多すぎます。
3	文部科学省が唱える、個別最適な学びの実現に近づけられる。
4	現在の人数では、個に応じた配慮を取ることが極めて難しい。クラスの実態によっては、担任が対応しきれないケースも少なく無いのが現状。
問 2-5 で「10 人以下が適当」と回答	
1	少なければ少ないほど良い



問2-5と問2-6のクロス集計（小学校の1学級の児童数とその理由）



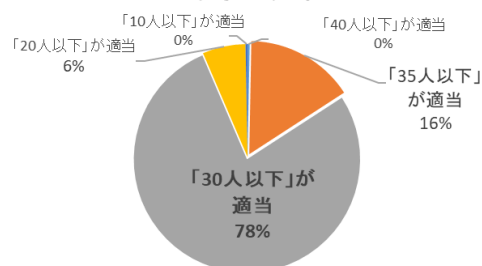
【考察】問2-6

①「30人以下が適当」と回答した人の理由では、「6 一人ひとりの児童に応じた丁寧な指導を受けることができる」(172)がもっとも多く、2番目に「4 集団内において様々な役割分担を経験できる」(116)、3番目に「7 学力を伸ばすことができる」(76)となっている。

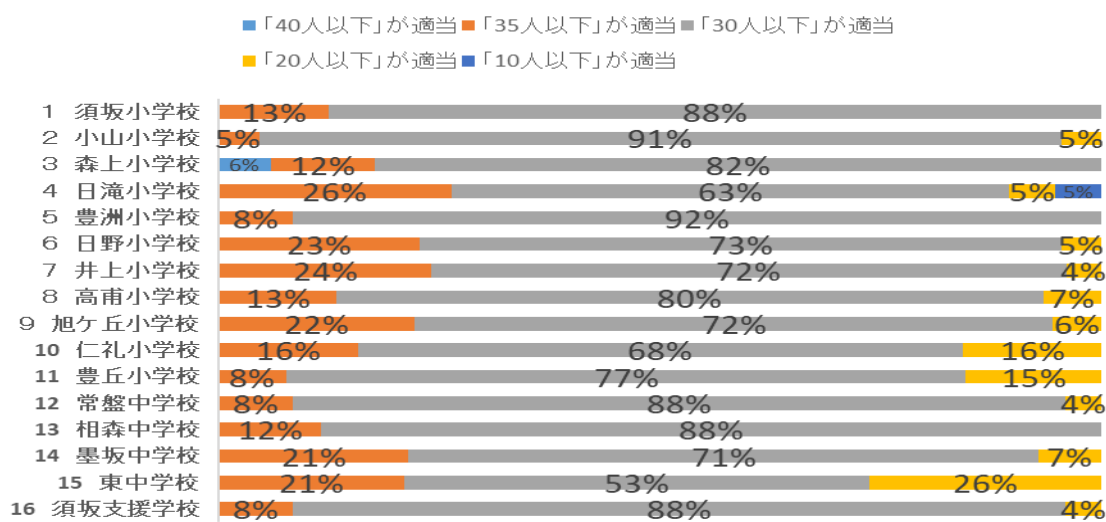
問2-7 中学校の1学級あたりの生徒数について、どのようにお考えですか。(1つ選択)

	回答	構成比(%)
「40人以下」が適当である	1	0.3
「35人以下」が適当である	53	15.5
「30人以下」が適当である	265	77.7
「20人以下」が適当である	21	6.2
「10人以下」が適当である	1	0.3
計	341	100.0

問2-7 中学校の1学級あたりの生徒数について、どのようにお考えですか。



問1-2と問2-7のクロス集計（学校名と中学校の1学級の生徒数）



【考察】問 2-7

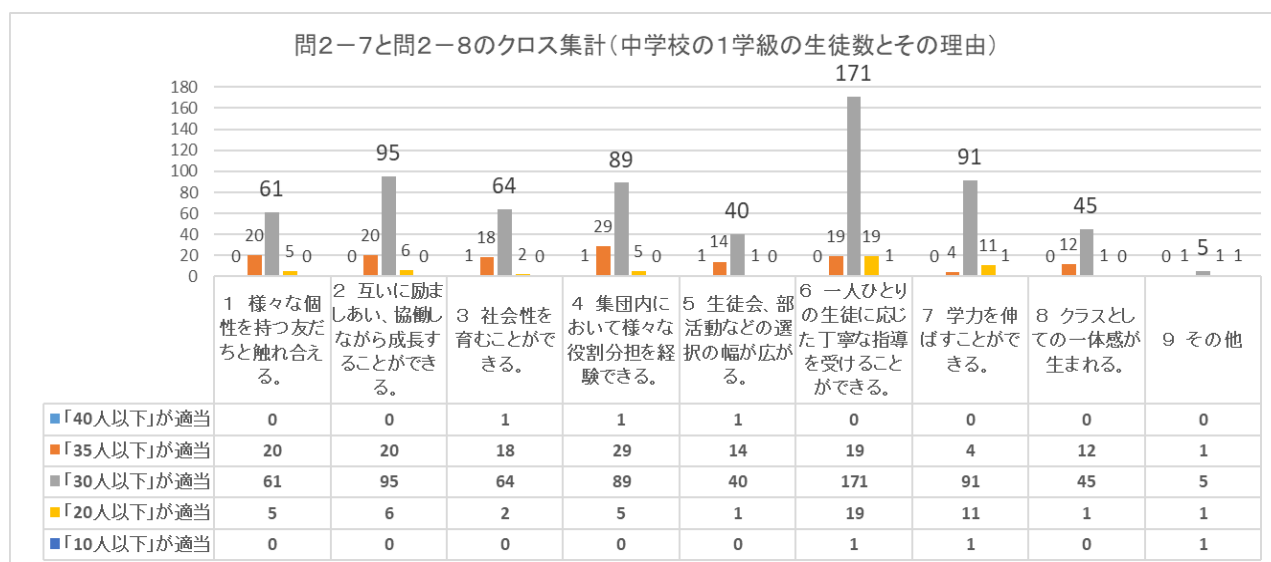
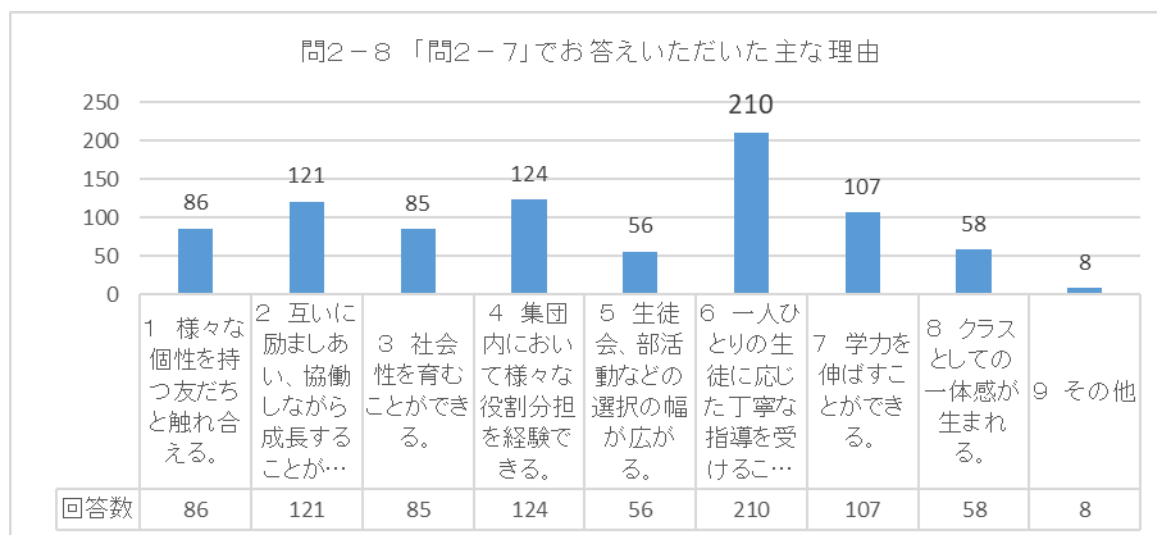
①「30人以下が適当」(78%)との回答がもっとも多く、2番目が「35 人以下が適当」(16%)、3番目が「20人以が適当」(6%)となっている。

問2-8 「問2-7」でお答えいただいた主な理由について、お聞かせください。(最大3つ選択)

	回答	構成比(%)
1 様々な個性の友だちと触れ合える	86	10.1
2 互いに励ましあい、協働しながら成長することができる	121	14.1
3 社会性を育むことができる	85	9.9
4 集団内において様々な役割分担を経験できる	124	14.5
5 生徒会、部活動などの選択の幅が広がる	56	6.6
6 一人ひとりの生徒に応じた丁寧な指導を受けることができる	210	24.6
7 学力を伸ばすことができる	107	12.5
8 学級(クラス)としての一体感が生まれる	58	6.8
9 その他	8	0.9
計	855	100.0

【9 その他の主な意見】

問 2-7 で「35 人以下が適当」と回答	
1	高校によっては1クラス 40 人いるので、ある程度の人数に慣れることも必要
問 2-7 で「30 人以下が適当」と回答	
1	多様な子どもに対応できる。生徒指導が丁寧にできる
2	担任としてゆとりができる
3	教師の目が一人一人に行き届き、丁寧な指導をすることができる
問 2-7 で「20 人以下が適当」と回答	
1	文部科学省が唱える、個別最適な学びの実現に近づけられる
問 2-7 で「10 人以下が適当」と回答	
1	少なければ少ないほどよい

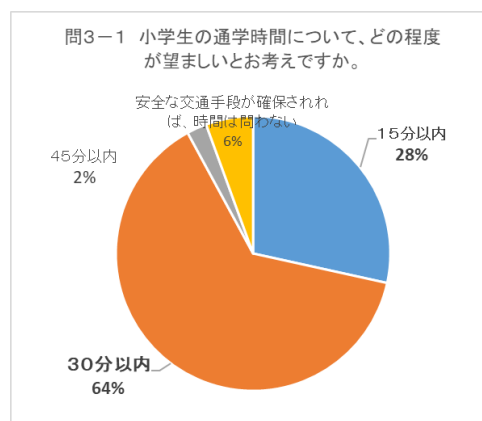


【考察】問2-8

①「30人以下が適当」と回答した人の理由では、「6 一人ひとりの児童に応じた丁寧な指導を受けることができる」(171)がもっとも多く、2番目に「2 互いに励ましあい、協働しながら成長することができる」(95)、3番目に「7 学力を伸ばすことができる」(91)となっている。

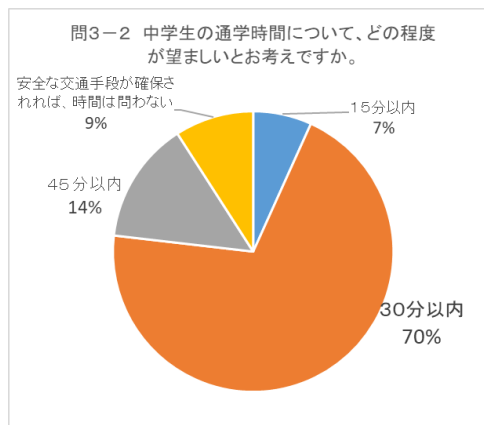
問3-1 小学生の通学時間について、どの程度が望ましいとお考えですか。(1つ選択)

	回答	構成比(%)
15分以内	97	28.4
30分以内	217	63.6
45分以内	8	2.4
安全な交通手段が確保されれば、時間は問わない	19	5.6
計	341	100.0



問3-2 中学生の通学時間について、どの程度が望ましいとお考えですか。(1つ選択)

	回答	構成比(%)
15分以内	23	6.7
30分以内	239	70.1
45分以内	48	14.1
安全な交通手段が確保されれば、時間は問わない	31	9.1
計	341	100.0



【考察】問3-1、3-2

- ①小学校でも中学校でも「30分以内」の回答が6割を超えもっとも多い。
- ②2番目は小学校では「15分以内」(28%)、中学校では「45分以内」(14%)となっている。

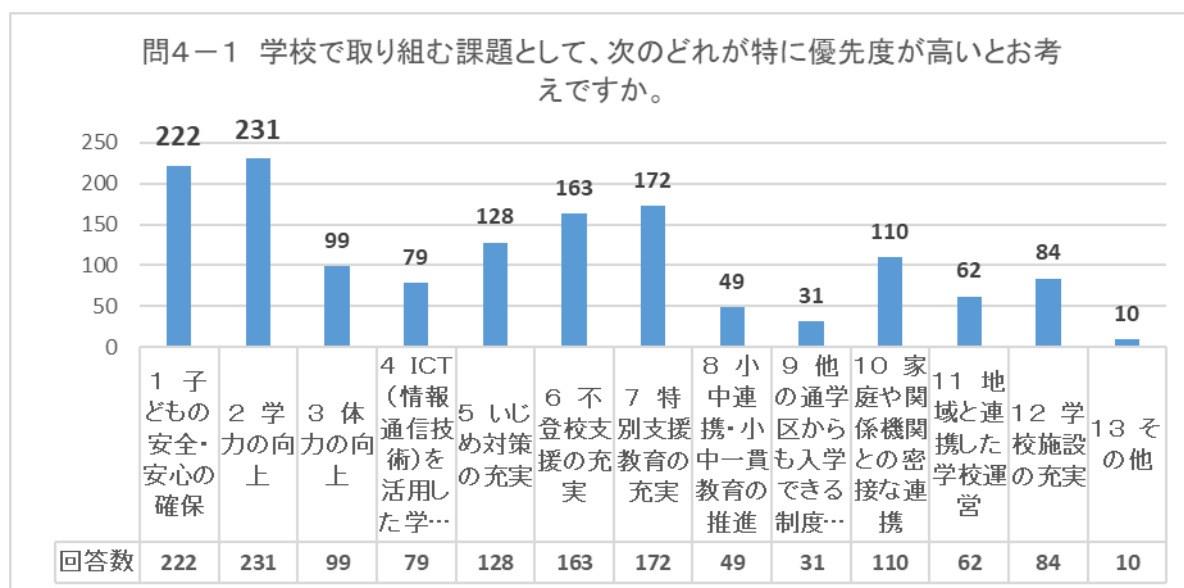
問4-1 学校で取り組む課題として、次のどれが特に優先度が高いとお考えですか。(最大5つ選択)

	回答	構成比(%)
1 子どもの安全・安心の確保	222	15.4
2 学力の向上	231	16.1
3 体力の向上	99	6.9
4 ICT(情報通信技術)を活用した学習の推進	79	5.5
5 いじめ対策の充実	128	8.9
6 不登校支援の充実	163	11.3
7 特別支援教育の充実	172	11.9
8 小中連携・小中一貫教育の推進	49	3.4
9 他の通学区からも入学できる制度の拡大(特認校制度)	31	2.2
10 家庭や関係機関との密接な連携	110	7.6
11 地域と連携した学校運営	62	4.3
12 学校施設の充実	84	5.8
13 その他	10	0.7
計	1,440	100.0

【14 その他の主な意見】

1	支援員、職員の確保
2	子どもの心の教育とその環境整備
3	教員不足の改善
4	教員の人数増加
5	新たな教育観、学校観の浸透
6	保護者対応
7	業務軽減

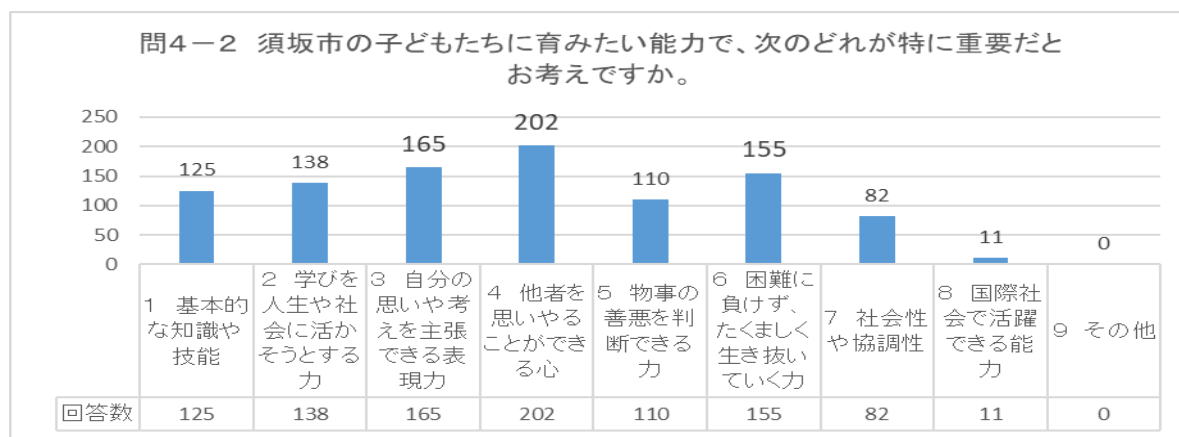
8	子どもも教師も、お互いに安心して過ごせるような環境になっていくといい
9	校務を精選し、教材研究等の時間を十分に確保すること
10	一般常識の向上



【考察】問4-1
 ①「2 学力の向上」(231)がもっとも多く、2 番目が「1 子どもの安全・安心の確保」(222)、3 番目が「7 特別支援教育の充実」(172)となっている。

問4-2 須坂市の子どもたちに育みたい能力として、次のどれが特に重要だとお考えですか。(最大3つ選択)

	回答	構成比(%)
1 基本的な知識や技能	125	12.6
2 学びを人生や社会に活かそうとする力	138	14.0
3 自分の思いや考えを主張できる表現力	165	16.7
4 他者を思いやることができる心	202	20.5
5 物事の善悪を判断できる力	110	11.1
6 困難に負けず、たくましく生き抜いていく力	155	15.7
7 社会性や協調性	82	8.3
8 国際社会で活躍できる能力	11	1.1
9 その他	0	0
計	988	100.0



【考察】問 4-2

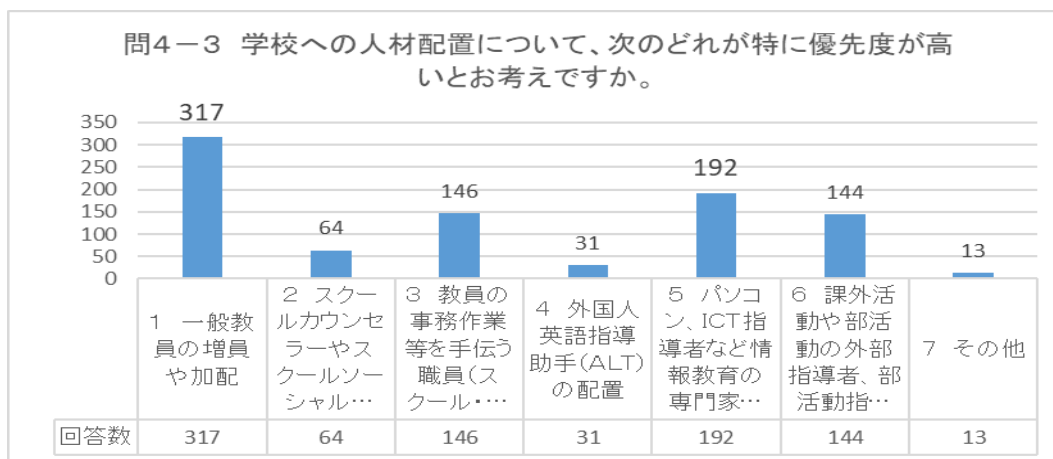
①「4 他者を思いやることができる心」(202)がもっとも多く、2 番目が「3 自分の思いや考えを主張できる表現力」(165)、3 番目が「困難に負けず、たくましく生き抜いていく力」(155)となっている。

問4-3 学校への人材配置について、次のどれが特に優先度が高いとお考えですか。(最大3つ選択)

	回答	構成比(%)
1 一般教員の増員や加配	317	35.0
2 スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの配置	64	7.0
3 教員の事務作業等を手伝う職員の配置	146	16.1
4 外国人英語指導助手(ALT)の配置	31	3.4
5 パソコン、ICT指導者など情報教育の専門家の配置	192	21.2
6 課外活動や部活動の外部指導者、部活動指導員などの配置	144	15.9
7 その他	13	1.4
計	907	100.0

【7 その他の主な意見】

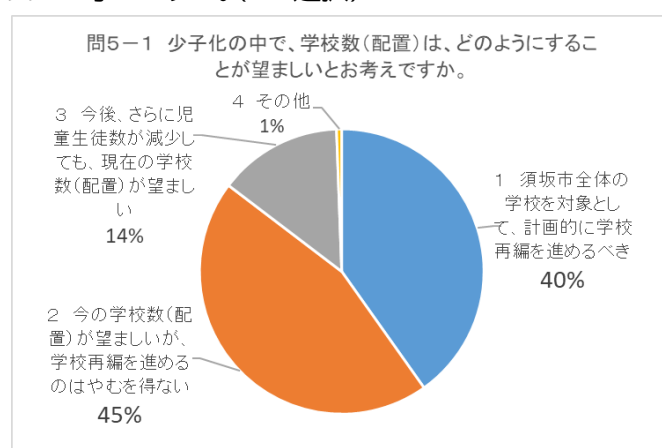
1	LD や境界知能の子たちの教室を各学校に一つ。自情障学級も、自閉タイプの子と多動や学習拒絶的な子では、対応が変わり、職員や対応のための部屋が不足します。要請があれば、職員の増員を柔軟にお願いできるといい
2	支援員の配置
3	療休などで急にお休みになった先生方がいた場合、早急に安定した支援体制がとれるような体制作りをお願いしたいと思います
4	小学校司書 1 学校に専任で毎日配置
5	1学期のみでもいいので、養護教諭のサポートに入ってもらえる人
6	教員補助員の増員や加配
7	特別支援教育のプロフェッショナルの配置。教室に入れない児童へも優しく受け入れてくださる、プロフェッショナル教員の配置
8	ボランティア
9	特別支援教育コーディネーター専任
10	民間企業経験の教職員の採用＆配置



【考察】 問 4-3
 ①「1 一般教員の増員や加配」(317)がもっとも多く、2番目が「5 パソコン、ICT指導者など情報教育の専門家の配置」(192)、3番目が「3 教員の事務作業等を手伝う職員の配置」(146)となっている。

問5-1 少子化の中で、学校数(配置)について、どのようにお考えですか。(1つ選択)

	回答	構成比(%)
1 須坂市全体の学校を対象として、計画的に学校再編を進めるべき	137	40.2
2 今の学校数(配置)が望ましいが、学校再編を進めるのはやむを得ない	154	45.1
3 今後、さらに児童生徒数が減少しても、現在の学校数(配置)が望ましい	48	14.1
4 その他	2	0.6
計	341	100.0



【4 その他の主な意見】

1	学校数を保ったまま、教員も増やし、それぞれの学校が特色を打ち出していく。一方で生徒は自分の能力を生かせるように学校を選ぶようにしていく
2	小学校はその地域のシンボリックな存在として残し、中学校は部活動や生徒会活動の選択の幅を広げたり、様々な生徒と関わることで人間関係を広げたりすることが大切だと思うので、再編も検討できるとよい

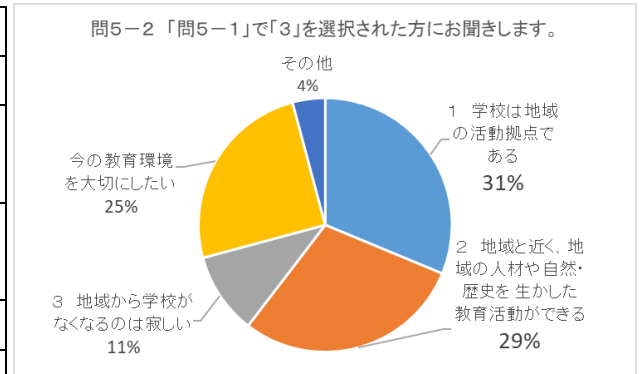
【考察】 問 5-1
 ①「2 今の学校数(配置)が望ましいが、学校再編を進めるのはやむを得ない」(45%)がもっとも多く、2 番目の「1 須坂市全体の学校を対象として、計画的に学校再編を進めるべき」(40%)と合わせる

と、学校再編に肯定的な回答が8割を超える。

②一方で、「3 今後、さらに児童生徒数が減少しても、現在の学校数(配置)が望ましい」との回答も14%ある。

問5-2「問5-1」で「③」を選択された方にお聞きます。お答えいただいた理由として、次のどれが一番強いとお考えですか。(1つ選択)

	回答	構成比(%)
1 学校は地域の活動拠点なので	15	31.2
2 身近な地域の人材や自然・歴史を生かした教育活動ができる	14	29.2
3 地域から学校がなくなるのは寂しい	5	10.4
4 今の教育環境を大切にしたい	12	25.0
5 その他	2	4.2
計	48	100.0



【5 その他の主な意見】

1	子どもの数は減っても学校業務は減らないから
2	クラス数を確保したい。

【考察】問 5-2

①「今後、さらに児童生徒数が減少しても、現在の学校数(配置)が望ましい」と回答した理由は、「学校は地域の活動拠点なので」(31%)と最も多く、2 番目が「2 身近な地域の人材や自然・歴史を生かした教育活動ができる」(25%)となっている。

須坂市小中学校の適正規模等に関する児童(小学5・6年生)アンケート結果

1 調査の目的

須坂市では、急激に少子化社会が進み、今後、児童生徒数はますます減少していくことが予想される。将来を展望した小中学校の適正規模や適正配置について、総合的に検討するための基礎資料とする。

2 調査方法

- (1)調査対象 市内の小学5・6年生 855人
- (2)調査方法 学校を通じて配布。回答はインターネット
- (3)調査期間 2022年10月14日～11月21日

3 回収率 84.3%(回収数 721/配布数 855)

4 調査項目

【設問一覧】

問1-1	あなたが通っている学校を選んでください
問2-1	1つの学年の学級数(クラス数)は、どれくらいがよいですか
問2-2	1学級(クラス)の人数は、どれくらいがよいですか
問2-3	あなたの学校の全校児童の数について、どのように思いますか
問2-4	「問2-3」で選んだ主な理由について、当てはまるものを選んでください
問3-1	自宅から小学校までの通学時間について何分くらいがよいと思いますか
問4-1	今後学校が取り組むこととして、次のどれが特に大切だと思いますか
問4-2	自分の伸ばしたい力として、次のどれが特に重要だと思いますか

5 児童(小学5・6年生)アンケート結果の概要

(1) 1学年あたりの学級数について【問 2-1】

- ①小学校の標準規模の「2～3学級がよい」(72%)がもっとも多く、2番目が「1学級がよい」(24%)となっている。
- ②学校別にみると、豊洲小と高甫小では「1 学級がよい」がもっとも多く、2番目「2～3学級がよい」となっている。

(2) 1学級あたりの人数について【問 2-2】

- ①「30人以下がよい」(53%)がもっとも多く、2番目が「35人以下がよい」(25%)、3番目が「20人以下が適当」(14%)となっている。
- ②豊丘小の児童は「20人以下がよい」(48%)がもっとも多い。

(3)自分の学校の全児童数について【問 2-3】【問 2-4】

- ①「今のままでよい」(73%)がもっとも多く、2番目が「もっと多い方がよい」(24%)となっている。
- ②学校別にみると、須坂小や豊洲小、高甫小、豊丘小で「もっと多い方がよい」の割合が4割程度を占め、2番目に多い。
- ③「今のままでよい」と回答した人の理由では「8 友だち関係が深まりやすい」(229)がもっとも多く、2番目に「3 友だちとはげまし合い、協力しながら成長することができる」(196)、3番目に「2 様々な個性の友だちとふれ合える」(175)となっている。

(4) 通学時間について【問 3-1】

- ①「15 分以内」(61%)がもっとも多く、2番目に「30 分以内」(35%)となっている。

(5) 学校で取り組む課題について【問 4-1】

- ①「1 子どもの安全・安心の確保」(515)がもっとも多く、2番目が「5 いじめ対策の充実」(429)、3番目が「2 学力の向上」(321)となっている。

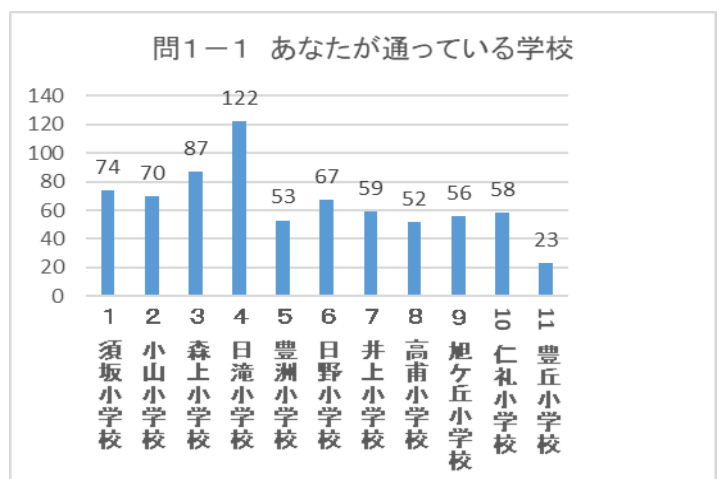
(6) 自分の伸ばしたい能力について【問 4-2】

- ①「1 基本的な知識や技能」(403)がもっとも多く、2番目が「4 他の人を思いやることができる心」(330)、3番目が「7 他の人と協力しながら、うまく付き合っていく力」(255)となっている。

6 調査結果

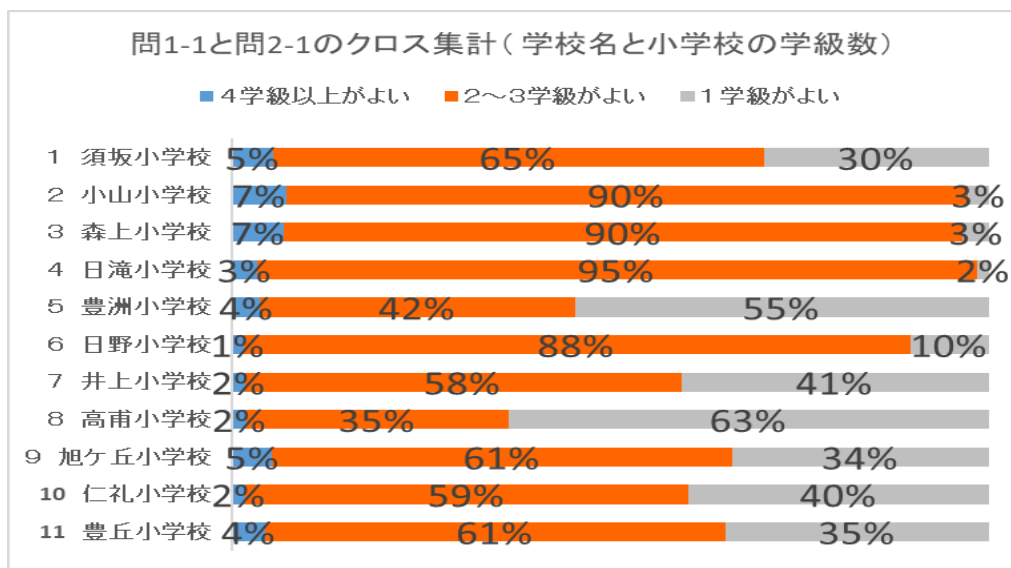
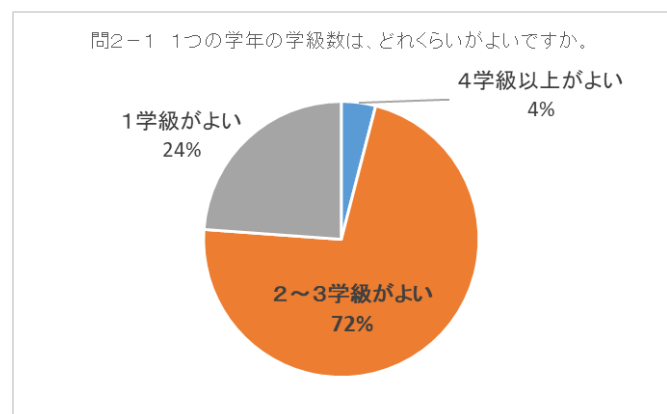
問1ー1 あなたが通っている学校を選んでください。

学校名	回答	構成比(%)
須坂小学校	74	10.3
小山小学校	70	9.7
森上小学校	87	12.1
日滝小学校	122	16.9
豊洲小学校	53	7.3
日野小学校	67	9.3
井上小学校	59	8.2
高甫小学校	52	7.2
旭ヶ丘小学校	56	7.8
仁礼小学校	58	8.0
豊丘小学校	23	3.2
計	721	100.0



問2ー1 1つの学年の学級数(クラス数)は、どれくらいがよいですか。(1つ選択)

	回答	構成比(%)
4学級以上がよい	29	4.0
2～3学級がよい	520	72.1
1学級がよい	172	23.9
計	721	100.0



【考察】問2ー1

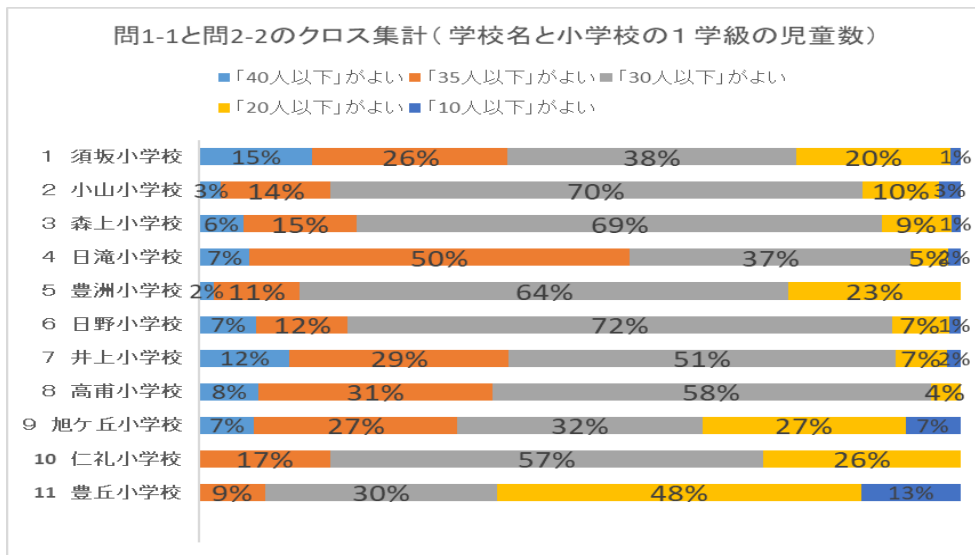
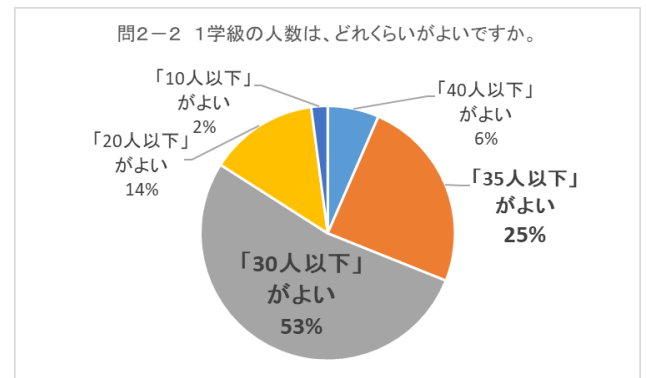
①小学校の標準規模の「2～3学級がよい」(72%)がもっとも多く、2番目が「1学級がよい」(24%)と

なっている。

②学校別にみると、豊洲小と高甫小では「1 学級がよい」がもっとも多く、2番目「2～3学級がよい」となっている。

問2-2 1学級(クラス)の人数は、どれくらいがよいですか。(1つ選択)

	回答	構成比(%)
「40 人以下」が適当である	47	6.5
「35 人以下」が適当である	177	24.5
「30 人以下」が適当である	382	53.0
「20 人以下」が適当である	100	13.9
「10 人以下」が適当である	15	2.1
計	721	100.0



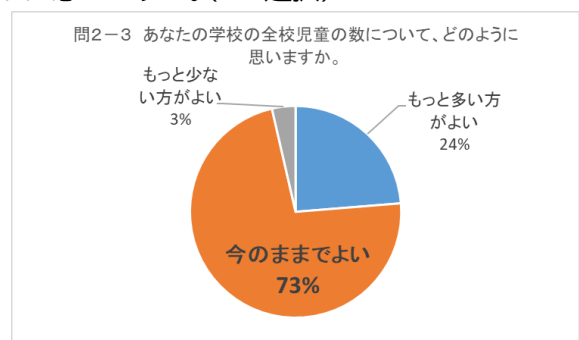
【考察】 問 2-2

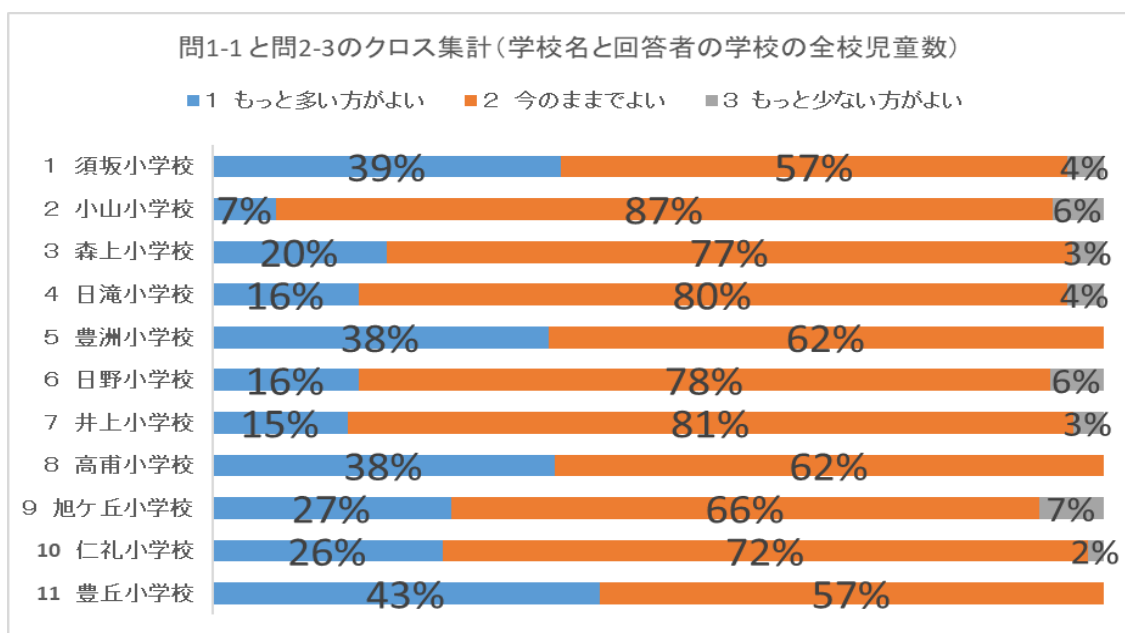
①「30人以下がよい」(53%)がもっとも多く、2番目が「35人以下がよい」(25%)、3番目が「20人以下が適当」(14%)となっている。

②豊丘小の児童は「20人以下がよい」(48%)がもっとも多い。

問2-3 あなたの学校の全校児童の数について、どのように思いますか。(1つ選択)

	回答	構成比(%)
もっと多い方がよい	171	23.7
今のままでよい	524	72.7
もっと少ない方がよい	26	3.6
計	721	100.0





【考察】問 2-3

- ①「今のままでよい」(73%)がもっとも多く、2番目が「もっと多い方がよい」(24%)となっている。
- ②学校別にみると、須坂小や豊洲小、高甫小、豊丘小で「もっと多い方がよい」の割合が4割程度を占め、2番目に多い。

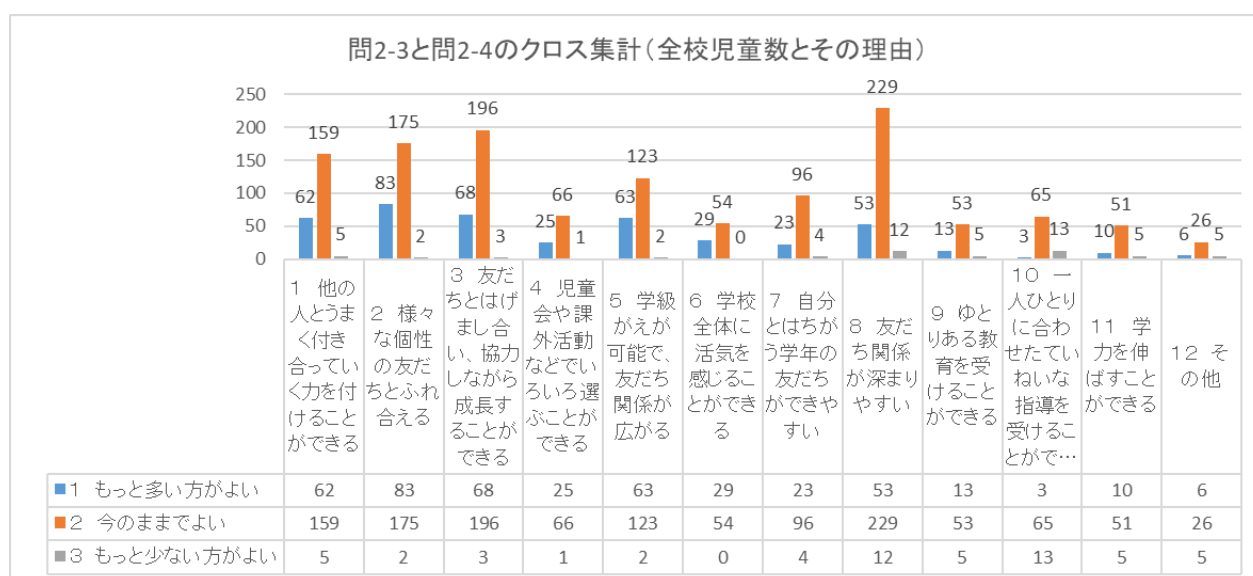
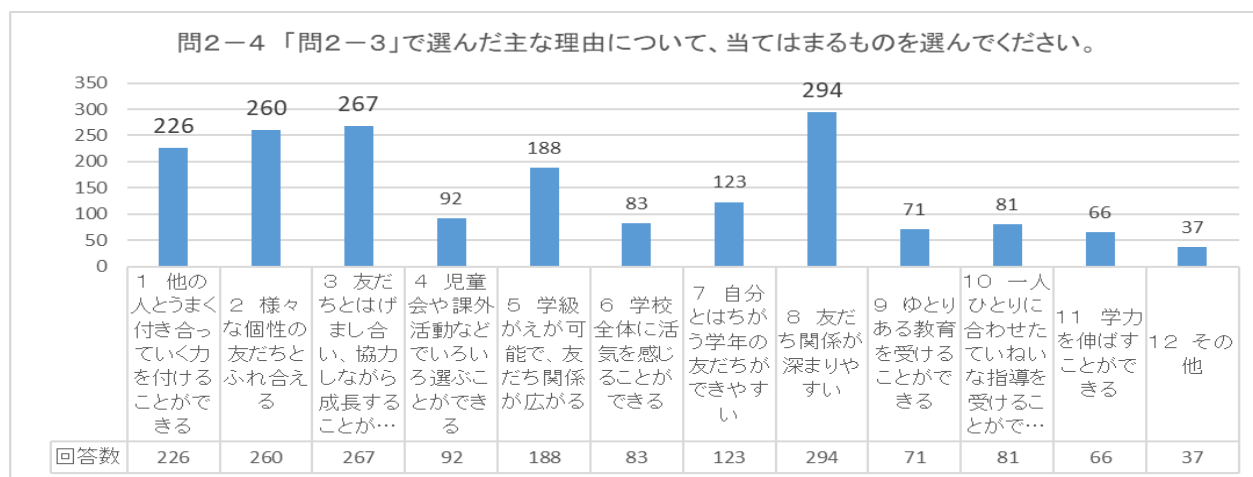
問2-4 「問2-3」で選んだ主な理由について、当てはまるものを選んでください。(最大3つ選択)

	回答	構成比(%)
1 他の人とうまく付き合っていく力を付けることができる	226	12.7
2 様々な個性の友だちとふれ合える	260	14.5
3 友だちとはげまし合い、協力しながら成長することができる	267	14.9
4 児童会や課外活動などでいろいろ選ぶことができる	92	5.2
5 学級がえが可能で、友だち関係が広がる	188	10.5
6 学校全体に活気を感じることができる	83	4.6
7 自分とはちがう学年の友だちがしやすい	123	6.9
8 友だち関係が深まりやすい	294	16.4
9 ゆとりある教育を受けることができる	71	4.0
10 一人ひとりに合わせたていねいな指導を受けることができる	81	4.5
11 学力をのばすことができる	66	3.7
12 その他	37	2.1
計	1,788	100.0

【12 その他の主な意見】

問 2-3 で「もっと多い方がよい」と回答	
1	陰気なキャラクターになりたいから

2	自分で考えて行動する力が身に付いて、何事にもチャレンジできる
問 2-3 で「今のままでよい」と回答	
1	1 人に対する関わりが深まる(1 人に対してもっと仲良くなれる)
2	今で慣れているから
3	あまり人と話したくないから
4	虐めが起きにくい(人数が少ないから大人が状況を把握しやすい)
5	落ち着いて授業を受けることができる。
6	病気などが流行した時に距離を置いて生活ができる
7	たくさんと友達ができる可能性があるから
8	難しい問題があっても先生に聞きやすい。発言しやすい
問 2-3 で「もっと少ない方がよい」と回答	
1	そんなにいないくていい
2	たくさん人数がいると緊張するから
3	授業中うるさくて集中ができないから



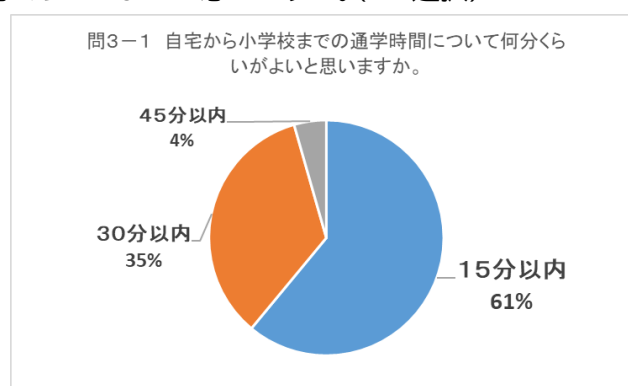
【考察】 問 2-4

①「今のままでよい」と回答した人の理由では「8 友だち関係が深まりやすい」(229)がもっとも多く、2

番目に「3 友だちとはげまし合い、協力しながら成長することができる」(196)、3番目に「2 様々な個性の友だちとふれ合える」(175)となっている。

問3-1 自宅から小学校までの通学時間について何分くらいがよいと思いますか。(1つ選択)

	回答	構成比(%)
15分以内	440	61.0
30分以内	249	34.6
45分以内	32	4.4
計	721	100.0



【考察】問3-1

①「15分以内」(61%)がもっとも多く、2番目に「30分以内」(35%)となっている。

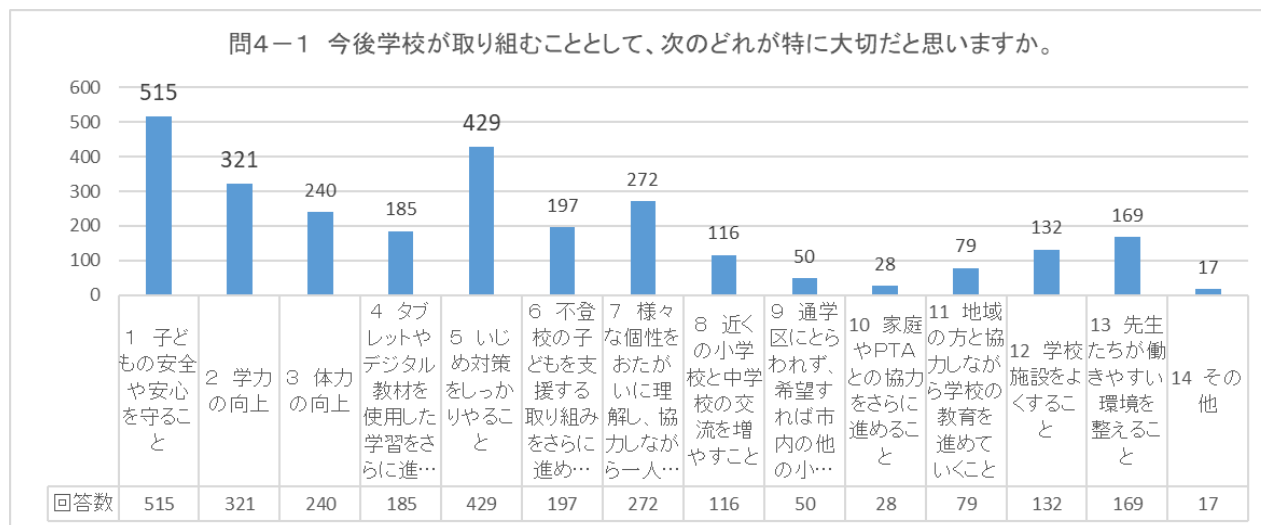
問4-1 今後学校が取り組むこととして、次のどれが特に大切だと思いますか。(最大5つ選択)

	回答	構成比(%)
1 子どもの安全や安心を守ること	515	18.7
2 学力の向上	321	11.7
3 体力の向上	240	8.7
4 タブレットやデジタル教材を使用した学習をさらに進めること	185	6.7
5 いじめ対策をしっかりとやること	429	15.6
6 不登校の子どもを支える取り組みをさらに進めること	197	7.2
7 様々な個性をおたがいに理解し、協力しながら一人ひとりが勉強や運動に取り組めるようにすること	272	9.9
8 近くの小学校と中学校の交流を増やすこと	116	4.2
9 通学区にとらわれず、希望すれば市内の他の小学校に通えるようにすること	50	1.8
10 家庭やPTAとの協力をさらに進めること	28	1.0
11 地域の方と協力しながら学校の教育を進めていくこと	79	2.9
12 学校施設をよくすること	132	4.8
13 先生たちが働きやすい環境を整えること	169	6.2
14 その他	17	0.6
計	2,750	100.0

【14 その他の主な意見】

1	挨拶の返しや無言清掃などをしっかりする
2	虐められている人を見つけてほしい
3	プログラミングとかをやった方がいいと思います
4	その子供が社会に出ても困らないようにすること

5	道具を新しくして欲しい
6	みんなが笑えあえる環境を作ること
7	児童が来やすい学校にすること



【考察】問4-1

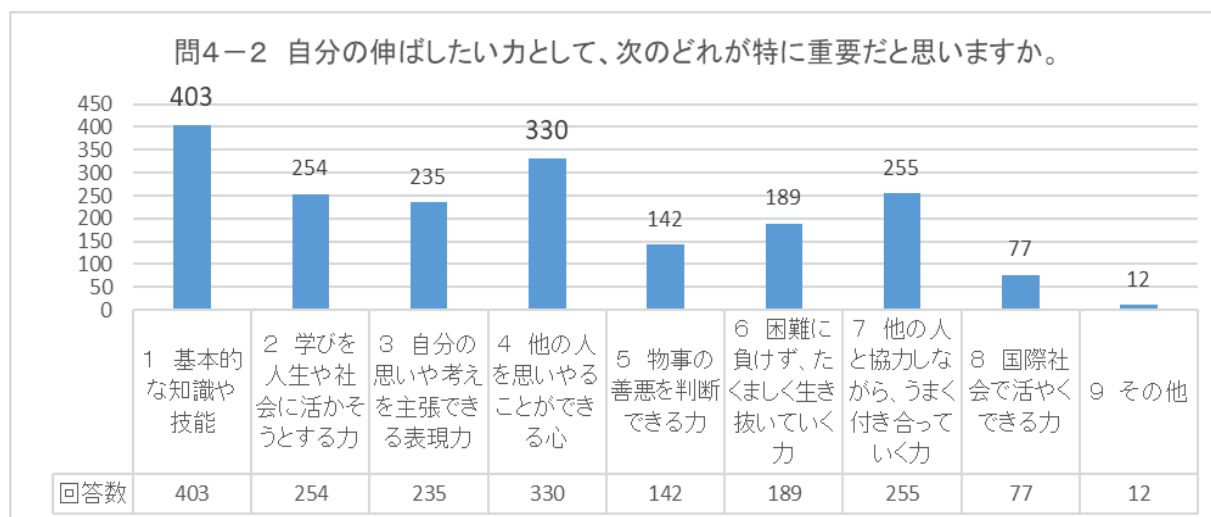
①「1 子どもの安全・安心の確保」(515)がもっとも多く、2番目が「5 いじめ対策の充実」(429)、3番目が「2 学力の向上」(321)となっている。

問4-2 自分の伸ばしたい力として、次のどれが特に重要だと思いますか。(最大3つ選択)

	回答	構成比(%)
1 基本的な知識や技能	403	21.2
2 学びを人生や社会に活かそうとする力	254	13.4
3 自分の思いや考えを主張できる表現力	235	12.4
4 他の人を思いやることができる心	330	17.4
5 物事の善悪を判断できる力	142	7.5
6 困難に負けず、たくましく生き抜いていく力	189	10.0
7 他の人と協力しながら、うまく付き合っていく力	255	13.4
8 国際社会で活やくできる力	77	4.1
9 その他	12	0.6
計	1,897	100.0

【9 その他の主な意見】

1	運動やスポーツ面などの外でやる学習
2	趣味の専門的な知識や技能
3	いま現在、一緒にいて幸せだと思える大切なひとを、守ること(肉体的にではなく)ができる力や心
4	体力
5	想像力
6	金の勉強
7	学力
8	タイピングを早くする力



【考察】問 4-2

- ①「1 基本的な知識や技能」(403)がもっとも多く、2番目が「4 他の人を思いやることができる心」(330)、3番目が「7 他の人と協力しながら、うまく付き合っていく力」(255)となっている。

須坂市小中学校の適正規模等に関する生徒(中学2・3年生)アンケート結果

1 調査の目的

須坂市では、急激に少子化社会が進み、今後、児童生徒数はますます減少していくことが予想される。将来を展望した小中学校の適正規模や適正配置について、総合的に検討するための基礎資料とする。

2 調査方法

- (1)調査対象 市内の中学2・3年生 872人
- (2)調査方法 学校を通じて配布。回答はインターネット
- (3)調査期間 2022年10月14日～11月21日

3 回収率 75.5%(回収数 658/配布数 872)

4 調査項目

【設問一覧】

問1-1	あなたが通っている学校を選んでください
問2-1	1つの学年の学級数(クラス数)は、どれくらいがよいですか
問2-2	1学級(クラス)の人数は、どれくらいがよいですか
問2-3	あなたの学校の全校生徒の数について、どのように思いますか
問2-4	「問2-3」で選んだ主な理由について、当てはまるものを選んでください
問3-1	自宅から中学校までの通学時間について何分くらいがよいと思いますか
問4-1	今後学校が取り組むこととして、次のどれが特に大切だと思いますか
問4-2	自分の伸ばしたい力として、次のどれが特に重要だと思いますか

5 生徒(中学2・3年生)アンケート結果の概要

(1) 1学年あたりの学級数について【問 2-1】

- ①中学校の標準規模の「4～6学級がよい」(67%)がもっとも多く、2番目が「3学級が以下がよい」(29%)となっている。
- ②学校別にみると、相森中と東中では、「3学級以下がよい」がもっとも多く、2番目が「4～6学級がよい」となっている。

(2) 1学級あたりの人数について【問 2-2】

- ①「35人以下がよい」(42%)がもっとも多く、2番目が「30人以下がよい」(39%)、3番目が「40人以下が適当」(12%)となっている。
- ②常盤中と東中では「30人以下がよい」がもっとも多く、2番目が「35人以下がよい」となっている。

(3)自分の学校の全生徒数について【問 2-3】【問 2-4】

- ①「今のままでよい」(78%)がもっとも多く、2番目が「もっと多い方がよい」(17%)となっている。
- ②全ての中学校で「今のままでよい」がもっとも多いが、東中では2番目の「もっと多い方がよい」(39%)が、他の中学校よりも割合が高い。
- ③「今のままでよい」と回答した人の理由では「2 様々な個性の友だちとふれ合える」(231 がもっとも多く、2番目に)「8 友だち関係が深まりやすい」(222)、3番目に「1 他の人とうまく付き合っていく力を付けることができる」(164)となっている。

(4) 通学時間について【問 3-1】

- ①「15分以内」(51%)がもっとも多く、2番目に「30分以内」(42%)となっている。

(5) 学校で取り組む課題について【問 4-1】

- ①「2 学力の向上」(411)がもっとも多く、2番目が「5 いじめ対策の充実」(373)、3番目が「1 子どもの安全・安心の確保」(367)となっている。

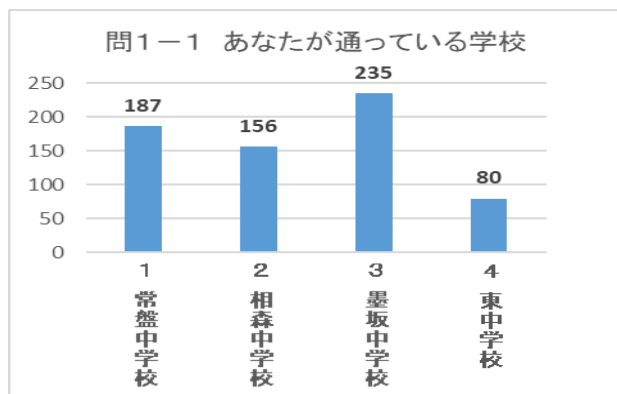
(6) 自分の伸ばしたい能力について【問 4-2】

- ①「1 基本的な知識や技能」(416)がもっとも多く、2番目が「3 自分の思いや考えを主張できる表現力」(259)、3番目が「7 他の人と協力しながら、うまく付き合っていく力」(234)となっている。

6 調査結果

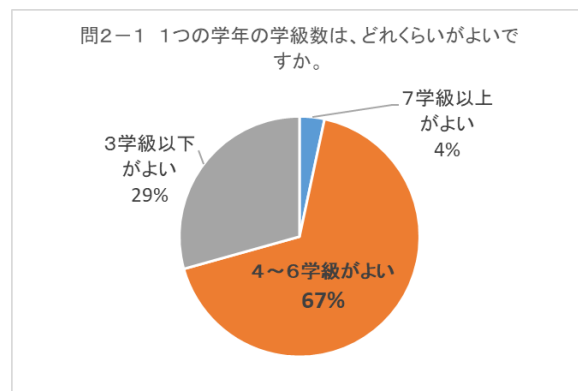
問1ー1 あなたが通っている学校を選んでください。

学校名	回答	構成比(%)
常盤中学校	187	28.4
相森中学校	156	23.7
墨坂中学校	235	35.7
東中学校	80	12.2
計	658	100.0



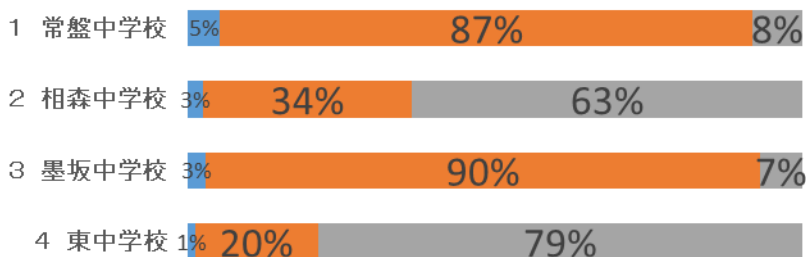
問2ー1 1つの学年の学級数(クラス数)は、どれくらいがよいですか。(1つ選択)

	回答	構成比(%)
7 級以上がよい	22	3.4
4～6学級がよい	443	67.3
3学級以下がよい	193	29.3
計	658	100.0



問1-1と問2-1のクロス集計(学校名と中学校の学級数)

■ 7学級以上がよい ■ 4～6学級がよい ■ 3学級以下がよい

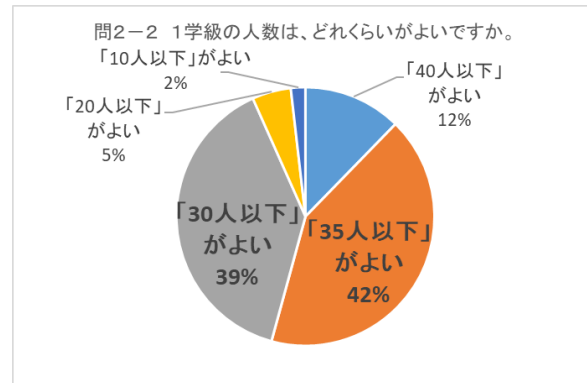


【考察】問2ー1

- ① 中学校の標準規模の「4～6学級がよい」(67%)がもっとも多く、2番目が「3学級が以下がよい」(29%)となっている。
- ② 学校別にみると、相森中と東中では、「3学級以下がよい」がもっとも多く、2番目が「4～6学級がよい」となっている。

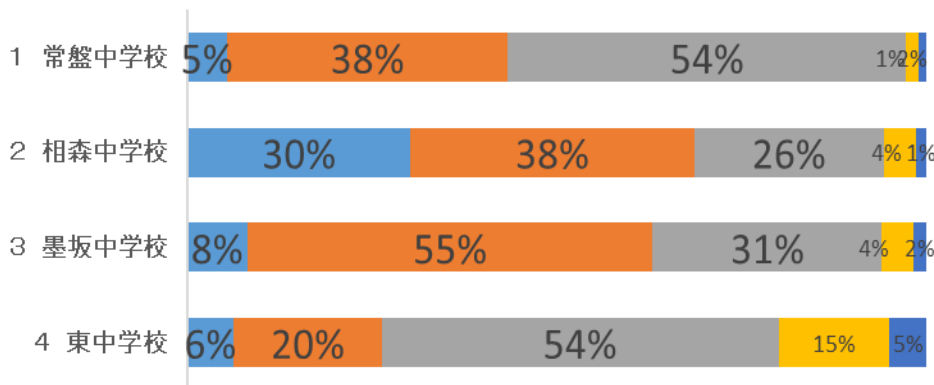
問2-2 1学級(クラス)の人数は、どれくらいがよいですか。(1つ選択)

	回答	構成比(%)
「40人以下」が適当である	81	12.3
「35人以下」が適当である	276	41.9
「30人以下」が適当である	257	39.1
「20人以下」が適当である	32	4.9
「10人以下」が適当である	12	1.8
計	658	100.0



問1-1と問2-2のクロス集計(学校名と中学校の1学級の生徒数)

■「40人以下」がよい ■「35人以下」がよい ■「30人以下」がよい
■「20人以下」がよい ■「10人以下」がよい

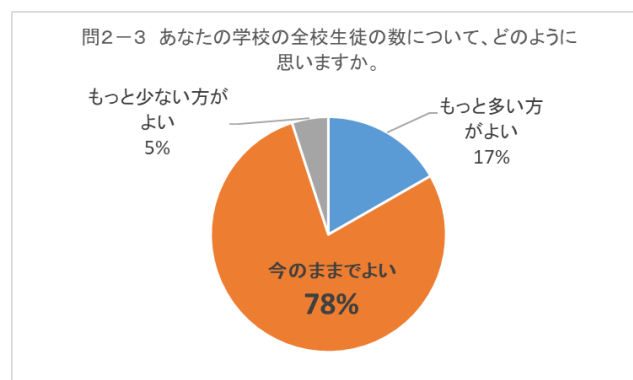


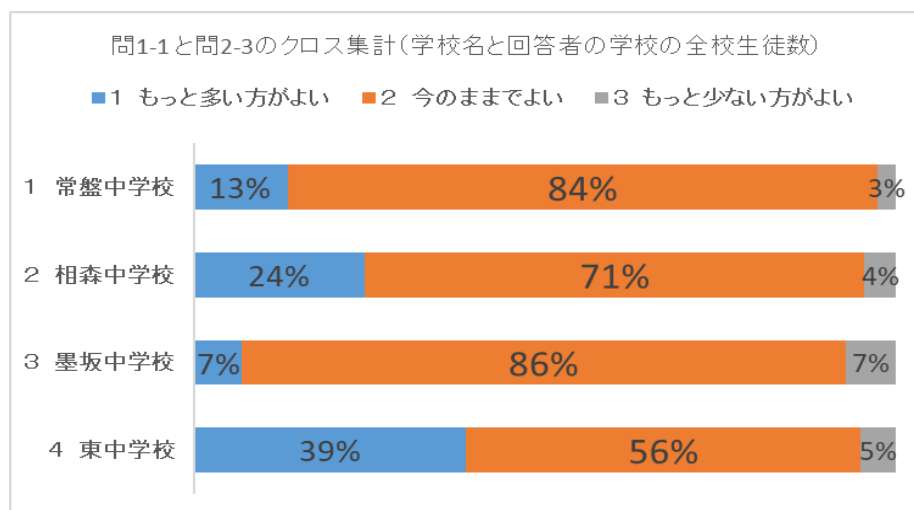
【考察】問 2-2

- ①「35 人以下がよい」(42%)がもっとも多く、2番目が「30 人以下がよい」(39%)、3番目が「40 人以下が適当」(12%)となっている。
- ②常盤中と東中では「30 人以下がよい」がもっとも多く、2番目が「35人以下がよい」となっている。

問2-3 あなたの学校の全校生徒の数について、どのように思いますか。(1つ選択)

	回答	構成比(%)
もっと多い方がよい	110	16.7
今のままでよい	515	78.3
もっと少ない方がよい	33	5.0
計	658	100.5





【考察】 問 2-3

- ①「今のままでよい」(78%)がもっとも多く、2番目が「もっと多い方がよい」(17%)となっている。
- ②全ての中学校で「今のままでよい」がもっとも多いが、東中では2番目の「もっと多い方がよい」(39%)が、他の中学校よりも割合が高い。

問2-4 「問2-3」で選んだ主な理由について、当てはまるものを選んでください。(最大3つ選択)

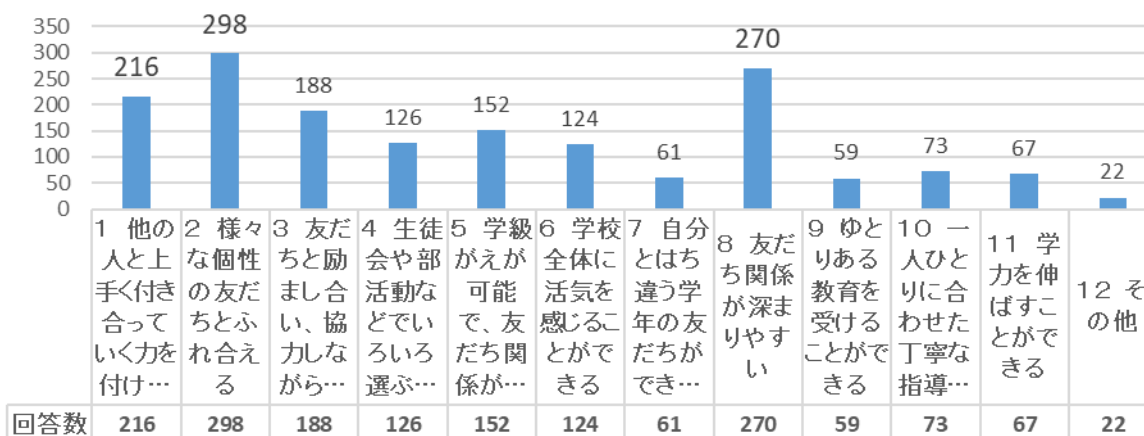
	回答	構成比(%)
1 他の人とうまく付き合っていく力を付けることができる	216	13
2 様々な個性の友だちとふれ合える	298	18
3 友だちとはげまし合い、協力しながら成長することができる	188	11.4
4 生徒会や部活動などでいろいろ選ぶことができる	126	7.6
5 学級がえが可能で、友だち関係が広がる	152	9.2
6 学校全体に活力を感じることができる	124	7.5
7 自分とはちがう学年の友だちがでやすい	61	3.7
8 友だち関係が深まりやすい	270	16.3
9 ゆとりある教育を受けることができる	59	3.6
10 一人ひとりに合わせた丁寧な指導を受けることができる	73	4.4
11 学力をのばすことができる	67	4.0
12 その他	22	1.3
計	1,656	100.5

【12 その他の主な意見】

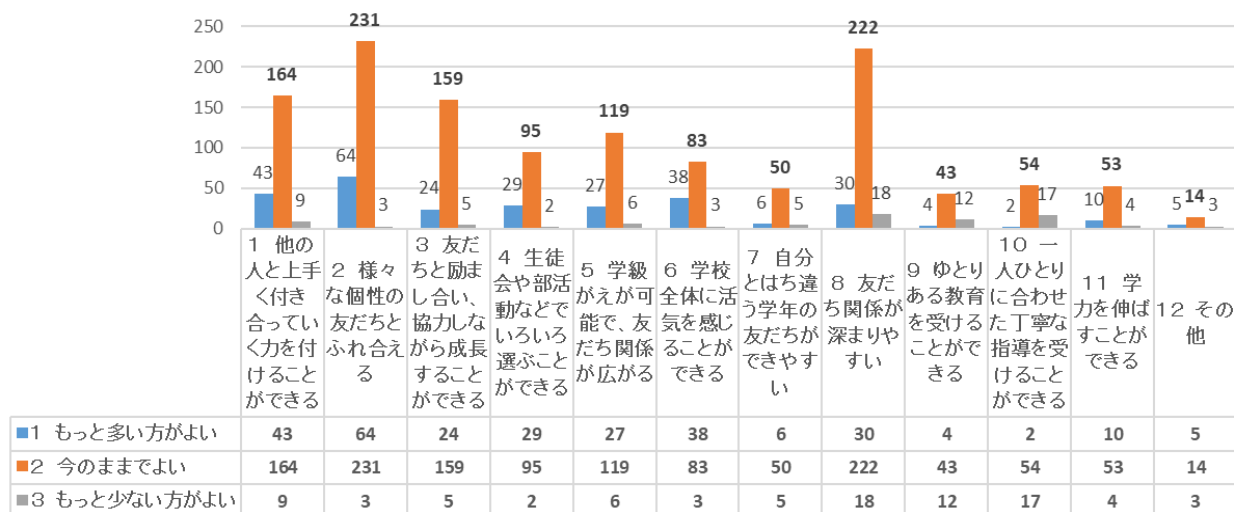
問 2-3 で「もっと多い方がよい」と回答	
1	テストでいい点数を取ってる人と勉強ができるから。
2	部活の人数が増えるから
問 2-3 で「今のままでよい」と回答	
1	他学年と交流したくない
2	今のままでいいと思う

3	今くらいのほうが、学園祭などが盛り上がって楽しい
4	今のままで困らないから
問 2-3 で「もっと少ない方がよい」と回答	
1	人数が多いから。
2	多すぎるとわからなくなる時がある
3	人数が少ないほうがいじめが起きにくいと思うから

問2-4 「問2-3」で選んだ主な理由について、当てはまるものを選んでください。



問2-3と問2-4のクロス集計（全校生徒数とその理由）

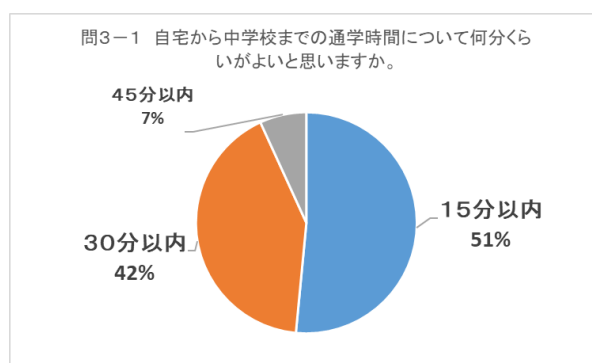


【考察】 問 2-4

①「今のままでよい」と回答した人の理由では「2 様々な個性の友だちとふれ合える」(231 がもっとも多く、2番目に)「8 友だち関係が深まりやすい」(222)、3番目に「1 他の人とうまく付き合っていく力をつけることができる」(164)となっている。

問3-1 自宅から中学校までの通学時間について何分くらいがよいと思いますか。(1つ選択)

	回答	構成比(%)
15分以内	339	51.5
30分以内	274	41.7
45分以内	45	6.8
計	658	100.0



【考察】問3-1

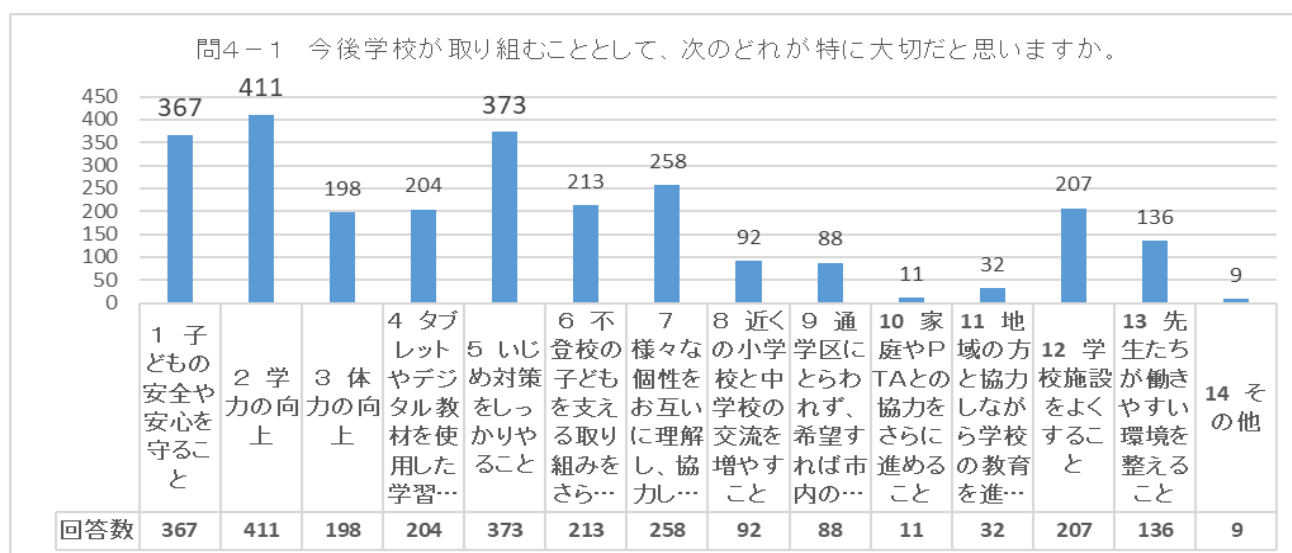
①「15分以内」(51%)がもっとも多く、2番目に「30分以内」(42%)となっている。

問4-1 今後学校が取り組むこととして、次のどれが特に大切だと思いますか。(最大5つ選択)

	回答	構成比(%)
1 子どもの安全や安心を守ること	367	14.1
2 学力の向上	411	15.8
3 体力の向上	198	7.6
4 タブレットやデジタル教材を使用した学習をさらに進めること	204	7.9
5 いじめ対策をしっかりやること	373	14.4
6 不登校の子どもを支える取り組みをさらに進めること	213	8.2
7 様々な個性をおたがいに理解し、協力しながら一人ひとりが勉強や運動に取り組めるようにすること	258	9.9
8 近くの小学校と中学校の交流を増やすこと	92	3.5
9 通学区にとらわれず、希望すれば市内の他の中学校に通えるようにすること	88	3.4
10 家庭やPTAとの協力をさらに進めること	11	0.4
11 地域の方と協力しながら学校の教育を進めていくこと	32	1.2
12 学校施設をよくすること	207	8.0
13 先生たちが働きやすい環境を整えること	136	5.2
14 その他	9	0.4
計	2,599	100.0

【14 その他の主な意見】

1	タブレットなどの使用に関する規制を見直す
2	男女や学年関係なく関わりを持てるようにすること
3	スマホを持ち込み許可して欲しい
4	わかりやすい授業をすること



【考察】問4-1
 ①「2 学力の向上」(411)がもっとも多く、2番目が「5 いじめ対策の充実」(373)、3番目が「1 子どもの安全・安心の確保」(367)となっている。

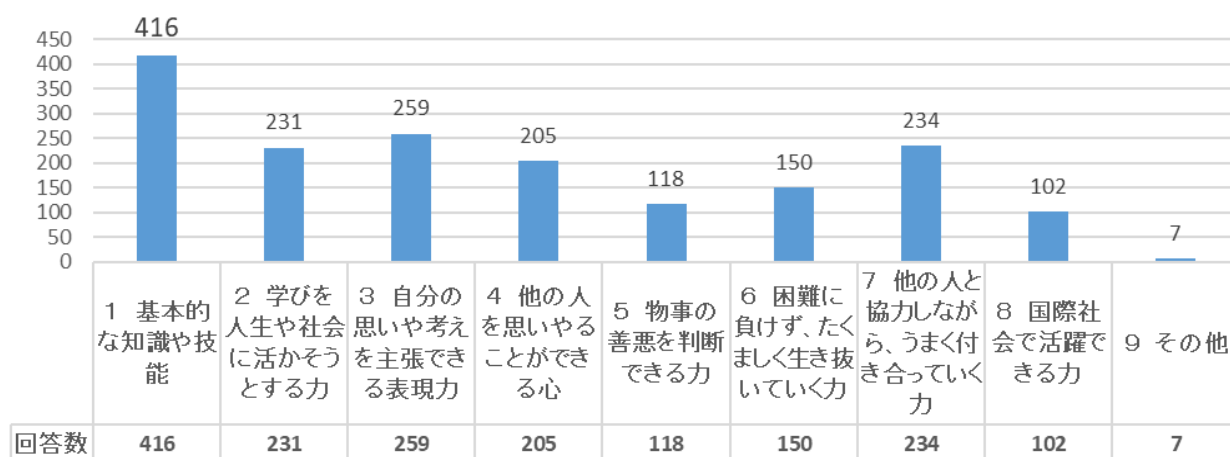
問4-2 自分の伸ばしたい力として、次のどれが特に重要だと思いますか。(最大3つ選択)

	回答	構成比(%)
1 基本的な知識や技能	416	24.2
2 学びを人生や社会に活かそうとする力	231	13.4
3 自分の思いや考えを主張できる表現力	259	15.0
4 他の人を思いやることができる心	205	11.9
5 物事の善悪を判断できる力	118	6.9
6 困難に負けず、たくましく生き抜いていく力	150	8.7
7 他の人と協力しながら、うまく付き合っていく力	234	13.6
8 国際社会で活やくできる力	102	5.9
9 その他	7	0.4
計	1,722	100.0

【9 その他の主な意見】

1	自分の好きな事や得意な事、学びたい分野について学んで実行に移し、それを実現する力
2	日本語、英語だけでなく様々な言語に触れられる授業がしたい
3	男女、学年関係なく自ら話しかけられるような、お互い話しやすい距離感を保てる力

問4-2 自分の伸ばしたい力として、次のどれが特に重要だと思いますか。



【考察】問 4-2

- ①「1 基本的な知識や技能」(416)がもっとも多く、2番目が「3 自分の思いや考えを主張できる表現力」(259)、3番目が「7 他の人と協力しながら、うまく付き合っていく力」(234)となっている。